

わたしたちが住むまち 須坂市の未来をみんなで考えよう

第五次須坂市総合計画・前期基本計画づくりに関する
提言書

「117人会議(いいなにんかいぎ)」とは...

大勢の市民のみなさんと職員とで「須坂市がこうなったら"いいな"」「こんなことができたなら"いいな"」と思ったことを気軽に話し合う場です。



平成22年2月1日

117人会議

も く じ

I. 提言書提出にあたって	1
II. 117 人会議実施内容について	2
1 117 人会議の目的	2
2 117 人会議の構成	2
3 117 人会議の構成とスケジュール	5
4 分科会の基本的な進め方	6
5 117 人会議の基本ルール	7
III. 提言書について	10
i. 構成	10
IV. 分科会提言	13
i. 健康・地域医療分科会	15
1 「保健・健康・地域医療」に対する提言	16
2 「高齢者福祉」に対する提言	18
3 「障がい者福祉の推進」に対する提言	20
4 「生活困窮者の支援」に対する提言	21
5 「福祉のまちづくり」に対する提言	22
ii. 共創分科会	25
第 1 部会（環境）	
1 「自然環境の保全」に対する提言	26
2 「新エネルギー、省エネルギーでCO ₂ 削減」に対する提言	27
3 「ごみ減量と資源化」に対する提言	28
第 2 部会（市民参画、生涯学習・文化芸術）	
1 「男女共同参画」に対する提言	31
2 「人権問題」に対する提言	32
3 「学習の成果を地域のまちづくりにどう活かすか・スポーツを気軽に楽しむ」に対する提言	34
4 「地域文化・文化財の活用と保存・継承」に対する提言	36
第 3 部会（安心安全）	
1 「交通安全」に対する提言	39
2 「防犯」に対する提言	40
3 「消費者保護」に対する提言	41
4 「地域防災」に対する提言	42
iii. 産業分科会	45
1 「農業の活性化」に対する提言	46
2 「商業の活性化」に対する提言	47
3 「工業の活性化」に対する提言	49
4 「観光の活性化」に対する提言	52
5 「農商工観連携」に対する提言	53

iv. まちづくり分科会	57
1 「土地利用のあり方」に対する提言	58
2 「景観育成」に対する提言	59
3 「道路・交通（快適安全な道について）」に対する提言	61
4 「公園のあり方」に対する提言	63
5 「快適環境」に対する提言	66
v. 子育て・教育分科会	69
1 「家庭と地域の教育力向上」に対する提言	70
2 「子育ての楽しいまちづくり」に対する提言	71
3 「みんなが楽しく通える学校づくり（学校教育の充実）」に対する提言	73
vi. 行政経営分科会	75
1 「目指す行政の役割」に対する提言	76
2 「健全で持続的な財政運営」に対する提言	77
3 「広域行政の可能性」に対する提言	79
4 「地方分権と市民生活」に対する提言	81
5 「市民参加と市議会の関係」に対する提言	82
資料編	85
I. 設置要領	87
II. 実施経過	89
III. 分科会別まとめシート	94
i. 健康・地域医療分科会	94
ii. 共創分科会	104
iii. 産業分科会	112
iv. まちづくり分科会	125
v. 子育て・教育分科会	138
vi. 行政経営分科会	146
IV. 委員名簿	160

1. 提言書提出にあたって

私たちは、平成23年度を初年度とする第五次須坂市総合計画・前期基本計画づくりにあたり、市民参加による計画づくりの一環として設けられた「117人(いいなにん)会議」に参加し、職員と一緒に「須坂市がこうなったら"いいな"」「こんなことができたなら"いいな"」と思うことを提言するために話し合ってきました。

会議では、昨年8月26日に全体会を行い、第2回からは「健康・地域医療」「共創」「産業」「まちづくり」「子育て・教育」「行政経営」の6つの分科会に分かれ、5か月間にわたり話し合いました。

私たちは各分科会ごとに話し合う中で、議題テーマごとに現状を洗い出し、「こうなったら"いいな"」と思うあるべき姿を考え、実現のためには解決すべき課題について今後力を入れて取り組むべきことや、「こんなことができたなら"いいな"」と思うことなどについて、段階を踏んで共通認識しながら話し合いをすすめてきました。このように話し合う中で、初対面だった者同士も、共通のテーマについての話し合いを通じコミュニケーションが活発になり、共創()によるまちづくりの取り組みの広がりや充実、人と人とのネットワークづくりのきっかけにもなりました。

提案については「市民視点」を基準に、普段感じていた意見や、私たちみんなでの話し合いの中でまちづくりを考えた時の率直な意見などを分科会としてまとめたもので、行政の業務全般を網羅する提言を出すことを考えてまとめたものではありません。私たち市民が必要と感ずること、こうなればいいなと考えるまちの姿について、一人ひとりの想いと全員の総意が提言の中にまとまっています。

今後は、提案内容を私たち市民や企業、様々な団体、そして行政が力を合わせて実現させることが必要であり、提言に書かれている課題が解決されたか検証することや、課題解決に向けてさらに何をすべきかを、これからも力を合わせて考えることも必要であると感じました。

市長をはじめ行政の皆さんが、市民の私たちが手づくりでまとめた提言を大切に受け止め、第五次須坂市総合計画に織り込んでいただきますようお願いいたします。

平成22年2月1日

117人会議 委員一同

共創とは、分野の異なる人々が特性を活かし、連携し、創造していくことです。

II. 117 人会議実施内容について

8月26日 第1回 117 人会議説明資料より

1 117 人会議の目的

須坂市は本年度から来年度にかけて、平成23年度を初年度とする第五次須坂市総合計画・前期基本計画を策定します。この計画は、策定段階から市民参加により市民のみなさんが主体となるものとします。

そこで、第五次須坂市総合計画の各分野ごとに、今後、力を入れて解決すべき課題についてその背景などを探り、解決するために、市民のみなさんと行政がこれからどうしたら良いのか市長に提言していただき、計画に反映させることを目的とします。

また、計画策定に反映させるだけで117人会議の実施目的を終わらせるのではなく、分科会間の連携や「ヒト」や「情報」の双方向コミュニケーションを通じて、行政主導ではなく行政と市民との共創によるまちづくりの取り組みの広がりや充実、人と人との交流によるネットワークづくりのきっかけとします。

2 117 人会議の構成

(1) 構成

117人会議は、次の分科会で構成されます。それぞれの分科会が議論テーマに沿って話し合います。

分科会	議題テーマ
健康・地域医療	「福祉のまちづくり」, 「障がい者福祉の推進」, 「生活困窮者への支援」, 「高齢化対策」, 「保健・健康」, 「地域医療・介護」 等
共創	「持続可能な地球環境のために」, 「市民参画」, 「文化・芸術、生涯学習」, 「地域の安心・安全」 等
産業	「農業の活性化」, 「商業の活性化」, 「工業の活性化」, 「観光の活性化」, 「農商工観連携」 等
まちづくり	「快適環境」, 「景観育成」, 「土地利用のあり方」, 「道路・交通（快適安全な道について）」, 「公園のあり方」 等
子育て・教育	「地域の子どもは地域で支援し守り育てるために」, 「家庭と地域の教育力向上を図るために」, 「子育て支援」 等
行政経営	「行政の役割って何？」, 「持続的な財政運営とは」, 「広域行政の可能性」, 「地方分権と市民生活」, 「市民参加と市議会との関係」 等

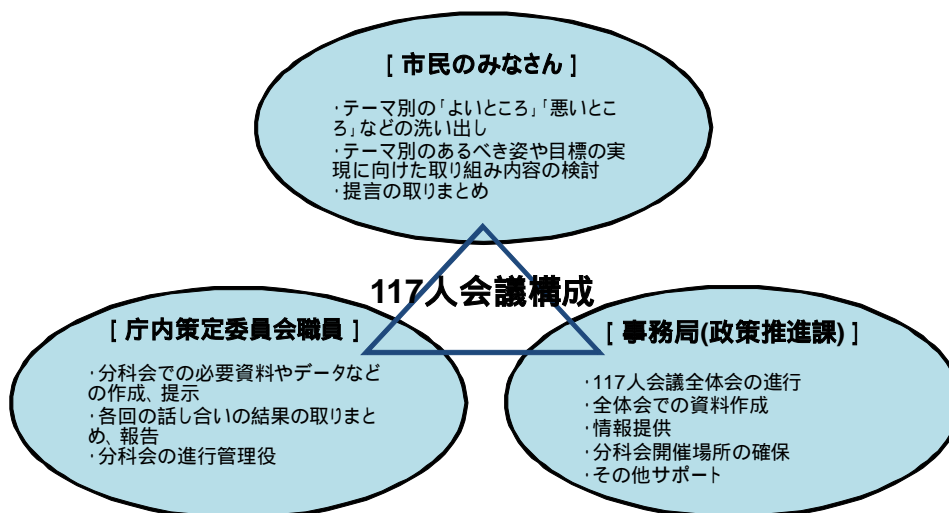
(2) 委員

構成と役割

117 人会議の委員は、

- ・市民のみなさん（市の各部局が推薦する方、公募に応募された方）
- ・庁内策定委員会分科会の関係部局の職員
- ・事務局（政策推進課）

で構成します。



【117 人会議構成とそれぞれの役割】

分科会の構成と現在のメンバー数(8月26日時点)

分科会	市民のみなさんの参加人数	市役所の関係部局
健康・地域医療	13	福祉課 高齢者福祉課、健康づくり課
共創	15	市民課 生活環境課、エコパーク推進課、人権同和政策課、男女共同参画課、生涯学習スポーツ課、中央公民館、消防本部、消防署
産業	13	農林課 工業課、商業観光課
まちづくり	10	まちづくり課 道路河川課、営業課、上下水道課、農業委員会、農林課、政策推進課、市民課
子育て・教育	11	学校教育課 人権同和教育課、子ども課
行政経営	12	総務課 議会事務局、政策推進課、財政課、税務課、会計課、選挙管理委員会

印：庶務担当課=進行管理役

分科会の話し合いの内容に応じ、標記の関係部局職員以外に、他部局の職員も説明や話し合いのため分科会に参加するなど柔軟に対応します。

会議実施の柔軟な対応

(ア) 参加希望に柔軟に対応

参加する市民のみなさんは基本的に1つの分科会に所属していただきますが、話し合いの中で必要と感じた議題テーマを話し合っている他の分科会、関心のある他の分科会への出席も可能です。その際には、事務局の政策推進課または所属する分科会の庶務担当者に報告し、参加したい分科会の開催日時や場所等についてお尋ねください。

(イ) 分科会の連携

各分科会でも話し合いが進んでくる中で、他の分科会と重複する内容や必要な情報を得ながら話し合いをすすめたい場面が出てくると思われます。そのような場合、関係する分科会と合同開催するなど柔軟に対応し、連携しながら話し合いをすすめていきます。

(ウ) 情報の共有

117人会議に参加する皆さんが、他の分科会ではどのような内容で話し合いが行われているか情報を共有しながら会議をすすめるために、会議終了後にできるだけ早く議事録を作成し、内容を公表します。

また、必要な情報を提供するために、職員が柔軟に分科会に参加し、円滑な話し合いができるよう対応します。

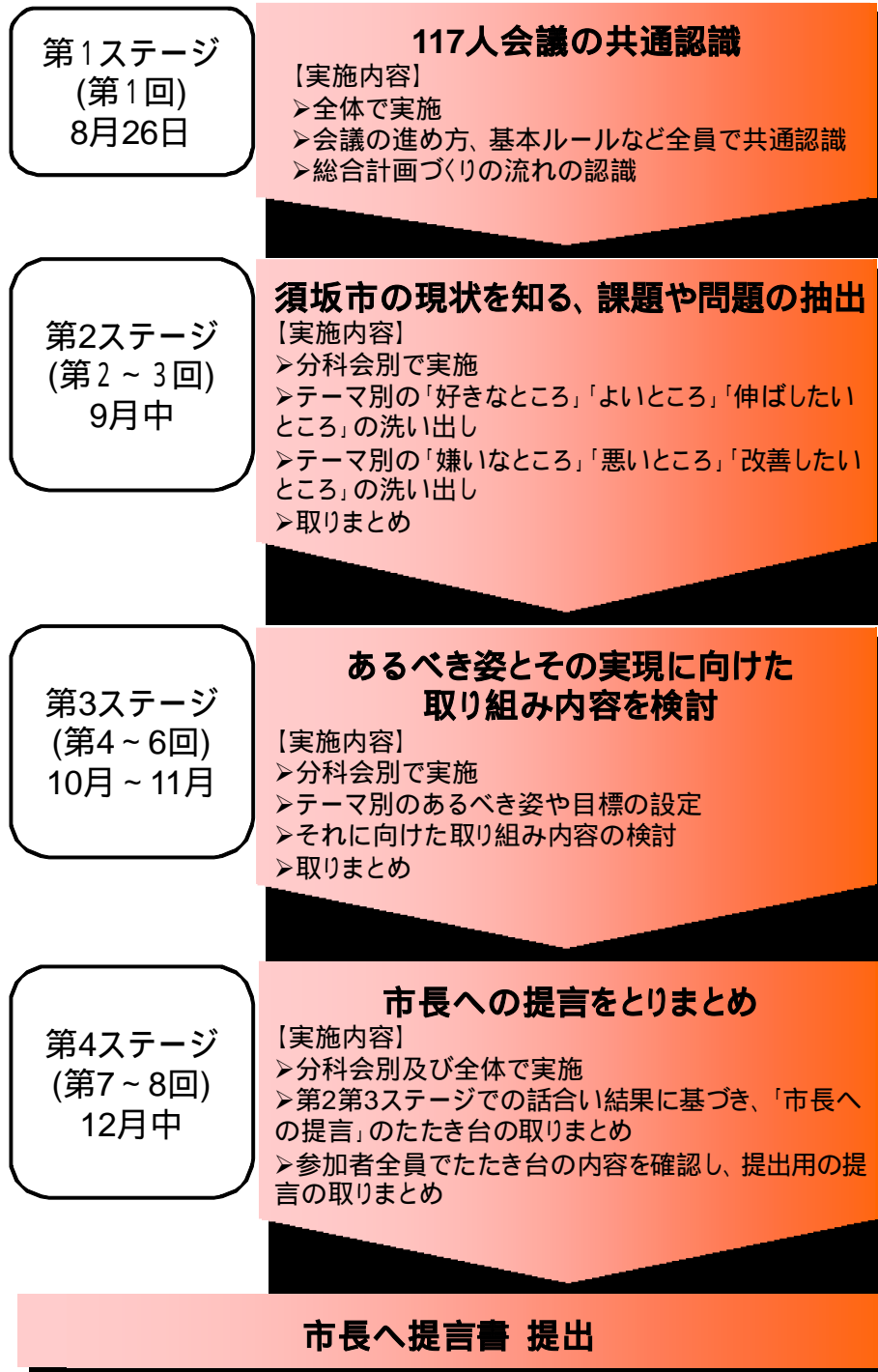
期間

計画に対する提言書を市長へ提出する日（平成21年12月を目途）

3 117 人会議の構成とスケジュール

(1) 117 人会議の進め方と主なスケジュール

117 人会議では次のように段階を踏みながらすすめ、総合計画の策定に反映させる提言書を提出します。



(2) 会長及び副会長

各分科会の中で会長及び副会長を選出していただきます。

会長は、分科会の意見を取りまとめ、分科会を代表します。

副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理します。

初回（117 人会議の共通認識）及び最終回（市長への提言書の取りまとめ）は合同開催とし、市長が招集します。その間の分科会は、会長が招集し、会長が会議の座長となります。

(3) 会議の回数

会議の開催は、おおよそ 8 回程度（全体会 2 回、各分科会 6 回程度）を予定しています。

分科会の議論の進み具合により増減する場合は分科会の中で協議していただき、事務局で会場の確保など対応します。

4 分科会の基本的な進め方

分科会では提言内容を取りまとめるため、第 2 ステージでは「現状把握」、第 3 ステージでは「将来像」と「将来像に向けた取り組み内容」について議論していただきます。

参加するみなさんで会議内容を共通認識し、円滑な話し合いができるよう以下により分科会の会議をすすめていきます。

(1) 会議の基本的な進め方

当日の会議内容説明

進行管理役から当日の実施内容や必要に応じ、話し合いに必要な情報提供、終了予定時間などについて説明します。

前回の成果確認

進行管理役から前回の会議では、どのようなことを話し合い、具体的にどのような成果（検討結果）があったのかを説明し、これに対する参加者全員の共通認識を図ります。

前回出た質問等への回答

前回の会議で出された質問事項のうち、回答されなかった質問があった場合、それに対する回答を進行管理役から説明します。

当日の会議内容に沿って実施

➤ 話し合いの方法

参加者各自がテーマに沿って、自由にできるだけ多くのアイデアを出し合います。

アイデアを付せん（付せん）に記入し模造紙に貼り付けていきます。

出されたたくさんのアイデアを似通った内容ごとにグループ分けします。

グループ化した内容を基に参加者全員で意見交換を行い、その場で出された意見も付せんに記入し、模造紙に貼り加えていきます。



参加者全員でアイデアを出し合い、意見を分類分けします(イメージ写真)

成果報告

参加者全員で当日の成果を確認します。

なお、分科会ごとの成果は、進行管理役から発表するほか、次回の会議までに庶務担当課から印刷した資料を参加者全員に配布します。

当日の成果報告の様子

(イメージ写真)



次回への懸案事項

話し合いの中で結論が出なかった事項や調査が必要な事項を確認します。

次回会議内容の説明

次回の会議内容の報告や会議日程、会場の確認。その他連絡事項について進行管理役から説明します。

5 117 人会議の基本ルール

(1) 会議進行について

- 会議の開始・終了時刻を守るとともに、止むを得ず欠席や遅刻する場合には、事前に事務局に連絡しましょう。
- 市としての見解を問う質問や個別具体の事業やプロジェクトの在り方を問う質問など、即答が難しい質問は問い詰めず、次回への懸案事項として出してください。次回以降の会議で進行管理役または事務局からお答えします。

(2) 意見の発言や聴くことについて

- 参加者全員が対等な立場にあり、自由な発言を行うことを尊重しましょう。
- 他の参加者及び自分の出した意見に対しての批判や文句はやめましょう。
- 限られた時間の中、各参加者が出来るだけ多く発言できるよう、発言時間が長くないよう配慮しましょう。
- 特定の個人や団体などのひぼう中傷につながる発言は止めましょう。
- 出されたアイデアは、尊重し誉めることを心がけましょう。

(3) 合意形成について

- いったん合意した内容は尊重し、議論を前に進めましょう。
- 全体を見渡した視点から議論を行い、特定の地域や団体などの個別利益を優先する立場に陥らないようにしましょう。
- 意見が対立した場合、問題の所在などを明らかにした上、合意形成に向けてお互いに歩み寄りましょう。

この他、会議をすすめていくにつれて参加者のみなさんでもルールを検討し、必要に応じて改善しながら円滑に会議をすすめていきたいと考えています。

これらのルールに沿った進行を妨げるなど、117 人会議の運営に支障のある方は会議への出席をお断りする場合がございますので、何卒ご了承ください。

6 その他

(1) 会議出席できない人も話し合いに参加 “SNS の活用”

須坂市公認地域ポータルサイト「いけいけすざか」の中のサービスで、「ハッチとクララの SNS()」でも実際の 117 人会議と連動し、インターネット上でも話し合いができる場を設けます。

実際に開催する会議に参加できない方でも話し合いに参加できる機会を設け、実際の会議と SNS 内で話し合いの意見を相互補完し、多くの参加者のご意見を取り入れます。

用語説明：SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サイト）

人と人とのつながりを促進・サポートする、参加交流型のインターネット上のサービス。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供する、会員制のサービスのこと。人のつながりを重視して「既存の参加者からの招待がないと参加できない」というサービス。

全国的には「mixi(ミクシィ)」や「GREE(グリー)」などが有名なサービスだが、「いけいけすざか(<http://www.suzaka.ne.jp/>)」の「ハッチとクララの SNS(<http://www.suzaka.ne.jp/>)」では参加会員制で、須坂市の情報に特化し

たサービスを提供している。

SNS への参加ご希望がありましたら、事務局(政策推進課 寺沢)までご連絡ください。

(2) 117 人会議の情報を発信

須坂市公式ホームページ「いきいきすざか」内で第五次総合計画づくりのページを設けています。その中で 117 人会議での話し合いの進ちょく状況を随時報告します。みなさんが所属している以外の分科会の内容などについても確認できます。

同じく、須坂市公認地域ポータルサイト「いけいけすざか」の中のサービス「信州須坂いきいきブログ」(<http://blog.suzaka.ne.jp/suzakacity?cat=609>)の中でも話し合いの経過を情報発信していきます。

【8月26日開催 第1回 117人会議の様子】



III. 提言書について

i. 構成

提言書は6つの分科会ごとになります。

まず、話し合った議題テーマ全体を通して「あるべき姿」「あるべき姿の柱・キーワード」について、分科会全体としての提言を述べます。

次に、「あるべき姿の柱・キーワード」にあげました議題テーマごとに、「あるべき姿」「現状」「実現に向けた取り組みやアイデア」について提言を述べます。

それぞれの項目で述べる主な内容は、以下のとおりです。

【分科会全体の提言】

分科会提言

「**」のあるべき姿**

文章で
「須坂市がこうなったら"いいな"」「こんなことができたなら"いいな"」という皆さんの意見を、「...こうあるべきです。」「...をめざします。」「...します。」という言い方で文章化しています。

議論テーマの理想像をイメージ化し、分科会の皆さんの想いも入れ込んだ文章になります。

「**」の柱・キーワード**

◇ AAAAAAAAAA
◇ BBBBBBBBBB
◇ CCCCCCCCCC

議論テーマを分科会の議論の柱・キーワードとし、次ページから議論テーマごとに提言内容を述べます。

【議題テーマの提言】

1 「AAAAAAAAA」に対する提言

(1) あるべき姿

『 』

柱、キーワードについて第3ステージで出された意見を集約し、理想像をキャッチコピーなどで説明しています。

(2) 現状

良い点

・

悪い点

・

課題・問題

・

第2ステージで話し合っていた内容を提言内容に沿って「良い点」「悪い点(改善が必要な点など)」「課題・問題」を述べます。

提言内容に沿った意見以外は「資料編」の「第2ステージまとめシート」で報告します。

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

・

企業等の取り組み

・

各種団体の取り組み

・

行政の取り組み

・

共創・協働の取り組み

・

第3ステージで話し合っていた内容を提言内容に沿って誰がやるのかを担い手別に述べます。

提言内容に沿った意見以外は「資料編」の「第3ステージまとめシート」で報告します。

「良い点」はさらに伸ばし、「悪い点」を改善するために、それぞれの立場で何をすべきか示します。



IV.分科会提言

i. 健康・地域医療分科会

健康・地域医療分科会提言

「健康・地域医療・福祉」のあるべき姿

市民一人ひとりが、日頃から健康に関心を持ち、心身ともに生き生きとした日々の生活が送れ、須坂病院を中心とした地域医療ネットワークにより、健康管理のサポートが行き届いているまち

また、身体が不自由になっても、高齢になっても、遠慮なく「助けて」の声が出せ、常に地域とのつながりが感じられるような、助け合いのネットワークが根付いて、「一人ぼっちじゃない」という安心感が得られるまち

さらに、困った人がいれば、当たり前のように手が差し伸べられ、ボランティア活動が盛んで、人情の厚い、ふれあいのまち

「健康・地域医療・福祉」の柱・キーワード

- ◇ 保健・健康・地域医療
- ◇ 高齢者福祉
- ◇ 障がい者福祉の推進
- ◇ 生活困窮者の支援
- ◇ 福祉のまちづくり

1 「保健・健康・地域医療」に対する提言

(1) あるべき姿

市民が自ら健康づくりに取り組み、必要な医療を安心して受けられるまち

(2) 現状

良い点

【保健・健康づくり】

- ・ ウオーキングする人が増えてきている。
- ・ 健康づくりに理解のある企業が多い。
- ・ 水がおいしい。

【保健補導員等】

- ・ 保健補導員制度が整っていることで、日常的に市民の会話の中に、健康維持・食生活のことが話題になっている。
- ・ 保健補導員制度の健康づくりが浸透
- ・ 食改の活動がすばらしい。
- ・ 健康増進事業、保健師がよくやっていると思う。
- ・ 介護予防事業 補導員さんよくやっている。

悪い点

【保健・健康づくり】

- ・ 人間ドックの受診補助が低い。
- ・ 健診案内がわかりづらい。
- ・ 乳児健診が午後のため、子供が寝てしまう。

【保健補導員等】

- ・ 保健補導員も疲弊している。

【地域医療(須坂病院・救急医療)】

- ・ 婦人科はあっても産科がない。
- ・ 産婦人科の医師が来たらそれで解決なのか。
- ・ 須坂病院だけにお産を頼らざるを得ない。安心して産めない。
- ・ 救急医療、今のままだとつぶれてしまう。充実してほしい。
- ・ 休日・救急医療(須坂病院)医師少なく待たされる。
- ・ 高齢者の診察に不便。駐車場も待合室も車椅子では狭い。

【医療制度】

- ・ 国保税・介護保険料が高い。

課題・問題

【保健・健康づくり】

- ・ 若い方は健診を受けているのか。
- ・ 特定健診、社会保険の扶養の方が受けやすいようになればよい。
- ・ 歯の検診があればありがたい。(8020 運動)

【地域医療(須坂病院・救急医療)】

- ・ 須坂病院の医師を今より増員
- ・ 里帰り出産も安心してできるような産科医療

- ・ 須坂病院は元国立上山田病院に学んでほしい。
- ・ 須坂病院独法化について3市町村のコンセンサスはあるのか。
- ・ 救急車を使った時、救急以外の場合は費用負担をしていただく。
- ・ 市議員さんに現場を知ってもらうために、年20日位、須坂病院やひだまりに行ってもらいたい。

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

【健康に過ごせるまち】

- ・ 乾布まさつでふれあうまちづくり
- ・ 市民が相互に健康づくり、生活を応援し、人をつなげる健康づくりを進める。

行政の取り組み

【健康に過ごせるまち】

- ・ 健診終了カードを出し、その後の医療費など格安・免除などの良さを与える。
- ・ 健診の受診期間を通年化する。(医療機関)
- ・ 老人福祉センター、地域公民館に介護予防運動用のマシンを置く。
- ・ 健康づくり(自身でするもの)に連携してフィードバック出来るシステムづくり
- ・ 須坂市民全員が必ず1日30分は歩かなければいけない条例制定(強制予防医療)

【医療の充実】

- ・ 須坂病院を支え、緊急医療を充実し、北信の医療中核市になる。
- ・ 地域ごとに健康管理などするセンター設置(身近な場所)
- ・ 複雑な医療制度をなくすことで、負担感の軽減を図る。
- ・ 1%支援制度(千葉県市川市)を参考とし、市民団体の自主的な活動に対して、市民が支援したい団体を選び、個人市民税額の1%相当額をその市民活動に援助する。
- ・ 数年間、保険証未使用者にお祝いをさしあげる。
- ・ 医療に携わる人にも、医療を受ける人にも優しさと、思いやりで結ばれた地域医療を創る。

共創・協働の取り組み

【健康に過ごせるまち】

- ・ ゆっくり噛んで食べる市民的運動を起こす。
- ・ 食事も運動もゆっくりスローライフのまち 須坂
- ・ 健康づくりのため、毎日曜、須坂市のどこかでウォーキングが開催されている町(町ごと順番もよし)
- ・ 簡単にできる健康体操の普及(タオル体操など)

【医療の充実】

- ・ 予防に力を入れる。(入院・薬を減らす!)
- ・ 須坂病院を地域に根ざした佐久総合病院のようにしたい。

2 「高齢者福祉」に対する提言

(1) あるべき姿

高齢者が、ひとり暮らしになっても相談できる場所があり、住み慣れたところで、安心して暮らせるまち
高齢者の介護や認知症に理解のあるまち

(2) 現状

良い点

【高齢者への支援・地域の支え合い】

- ・ 高齢者の一人暮らしに対し、思いやりが感じられる。
- ・ 地域のつながり、住民の支え合いがある。
- ・ 民生委員さんが活躍している。
- ・ 老人福祉センターの有効活用
- ・ 子育て支援の充実。公私の保育園整備と共に高めあう取り組み

【高齢者への支援・ボランティア】

- ・ 高齢者の方の家の周りの雪かきを率先してやる人達がいる。

【高齢者への支援・食】

- ・ 高齢者への配食サービス
- ・ 味噌がうまい。

【介護サービス】

- ・ 介護サービスの充実はありがたい。

悪い点

【高齢者への支援・交通】

- ・ ほほえみバスを止めるのはどうか。
- ・ 通所介護サービスの送迎車の効率が悪い。
- ・ 国道に歩道がない。道が狭い。レンガ状になっているところにシルバーカーがつかかる。

【介護サービス】

- ・ 入所施設の不足
- ・ 介護従事者の不足
- ・ 介護保険の上限を超えた上乘せサービスがあってもよい。(特に認知症)

【高齢者への支援・地域の支え合い】

- ・ 老人会がつぶれたこと。(会長の引き受け者がいない)
- ・ 近くに商店がなく、町の中心に転居したいと悩む高齢者

課題・問題

【高齢者への支援・地域の支え合い】

- ・ 高齢者になっても安心して暮らせる社会
- ・ 行政と地域で一体となって行っていく姿勢が必要
- ・ 3世代同居の世帯の増加、支援
- ・ 老人会のしがらみが原因で入る人が減少(現状の悪い点)

【高齢者への支援・認知症】

- ・ 認知症になっても安心して地域で暮らせる社会
- ・ 認知症の方に発信機をつける。電話でなく、身体から離れないGPSはないのか。(腕輪など)
- 【高齢者への支援・ボランティア】
- ・ 定年退職者の人を有効活用したらどうか。
- ・ シルバー人材センターの委託内容(事務・介護(福祉派遣法との関係))
- ・ 介護保険で助けられない部分をボランティアで何とかできないか。
- 【高齢者への支援・食】
- ・ 高齢者世帯の食の確保
- 【高齢者への支援・交通】
- ・ 高齢者の交通手段
- ・ 安曇野市の公共交通システムを参考にしたらどうか。
- ・ 高齢者一人一人の行動パターンを把握して交通システムを考えてはどうか。
- 【介護サービス】
- ・ 介護調査員の温度差
- ・ 制度サービス外の地域の支え合いの不足をどうするか。ふれあいのカバーできる人数?老人会の減少傾向
- ・ 老後を子供だけに頼れない。
- ・ 国民年金だけでは介護サービスが心もとない。

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- 【高齢者が安心できるまち】
- ・ 隣組組織の活性化(地域での見守り)
- ・ 町内会の行事などに、役員だけでなく育成会(子ども達)も積極的に参加する。

企業等の取り組み

- 【高齢者の暮らしとお金】
- ・ 高齢者のみの企業を立ち上げる。
- 【地域で暮らす高齢者】
- ・ 高齢者の人材活用

行政の取り組み

- 【高齢者の暮らしとお金】
- ・ 高齢者と同居する世帯を優遇するような制度
- 【高齢者が安心できるまち】
- ・ 須坂病院へ市役所の機能を一部使えるようにする。
- ・ ボランティアをした人にポイントをあげる。(市内の施設を使う時に使える)
- ・ 地域通貨(ポイント制)
- ・ バス停までの移動困難者の支援システムを作る。
- ・ 介護サービスをできるだけ使わなくて済むように、予防事業にも力を入

れ取り組む。

- ・ 高齢者の見守りシステムを充実させたい
- ・ 認知症サポーターの充実

共創・協働の取り組み

【地域で暮らす高齢者】

- ・ 高齢単身者が協力し合って食事等をつくり、楽しめる通所施設

【高齢者が安心できるまち】

- ・ バス停にベンチを作る。

3 「障がい者福祉の推進」に対する提言

(1) あるべき姿

障がいを持つ人も持たない人も、地域で当たり前のようにつながりを持ち、地域の一員として生き生きとした姿で暮らせるまち

地域住民の障がい者に対する理解が深く、地域での就学や就労が確保され、1人でも安心して暮らせるまち

(2) 現状

良い点

【サービス】

- ・ 障がい者の生活実態にあったサービス量が受けられている。
- ・ オムツ券やタクシー券は、大変助かります。

【施設・ハード】

- ・ 障がい者支援施設の整備が充実している。
- ・ 施設のサービス内容が改善されている。
- ・ 市営住宅に障がい者住宅があるのは良いこと。

悪い点

【サービス】

- ・ 障がい者福祉事業が少ない。
- ・ 買い物のための移動手段の支援がない。

【施設・ハード】

- ・ 障がい者に対し、道路が狭く悪すぎる。
- ・ 須坂の道は入ってこられないように作ってある。(2車線から1車線に狭くなる)
- ・ 福祉施設がバラバラ

【障がい者への理解・理念】

- ・ 障がいの程度が様々で、健常者と見分けが付かない人もいる。手帳の更新は行われているのか。
- ・ 難聴の人への配慮が地域に欠けている。
- ・ 障がい者に対して本当に考えている市民であるのか。

課題・問題

- ・ オムツ券やタクシー券が、年度切り替え時に1ヶ月空くのが困る。(4月に使えない)
- ・ 障がい者住宅を拡大してほしい。(ユニバーサルデザインで)
- ・ 障がい者にとって住みよい町に。そのための官民の協力を。
- ・ 緊急通報システムが必要な人は、65歳以上に限らないので、希望者に設置できないか。
- ・ 福祉会館を市直営の管理に。
- ・ 福祉に対する給付金が多すぎないか。
- ・ 福祉有償運送事業者に格差がある。
- ・ 歩道の整備

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 人権・差別をなくす啓発の取り組み。啓発の機会をつくり、学習する。

企業等の取り組み

- ・ 障がい者の雇用の確保

各種団体の取り組み

- ・ 障がい者グループの充実

行政の取り組み

- ・ 障がい者が働いている企業に法人税等の優遇措置
- ・ 車イスで行き違いができるよう、歩道を広くする。
- ・ 施設職員の待遇改善を。
- ・ 福祉サービスには、受益者負担という考えは取り入れない。
- ・ 施設入所などの書式を簡単にしてほしい。
- ・ オムツ券、タクシー券が年度切り替え時の3月に、4月分までまとめて出す。

共創・協働の取り組み

- ・ 障がい者が就労できる場の充実・開拓。それに対する市の支援
- ・ 福祉施設が1カ所にまとまっており、足を踏み入れたら、そこでだいたい事足りるような環境づくり。
- ・ 無料市民バスが市内をくまなく運行し、市内での移動がいつでも自由にできる。
- ・ 障害者自立支援協議会のような活動の強化推進

4 「生活困窮者の支援」に対する提言

(1) あるべき姿

生活に困っている人が、気軽に相談でき、親身になって解決策を考えてくれ

るまち

地域住民がお互いに協力し合い、誰もが生活できるまち

(2) 現状

良い点

- ・ 【サービスの充実】
- ・ 生活保護世帯率が低い。
- ・ ホームレスがない。

悪い点

- ・ 【制度の適正さ】
- ・ 誰が生活困窮者かわからない。
- ・ 本当にお金に困っている人に在宅福祉サービスが行われているか。

課題・問題

- ・ 生活困窮者を見つけ出す方法を。(窓口を設けるなど)
- ・ 低所得であっても地域で生きられるには。
- ・ 失業者を減らすためにワークシェアリングを。
- ・ 窓口一本化で何でも相談できないか。

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 生活困窮者にお米を配布する。(農業者から、遊休農地を利用して)

行政の取り組み

- ・ ケースワーカーの増員
- ・ 生活相談、訪問員制度の創設

5 「福祉のまちづくり」に対する提言

(1) あるべき姿

地域とボランティアグループがつながり合い、誰もが何らかのボランティア活動に気軽に参加しているまち

助け合いが当たり前のように行われ、感謝の言葉があふれ、思いやりに満ちたまち

(2) 現状

良い点

- ・ 種々のボランティア活動があり、活発に行われていて良い。
- ・ 地域の見守りが行われている。
- ・ 助け合い推進事業があるのが良い。(社協に)
- ・ 民生委員さんが熱心
- ・ 福祉のまちとして、須坂は先進地と思う。

課題・問題

- ・ 学校施設の有効利用

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 須坂市独自の助け合いのシステム（お金をかけずに、現物支給も）
- ・ 女性のパワーを利用する。
- ・ 「助けて！」を自由に言えて、だれかれとなく手を差し伸べる。

各種団体の取り組み

- ・ 全公会堂のバリアフリー化
- ・ 民生委員と保健補導員の連動したシステム
- ・ 民生児童委員を女性にする。

行政の取り組み

- ・ 御用聞き中心の市役所業務
- ・ 市内全域、歩道のフラット化

共創・協働の取り組み

- ・ ボランティアをしたらとても良かったと思える様なポイント制
市の施設（版画美術館など）の無料使用券
自分が支援を受ける立場のときにサービスが使える・・・など
- ・ 助け合いの家（店）を制度でつくり、困ったときの相談や手助けができるまちづくり
- ・ 助け合いポイント制度。地域通貨との連携
- ・ 市民1人必ず半年ボランティアに従事する制度
- ・ 安心して使える道路づくりへの協力
- ・ 交通弱者が安心して歩けるまちづくり

【健康・地域医療分科会の様子】





ii. 共創分科会

共創分科会提言

第1部会（環境）

「持続可能な地球環境を守るため」のあるべき姿

須坂市の美しい自然環境と自然のたまものであるおいしい水を、里山や田園などの造り育てる自然とともに、市民みんなで守り、次の世代に引き継ぎます。

CO₂の発生量を削減するため、省エネルギーの取り組みや新エネルギーへの転換を図るなど地球環境の保全を常に意識し、自らの生活様式の見直しをこころがけ、市民みんなが努力します。また、小・中学校での環境教育を一層推進します。

循環型社会形成のため、市民、事業者、行政が3R運動《リデュース（発生抑制）・リユース（再利用）・リサイクル（再資源化）》をそれぞれの立場で推進し、ごみ減量に努めます。

「持続可能な地球環境を守るため」の柱・キーワード

- ◇ 自然環境の保全
- ◇ 新エネルギー、省エネルギーでCO₂削減
- ◇ ごみ減量と資源化

1 「自然環境の保全」に対する提言

(1) あるべき姿

峰の原高原、五味池破風高原、米子大瀑布などの豊かな自然、千曲川の流れや北アルプス、北信五岳の優れた眺望など豊かな自然景観と美味しい水を守るため、里山や田園などの造り育てる自然と共に、市民みんなで守り、次の世代に引き継ぎます。

(2) 現状

良い点

- ・ 自然環境が優れている
- ・ 須坂市は狭い市であるが、有名な川があったり山や滝があったり誇れる市である。このまま自然環境を残して行きましょう
- ・ アレチウリの撲滅作戦が長く続いている
- ・ インター付近のカンナや仁礼線のサルビアなど、花いっぱい町が美しくなった
- ・ 水道の水がうまい
- ・ 百々川河川敷が整備されて、散歩ウォーキングには最適
- ・ 河川の水がきれいになってきた

悪い点

- ・ 山林に手が入らなくて荒れている
- ・ 遊休荒廃農地が増えている
- ・ 草の手入れが大変

課題・問題

- ・ ホタルなどが生息するような環境づくりが必要
- ・ 美しい自然環境をこのまま守り、次の世代に伝えたい
- ・ 竜ヶ池の水がもっときれいにならないか
- ・ 千曲川のアレチウリ撲滅を全市で出来ないか

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 市民みんなで管理する
- ・ 自然環境を保全し、活用するNPO法人などを設立する
- ・ 人工的な自然環境については、花いっぱい運動が自主的な市民活動になる

企業等の取り組み

- ・ 自然環境保全のため団体等の支援を行う
- ・ 企業で植樹などの環境保全活動を行う
- ・ 環境に役立つ技術の提供をする

各種団体の取り組み

- ・ 自然環境を保全し、活用するNPO法人などを設立する

行政の取り組み

- ・ 自然保全型の土木工事を行う
- ・ 自然環境保全地区を指定する

共創・協働の取り組み

- ・ 美しい須坂の自然をそのまま次の世代に渡すようにする
- ・ 子供たちに自然環境の良さを理解してもらうため、講演会や体験会で環境意識を高める
- ・ 農業、林業で暮らしていけるようすることが、須坂の自然環境を守ること
- ・ 須坂の水として、どんどん全国に宣伝する

2 「新エネルギー、省エネルギーでCO削減」に対する提言

(1) あるべき姿

COを削減するため省エネルギーの取り組みや新エネルギーへの転換を促進します。また、日常生活の中でもCOの削減を意識し、自らの生活を見直して市民みんなが努力します。

小・中学校での環境教育を推進します。

(2) 現状

良い点

- ・ 夏はエアコンがいらぬ
- ・ 年間の日照時間が長い
- ・ 小水力発電に適した水路が多くある
- ・ 薪ストーブの燃料が豊富にある

悪い点

- ・ 太陽光発電の補助金が他市と比較して少ない
- ・ 臥竜公園庭球場の照明が気になる（プレーしていなくても点いている）
- ・ 道路が狭く複雑。舗装状態も最近特に悪い。車がスムーズに走れない
- ・ 坂が多く自動車を多く使う（ガソリン）

課題・問題

- ・ 市内の工場がCO削減にどう取り組んでいるか知りたい
- ・ 百々川の水を利用して水力発電が出来ないでしょうか
- ・ 市民の環境意識を持続し、さらに高めて行くべき

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 市民みんなが省エネやCO₂削減を意識し、生活を見直し、実行する

企業等の取り組み

- ・ 事業所ごとにノーマイカーデーを実施する
- ・ 企業がCO₂削減の取り組みを公表する

行政の取り組み

- ・ 太陽熱利用に補助金を交付する
- ・ 小中学校に環境教育を義務付ける

共創・協働の取り組み

- ・ 太陽光発電を普及し安い価格にする
- ・ 公共交通機関の利用を促進する
- ・ エコポイントの拡大とエコカーの導入を推進する
- ・ 省エネを各家庭に浸透させる
- ・ 環境先進国のノウハウを勉強し実践する
- ・ 照明を発光ダイオードに替える
- ・ 小水力発電で街路灯を点ける
- ・ 環境学習会を開催し勉強する

3 「ごみ減量と資源化」に対する提言

(1) あるべき姿

大切な資源を守るために、市民、事業者、行政が同一目標でごみを減量し、循環型社会形成を目指して3R運動（リデュース・リユース・リサイクル）を推進します。

(2) 現状

良い点

- ・ 町や道路にごみが落ちていない
- ・ エコサポートの取り組みはすばらしい。
- ・ ごみステーションを町の当番で管理している
- ・ ごみ収集がきれいになった
- ・ ごみ減量が市民の努力で少しずつ進んで来ている
- ・ 臥竜公園にごみが落ちていない。市民の高い意識と協力
- ・ 小・中学校で資源回収が盛ん

悪い点

- ・ 生ごみ処理機の補助金が他市と比較して少ない
- ・ ごみステーションが全て集積施設となっていない
- ・ 不法投棄が増えている

- ・ ゴミステーションでカラスの害が多い
- ・ ゴみの出し方が悪い、他の町の人が置いていく
- ・ 生ごみのたい肥化（ダンボール）機材の上限をなくしてほしい
- ・ インター周辺、林道の奥、国道のカーブにごみの不法投棄が多い

課題・問題

- ・ エコサポートの軒数を増やして欲しい
- ・ 生ごみを分別収集する。
- ・ 粗大ごみの収集、年2回位にしてほしい
- ・ 衣料を無料でリサイクルする
- ・ 子ども達（小学生）に須崎市のごみの現状を知って欲しい（減量につながるように）
- ・ 過剰包装が、まだまだ多くある
- ・ 一般廃棄物最終処分場を早く決定し、良い点、悪い点の勉強会をしたい
- ・ ごみを減らすポイントを教えてほしい
- ・ ごみ減量するには、有料化の前に売る方に負担させる

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 町内一斉清掃を実施します
- ・ 環境配慮型商品を選ぶ
- ・ 買い物袋を持参する

企業等の取り組み

- ・ 過剰包装を止める

各種団体の取り組み

- ・ ゴミステーションの小屋を町内に造ったら、カラスの害がなくなる
- ・ 各町のごみステーションの建物を大きく、場所も多く、無料にする

行政の取り組み

- ・ 粗大ごみ収集を年2回ぐらいたった方がよい

共創・協働の取り組み

- ・ もったいない運動を促進する
- ・ エコサポートのような横断的市民運動をもっと広めたい、続けたい
- ・ 不用品交換を定期的に市民ぐるみで行う
- ・ 臥竜公園の花見時にごみの持ち帰りを促進する
- ・ 資源化する品目を増やす
- ・ 生ごみを分別収集し、バイオマスエネルギーにする
- ・ 区の役員さん全員に不法投棄監視員になっていただく

第2部会（市民参画）

「市民参画の推進」のあるべき姿

市民が主体となり市民の意見を反映した自由で柔軟な学習の場を市民と共創で作ります。

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権を守り差別のない社会、男性も女性も生きいき生きられる男女共同参画社会が実現できるように市民・企業・行政が力を合わせ取り組みます。

「市民参画の推進」の柱・キーワード

- ◇ 男女共同参画
- ◇ 人権問題

1 「男女共同参画」に対する提言

(1) あるべき姿

市民が主体となり、市民の意見を反映した自由で柔軟な学習をする中で、男女が各々の特性を認めたくえで責任を分かち合い、家庭や地域・学校・職場等で個人の能力や適性に合わせて力を発揮し、共同する社会づくりを目指します。

(2) 現状

良い点

- ・ 意識を持っている方は、いろいろなところに参画している
- ・ 男女共同参画の市民学習会が行われている
- ・ 人権問題について幅広く、粘り強く取り組まれている

悪い点

- ・ 男女共同参画推進体制が不十分
- ・ 市の各種審議会委員公募に応募者が少ない
- ・ どんなふうに参加していいかわからない

課題・問題

- ・ 男女共同参画条例の制定
- ・ 女性の登用がしやすいように人材バンクの設置
- ・ 30代・40代の女性が参加できる会議の持ち方と体制に工夫を
- ・ 年代別に集まれる場があるといい

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 各々が人権感覚を高く持つ
- ・ 身近な家庭や地域の中で男女共同参画を意識し行動する
- ・ 学習会や集会に積極的に参加し実践する

企業等の取り組み

- ・ ワークライフバランス（仕事と家庭生活等の両立）が推進できる体制の充実
- ・ キャリア形成やチャレンジができる環境整備

各種団体の取り組み

- ・ 方針の立案、決定場面に女性の参画を増やす
- ・ あらゆる人が参加しやすいような体制の充実

行政の取り組み

- ・ 家庭・地域・企業等あらゆる場面への推進体制づくり
- ・ 学習会参加方法など広報の充実
- ・ 誰もが安心して参加できるような体制づくり

- ・ 男女共同参画条例を制定することで推進の実効性をあげる

共創・協働の取り組み

- ・ 人権感覚を高める学習会の充実（市民のニーズに合った学習会を企画し、参加者も満足感を感じることでできる学習会を目指す）
- ・ 市民が生活の中にある課題に気づき、市民団体や行政とともに市民の男女共同参画意識向上を目指す

2 「人権問題」に対する提言

(1) あるべき姿

人権問題は自らの問題としてとらえることが大切です。同和問題・女性・障がい者・外国人等の人権問題について市民一人ひとりが知識を深め、あらゆる差別の無い社会を実現するため人権尊重のまちづくりを市民・企業・行政と協働で推進する。

(2) 現状

良い点

- ・ 意識を持っている方は、いろいろなところに参画している
- ・ 人権問題について幅広く、粘り強く取り組まれている

悪い点

- ・ 人権同和問題学習会の義務化（年2回）形式的になりがち
- ・ 人権学習の参加者が少ない
- ・ どんなふうに参加していいかわからない

課題・問題

- ・ 町別人権同和問題学習会の集まりが悪いというが、地域ブロックで相談して取り組むことを認める

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 各々が人権感覚を高く持つ
- ・ 身近な家庭や地域の中で人権問題について意識し行動する
- ・ 学習会や集会に積極的に参加し実践する

企業等の取り組み

- ・ 人権同和学習を推進する
- ・ 企業内において、人権感覚の高揚を図る

各種団体の取り組み

- ・ 人権同和学習の推進体制の充実
- ・ あらゆる人が参加しやすいような体制の充実

行政の取り組み

- ・ 義務的（形式的）になりがちな人権同和问题学習会の充実を図る
- ・ 学習会参加方法など広報の充実

共創・協働の取り組み

- ・ 人権同和问题学習会の開催
- ・ 人権感覚を高める学習会の充実（市民のニーズに合った内容で、参加者も満足感を感じることでできる学習会を目指す）

第2部会（生涯学習・文化芸術）**「生涯学習・文化・スポーツ活動」のあるべき姿**

市民が、生涯学習やスポーツ等を通じ、健康で生きいきとして自ら学び挑戦する心を育み、また他の人に教えることにより、市民相互の交流が盛んに行われ、知識・技術が広がる環境づくりや地域の連帯感を育む活動を推進します。

さらに、市民が様々な歴史や文化・芸術に気軽に触れることができ、自分たちの住む須坂への誇りと愛着を持てるまちづくりを推進します。

また、地域の伝統・文化の記録を残し、次世代につながる歴史・地域文化を掘り起こして伝える活動を目指します。

「生涯学習・文化・スポーツ活動」の柱・キーワード◇ **学習の成果を地域のまちづくりにどう活かすか・スポーツを気軽に楽しむ****【生涯学習・公民館活動の充実】**

生涯学習の活かし方・発表の場
学習の成果
文化・スポーツなど交流の場

市民のつどい
仲間づくり

◇ **地域文化・文化財の活用と保存・継承****【文化・芸術活動の充実】**

地域の文化
施設と環境

歴史・史跡・郷土愛
交流と発表の場

3 「学習の成果を地域のまちづくりにどう活かすか・スポーツを気軽に楽しむ」に対する提言

(1) あるべき姿

学んだことを地域に活かしていく活動を推進し、地域の連帯感を育む活動や、情報が簡単に共有できる仕組みを推進します。

公民館は、地域活動の核で、情報発信と地域活動の支援を行う場であり、市民と共につくりあげていくことを目指します。

(2) 現状

良い点

- ・ 地域の分館活動、サークル活動が充実している
- ・ 地域の公会堂、公民館や分館活動に人が集まり利用されている
- ・ 生涯学習が活発に行われている
- ・ 高齢者の学習参加者や活動者が多い
- ・ 多種目の講座が開催されている
- ・ 世代間交流の場がある
- ・ P T A活動が活発
- ・ 個人や団体の生涯学習・スポーツ活動が活発
- ・ スポーツ活動に幅広い市民参加が工夫されている

悪い点

- ・ 個人の学習になっていて、地域の人たちを高めていけるような努力が少ない
- ・ 学習をしている人の足を引っばっている人もいる
- ・ 生涯学習市民のつどいが市全体のものになっていない
- ・ 生涯学習推進員が十分に活かされていない
- ・ 学習する人が限定されていて拡大されていない
- ・ 50～60代の参画と女性がつながる機会が少ない
- ・ 若者の学習や地域活動者が少ない
- ・ 公民館の役員が1年交代で、前年踏襲の活動になっている
- ・ 地域公民館の地域への貢献が不十分

課題・問題

- ・ 学習の成果を活かす方法がわからない
- ・ 生涯学習の課題がスポーツ、趣味活動になっている
- ・ 趣味芸能を深める個人的なものを深めるとともに学んだことを活かし、社会へ還元する活動を進める
- ・ 考えが深くなるような内容の学習の取り組みがない
- ・ 貸館の利用者に発表の場を提供する
- ・ 公民館・女性未来館・図書館・博物館などのネットワークが必要
- ・ インターネットのわかりやすい教室やパソコンの利用
- ・ 学習は個人的なもの、成果はいずれ出てくると思って、ゆっくり待つ、

臨機応変で寛大な学びの場もあってよい

- ・ 市民が参加できる学習会の機会は、多く準備して欲しい
- ・ 生涯学習する仲間をどうやって増やしていくか
- ・ 生涯学習の交流、発表の場を増やす
- ・ 団塊の世代の地域活動への参加意識がわからない
- ・ シルキー3階ホールをお年寄りなどの発表の場として安く使えるようにすると、市民バスの利用も進み、活性化になる
- ・ 市民に知らせる手段として、子育て世代向けの広報、高齢者向けの大きな文字の広報誌
- ・ 区長や公民分館長の仕事、会議が多い
- ・ 姉妹都市の拡充と交流（国内・外国）文化・スポーツの交流
- ・ 観覧席のある体育館があって、全国・外国のスポーツ交流

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 友人同士で声をかけ合い、学習仲間を増やす
- ・ 率先して講師となる（地域の連帯感を育む活動を）
- ・ 学習する人を応援する
- ・ 課題を持って学習する
- ・ 施設を積極的に活用する
- ・ 市民がスポーツ等活動に参加する
- ・ スポーツサークルづくりを通じ仲間を増やす

企業等の取り組み

- ・ 職場見学の受入れ（出前講座の拡大）
- ・ 各種活動の理解と支援

各種団体の取り組み

- ・ 自主的活動の推進
- ・ 区長や公民分館長の仕事を分散するか、不要の仕事をやめる

行政の取り組み

- ・ 生涯学習指導者の養成
- ・ 生涯学習市民のつどいの充実
- ・ 生涯学習推進員の活動支援
- ・ 学習機会の拡大と充実・PR
- ・ 生涯学習施設のネットワーク化と情報の提供
- ・ 地域スポーツクラブの育成
- ・ スポーツイベントの開催

共創・協働の取り組み

- ・ 市民と市の共創で講座を企画する
- ・ 学習講座等で学んだ内容を活かす場をつくる
- ・ 生涯学習市民のつどいの充実

- ・生涯学習推進員の活動充実
- ・定年退職後の中高年の力を活かす
- ・シルキーホールを生涯学習の場として利用する
- ・だれでもが気軽にスポーツを楽しめる場をつくる
- ・スポーツ指導者の育成

4 「地域文化・文化財の活用と保存・継承」に対する提言

(1) あるべき姿

地域の伝統・文化が積極的に発表できる場があり、誇りの持てる環境をつくれます。

地域の伝統・文化の記録を残し、次世代につながる歴史・地域文化を掘り起こして伝える活動を目指します。

(2) 現状

良い点

- ・地域文化の良い点が多くある
- ・信州岩波講座が開催されている
- ・バッハの会など音楽活動が活発に行われている
- ・世代間交流の場となっている
- ・「伝統文化子ども教室」が行われている
- ・歴史などの資源が沢山ある
- ・地域の文化財が紹介されている
- ・臥竜公園の緑地帯がすばらしい

悪い点

- ・地域文化の後継者がなかなかいない
- ・文化施設が市内にばらばら
- ・文化施設に飲食できるスペース（食堂）がない

課題・問題

- ・文化・芸術を深め、それをまちづくりに活かす地域づくりの活動を進める
- ・先進地に学び、地域にあったものを探す
- ・地域文化・文化財の記録とその保存を進め、図書館をその情報センターとして活用する（障がい者の視点に立って考えた資料を）
- ・文化の香る田園都市（音楽・趣味・俳句シンポジウムなど）
- ・大笹街道や仁礼宿の保存整備を進める
- ・三原街道と豊丘ダム湖の活用
- ・米子鉱山跡、米子大瀑布を市民の宝に
- ・臥竜公園緑地帯の百々川に水車による発電施設
- ・伝統芸能の体験ができる場があれば参加したい

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 地域の歴史の掘り起こし
- ・ 発表の場づくりと情報の提供
- ・ 各人の取り組みの連携

企業等の取り組み

- ・ 各種活動の理解と支援

各種団体の取り組み

- ・ 地域文化の後継者を育成
- ・ P T A活動との連携
- ・ 保存団体のネットワーク化（連携）

行政の取り組み

- ・ 地域文化の後継者育成を支援
- ・ 伝統文化の映像記録化の推進
- ・ 「伝統文化子ども教室」の支援
- ・ 発表のできる施設の提供
- ・ 図書館・博物館活動の充実
- ・ 各町のお祭りを紹介する「祭り会館」などの検討
- ・ 学校教育での取り組み

共創・協働の取り組み

- ・ 地域文化の後継者を育成
- ・ 伝統芸能の発表会の開催
- ・ 保存団体のネットワーク化（連携）
- ・ 各町の「お祭情報」の提供

第3部会（安心安全）

「地域の安心・安全」のあるべき姿

市民や当市に訪れる観光客等の皆様が、分かりやすいまち、交通事故や犯罪のない安心で安全なまちと感じられるまちづくりを目指します。

高齢化や核家族化が進む中、老若男女が気軽に集まり挨拶がかわせて助け合えるまち、自らの地域は自らが守る災害に強い地域づくりを目指します。

「地域の安心・安全」の柱・キーワード

- ◇ 交通安全
- ◇ 防犯
- ◇ 消費者保護
- ◇ 地域防災

1 「交通安全」に対する提言

(1) あるべき姿

「わかりやすい道路でわかりやすいまち 交通事故のない安心安全なまち」
道路標識、渋滞解消のための右折ラインを設置し、市民の不安を解消する。
また、遮断機や警報機のない踏切の統合を図るなど安心安全なまちを目指します。

(2) 現状

良い点

- ・ 交通指導員制度の充実
- ・ 地域の交通安全協会が充実している

悪い点

- ・ 市内の道路網が覚えにくい
- ・ 長野電鉄の電車事故がいたましい
- ・ 長野方面へ向かう自転車と車の接触事故
- ・ 生活道路に通過車両が入ってくる
- ・ 変形交差点が多く改良必要
- ・ 国道車線が狭く、朝夕の渋滞日常化
- ・ 歩道が狭い
- ・ 高齢者の運転による交通事故が多い
- ・ シートベルト着用率の低下
- ・ 他人の子どもに注意できない。交通マナー（自転車の並立）
- ・ シートベルト着用率ワースト4位

課題・問題

- ・ 高速道の側道を幹線道路並みに整備する
- ・ 交差点における交通事故60%、交差点の改良必要
- ・ 村山橋・小布施橋の間にもう一つの橋が必要
- ・ 踏切の整理統合を図る

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ シートベルト着用の指導強化
- ・ 高校生への自転車交通指導
- ・ 生活道路と歩道の除雪

企業等の取り組み

- ・ 観光バスの駐車場
- ・ ガソリンスタンドに地図を置き配布する
- ・ 電車と道路の立体交差化の促進
- ・ シートベルト着用の指導強化

各種団体の取り組み

- ・ 観光バスの駐車場
- ・ シートベルト着用の指導強化
- ・ 高校生への自転車交通指導
- ・ 生活道路と歩道の除雪

行政の取り組み

- ・ 幹線道路と生活道路のバランスをとって進める
- ・ 右折専用レーンの設置
- ・ 観光バスの駐車場の設置
- ・ 危険個所道路の拡幅
- ・ 大きな案内図の設置
- ・ 生活道路の進入禁止規制
- ・ ガソリンスタンドに地図を置き配布する
- ・ 立体交差点、バイパスの普及
- ・ 電車と道路の立体交差化の促進
- ・ 国道、県道など幹線道路の整備拡幅
- ・ シートベルト着用の指導強化
- ・ 高校生への自転車交通指導
- ・ 生活道路と歩道の除雪
- ・ 道路の融雪設備の設置

共創・協働の取り組み

- ・ ガソリンスタンドに地図を置き配布する
- ・ 生活道路と歩道の除雪

2 「防犯」に対する提言

(1) あるべき姿

「活気ある明るいまち お互いに声をかけ合えるまち」

犯罪を防止し、安心して安全な暮らしを確保するために、市街地に防犯カメラの設置、通学路の街灯の充実を図ると共に市民同士がお互いに声をかけ合うことに努め、コミュニケーションづくりを盛んにして地域見守り隊などによる防犯パトロールの強化を図ります。

(2) 現状

良い点

- ・ 防犯パトロール、帽子の配布、声がかかりやすい
- ・ 地域見守り隊が、各地にあり皆よくなっている
- ・ 社会的な犯罪が少ない

悪い点

- ・ 商店街がさびしくなった
- ・ 空き店舗、空き家が多くなってきた

課題・問題

- ・ 地域の組織が少なくなり、人と人の地域的つながりが薄くなっている
- ・ 防犯カメラをつけざるを得ない世の中
- ・ 子供、学生の非行、犯罪の防止
- ・ 不審者が出ると疑心暗鬼になる
- ・ 地域防犯で町の人が防犯診断カードを入れていくがマンネリ気味

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア**市民の取り組み**

- ・ 町内会など組織の活性化
- ・ 市民が市内の商店を利用する
- ・ お祭や即売でにぎわす

企業等の取り組み

- ・ 街灯の充実（ソーラーや風力発電の利用）
- ・ お祭や即売でにぎわす
- ・ 空家の調査と斡旋事業

各種団体の取り組み

- ・ 街灯の充実（ソーラーや風力発電の利用）
- ・ 町内会など組織の活性化
- ・ お祭や即売でにぎわす
- ・ 高校生ショップを開く（園芸高校生による野菜売りなど）
- ・ 空家の調査と斡旋事業

行政の取り組み

- ・ 街灯の充実（ソーラーや風力発電の利用）

共創・協働の取り組み

- ・ 高校生ショップを開く（園芸高校生による野菜売りなど）
- ・ 空家の調査と斡旋事業

3 「消費者保護」に対する提言**(1) あるべき姿**

「お互いに挨拶をかわせるまち 助け合えるまち」

高齢化や核家族化が進む中、日頃から地域でのコミュニケーションをとれる場をつくり、いつでも助け合えるまちを目指します。

(2) 現状

良い点

- ・ 旧豊丘 JA では、地元の皆さんで店を運営している（農協の出張販売、月3回あり）

悪い点

- ・ 悪徳商法にあっても他人には話さない、相談しない
- ・ 振り込め詐欺や悪徳商法による被害

課題・問題

- ・ 市内各所では商店がなく買い物不便

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 公的な情報の共有
- ・ 理美容室など人が集まる所で口コミで情報を流してもらう
- ・ ボランティアで買い物をしてもらう
- ・ 宅配サービスの利用
- ・ 移動販売車で過疎地を回る

企業等の取り組み

- ・ 理美容室など人が集まる所で口コミで情報を流してもらう
- ・ 宅配サービスの利用
- ・ 移動販売車で過疎地を回る

各種団体の取り組み

- ・ 公的な情報の共有

行政の取り組み

- ・ 公的な情報の共有
- ・ 理美容室など人が集まる所で口コミで情報を流してもらう

共創・協働の取り組み

- ・ ボランティアで買い物をしてもらう
- ・ 高齢者の意見を聞く

4 「地域防災」に対する提言

(1) あるべき姿

「自らの地域は自ら守る 災害に強いまち」

自主防災組織のリーダー等に対する研修会を実施するなどリーダーの資質

向上を図り、組織的活動を通じて地域の自主防災意識を高めると共に自主防災組織相互の連絡応援体制の確立を目指します。また、防災無線の活用と隣組のコミュニケーションを図り防災意識の向上と連絡網を充実し、さらに、消防団、消防署の装備の充実に努めます。

(2) 現状

良い点

- ・ 気象情報、行方不明者捜索に防災無線が有効
- ・ 防災無線の活用
- ・ 新・地域見守り安心ネットワーク、地域防災マップの全町作成
- ・ 昭和 56 年の災害を教訓に市や各町の自主防災組織及び消防団が訓練を行ない、前向きに取り組んでいる

悪い点

- ・ 風雨の強いとき、防災無線のスピーカーが聞こえにくい、消防車等で広報を
- ・ 防災マップが配布されていない（転入時）
- ・ 地域防災組織が各区にあるが十分に機能するか不安
- ・ 消防団への入団者が減っている
- ・ 町の小河川の氾濫

課題・問題

- ・ 山菜狩りなどによる行方不明者の防止
- ・ 高齢者の徘徊などの対策
- ・ 市・県などに頼りすぎ、各個人又は家庭の自立
- ・ 消防団への入団者減少
- ・ 現在、消火栓は地下式が多い、地上式の方が便利では
- ・ 各町の避難場所の徹底
- ・ 千曲川の水害対策
- ・ 農村部の小河川（用水路）に蓋がないところが多く危険である
- ・ 土砂災害の防止
- ・ クマ、イノシシなどの被害防止

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 自主防災組織の活性化
- ・ 隣組の防災活動と連絡網

企業等の取り組み

- ・ 自主防災組織の活性化

各種団体の取り組み

- ・ 現在行われている防災、防犯事業の PR
- ・ 自主防災組織の活性化

- ・ 地元の消防団に必ず入るといった決まりを作る
- ・ 隣組の防災活動と連絡網
- ・ 防災マップの配布（転入時）

行政の取り組み

- ・ 現在行われている防災、防犯事業のPR
- ・ 自主防災組織の活性化
- ・ 地下浸透型の用水路を造る

共創・協働の取り組み

- ・ 自主防災組織の活性化

【共創分科会の様子】



iii. 産業分科会

産業分科会提言

「産業」のあるべき姿

(農業)

須坂市は、長い間に蓄積された高度な果樹栽培に加え、農業試験研究機関が存在する等、全国有数の果樹産地としての基礎を築いてきている。そうした条件を活かすとともに須坂市特有の伝統野菜等、他の農業資源も活用し、更なる農業振興を図り、市民が意欲と自信をもっていきいきと農業に取り組めるまち。

(商業)

やっぱりあの店がおすすめと言われる店、また行きたくなる店、個性的で魅力のある店が集まり、歩いて楽しいまち（商店街）づくり。

(工業)

既存産業の高度化、高付加価値化や新産業創出、企業誘致を推進することにより、地域経済の活性化や雇用創出を支える柱として、活発に企業活動が行われている。

働く意欲のある人が自ら希望する職業につき、その知識や技術を活かし充実した人生を送ることができる。

(観光)

蔵の町並みや、素晴らしい自然の観光資源、これらの観光施設を点から線、面へと連携することで、歴史ある「須坂らしさ」の観光をイメージとする。

主役は市民であり、活性化の柱は交流活動の充実にある。地域の伝統文化・お祭の再生など、地域行事を通じたコミュニティ活動で近所づきあいを少し広げ、地域の良さを知り、須坂の魅力を訪れる人に伝え、交流を深めることにより、滞在客を増やすことを連携して推進する。

(農商工観連携)

農業・商業・工業・観光の各産業が連携し、相乗効果を生み出すことにより産業全体が活性化し、地域振興が図られるまち。

「産業」の柱・キーワード

- ◇ 農業の活性化
- ◇ 商業の活性化
- ◇ 工業の活性化
- ◇ 観光の活性化
- ◇ 農商工観連携について

1 「農業の活性化」に対する提言

(1) あるべき姿

須坂市は、長い間に蓄積された高度な果樹栽培に加え、農業試験研究機関が多く存在する等、全国有数の果樹産地としての基礎を築いてきている。そうした条件を活かすとともに須坂市特有の伝統野菜等、他の農業資源も活用し、更なる農業振興を図り、市民が意欲と自信をもっていきいきと農業に取り組めるまち。

(2) 現状

良い点

- ・ 個性的な農産物がある。
- ・ 質の高い農産物が多い。
- ・ 果実出荷量が全国で高位置にある。
- ・ 地元果物の新商品の開発が活発。
- ・ 果物が豊富でおいしい。
- ・ 農と商の連携の試みが行われている。

悪い点

- ・ 農業だけで生活していくのが難しい。
- ・ 農産物の価格が自分で決められない。
- ・ 生産者と消費者の連携を図ることが難しい。
- ・ 従事者の高齢化と担い手の不足。
- ・ 未婚者が多い。
- ・ 遊休農地が多い。
- ・ 山が荒れている。

課題・問題

- ・ ブランド力を強化することが大切。
- ・ 減農薬、オーガニックの対応が必要。
- ・ 高付加価値農産物の育成。
- ・ 生産者の顔が見える農産物の販売及び購入。
- ・ 遊休農地の利用及び相談窓口の設置。
- ・ 販売戦略の検討。
- ・ 直売方式による販売、管理の検討。

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

農業者の取り組み

- ・ 高品質な農産物の栽培に取り組む。
- ・ ホームページ、インターネットを活用した販売。
- ・ 遊休農地を作らない工夫。
- ・ 都市住民が好む農作物の研究及び栽培。
- ・ 里山の有効活用を図る。

消費者の取り組み

- ・ 地元産農産物の購入
- ・ 本物を見分ける目を養う。

企業等の取り組み

- ・ 農業者と連携した栽培技術の研究。
- ・ マーケティング戦略の研究。
- ・ 兼業農家の就労の場の提供。
- ・ 遊休農地を活用した農作物の栽培。
- ・ 都市と農村の交流をサポートするイベントの企画。
- ・ 農業法人設立及び研究。
- ・ 地元産木材の活用。

各種団体の取り組み

- ・ 高付加価値の農作物の栽培及び情報交換。
- ・ 情報の共有化を図り、森林の有効活用を研究する。

行政の取り組み

- ・ 農業者の所得向上につながる情報提供や補助制度活用のおよびかけ。
- ・ 地元産農産物の消費拡大に向けたPRの強化。
- ・ 遊休農地解消に向けた各種施策の展開。
- ・ グリーンツーリズムの推進。
- ・ 担い手（後継者）育成に向けた施策の展開。
- ・ 市外からの就農者対策の推進。
- ・ 学校農園・市民農園の活用の推進。
- ・ 森林の重要性のPRや地元産木材活用に対する支援。

共創・協働の取り組み

- ・ 販路拡大に向けた協力体制の構築。
- ・ 農業者、行政、農業関係機関の連携強化。
- ・ 地産地消の推進。
- ・ 地域に応じた都市と農村の交流のあり方の研究。
- ・ 森林セラピー等による癒し及び健康増進に向けた地域づくりの研究。

2 「商業の活性化」に対する提言

(1) あるべき姿

やっぱりあの店がおすすめと言われる店、また行きたくなる店、個性的で魅力のある店が集まり、歩いて楽しいまち（商店街）づくり
消費者にとっても、商店にとっても安心して過ごせる商店街づくり

(2) 現状

良い点

- ・ 個性的な店がふえてきた
- ・ 商店街によっては美しく整備されテーマがあるようにみえる
- ・ 接客が親切である
- ・ 美術館、博物館などで年間を通してイベントを行っている
- ・ 高校生による活性化の取り組みが行われている

悪い点

- ・ 特徴ある店が少ない
- ・ 買いたい商品がない
- ・ 価格が高い
- ・ 街に人が歩いていない
- ・ 安心して歩いて買い物が出来ない
- ・ 楽しく買い物ができる商店街がない
- ・ 喫茶店が少ない

課題・問題

- ・ 魅力ある商店の創出、専門店化
- ・ シャッターを閉じている店、地区が多い
- ・ 駐車場が少ない
- ・ 街を説明しにくい
- ・ 気軽に寄れるふれあい休憩所を増やす
- ・ 店主の高齢化、設備の老朽化

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

消費者の取り組み（要望等）

- ・ 買いたい歩きたい商店街づくり
- ・ 自分で造って楽しめる店（焼物、機織りなど）
- ・ 伝統野菜などを含めた地産地消を進める
- ・ 地元でのお買い物を推進する

商店等の取り組み

- ・ 買いたい歩きたい商店街づくり
- ・ お客様が自分で造って楽しめる店（焼物、機織りなど）
- ・ 伝統野菜などを含めた地産地消を進める
- ・ 各商店の後継者・若い人の連携

各種団体の取り組み

- ・ 活力のある楽しい商店街道づくり
- ・ 商店街相互の情報交換の場づくり

行政の取り組み（支援）

- ・ 散策できる通りの整備、まちづくり
- ・ 商業誘致

共創・協働の取り組み

- ・ 蔵の町並み散策する人を増やし、活性化を図る
- ・ 蔵の活用、駐車場・空地に憩いの場づくり
- ・ 町のなか一カ所だけでも特色があり観光客がくるような場所をつくる
- ・ 消費者との意見交換会の開催（トーク、しゃべりの場など）
- ・ 須坂商工会議所、須坂市商店会連合会との連携
- ・ 商業者の学習の機会、成功事例の研修視察等
- ・ 安心して人が寄れる場所づくり、雰囲気づくり

3 「工業の活性化」に対する提言

(1) あるべき姿

既存産業の高度化、高付加価値化や新産業創出、企業誘致を推進することにより、地域経済の活性化や雇用創出を支える柱として、活発に企業活動が行われている。

働く意欲のある人が自ら希望する職業につき、その知識や技術を活かし充実した人生を送ることができる。

(2) 現状

良い点

【技術力】

- ・ 技術力のある企業が多い
- ・ 地場で育った中堅企業や、高度な技術力を持った小規模企業が多い。
- ・ 企業努力により製造品出荷額も微増している。

【企業連携】

- ・ 研究会等の企業連携により新製品の開発が行われている。
- ・ 国等の事業導入による成功事例がある（新連携事業など）

【企業誘致】

- ・ インター須坂流通産業団地が完売した。
- ・ 工業の集積が特化している。

【雇用の創出】

- ・ 市独自で就業支援センターを設置し、就業支援を行っている。
- ・ 就業支援センターが駅前であり、相談を受けやすい。

悪い点

【技術力】

- ・ 完成品工業が少ない（部品加工）
- ・ 市内に下請けに出す企業が少なく技術の波及効果が少ない。
- ・ 近くにあっても何を作っているか知らない。

- ・ 技術力向上の研修が少ない。
- ・ 大学がない。
- 【企業連携】
- ・ 企業間ネットワークがない。
- ・ 人材不足
- 【企業誘致】
- ・ 日滝原産業団地の分譲率が悪い。
- ・ 誘致の手法が悪い（中央とのパイプがない）
- ・ 市外への工場流出や事業縮小
- ・ 大手優良企業の誘致
- 【雇用の創出】
- ・ 景気が悪く、若年者、中高年者とも就職難である。
- ・ 失業率の増加
- ・ 有効求人倍率の低下
- ・ 市内企業に就職を目指す人が少ない。（特に大学卒業者）

課題・問題

- 【技術力】
- ・ 独自の製品開発
- ・ 須坂発の新製品、新技術の合同開発
- ・ 高度な技術者の育成
- 【企業連携】
- ・ 技術者間の交流
- ・ 他産業との連携
- ・ 企業城下町からの脱却
- 【企業誘致】
- ・ 本社機能の誘致
- ・ 水道料金体系（工業系用途）の確立
- 【雇用の創出】
- ・ 若い人が興味を持つ魅力ある企業がほしい。
- ・ 若年者の地元就職の促進
- ・ 大学卒業者のUターンの促進
- ・ Uターンを受け入れる企業の育成
- ・ 中高年者の就業支援

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 企業誘致の情報提供
- ・ 産業人材育成のための職業訓練への参加など、自らの職業能力の向上

企業等の取り組み

- ・ 技術者連携体制の確立
- ・ 技術の継承と人材育成
- ・ 新技術、新製品の研究開発

- ・ マーケティングの確立
- ・ 製造過程見学ツアーの実施
- ・ 企業共同出資の奨学金制度の創設
- ・ 短期・長期インターンシップの実施

各種団体の取り組み

- ・ 工業団体、経済団体等との連携と情報交換
- ・ 須坂職業安定協会での雇用促進活動の充実
- ・ 小学校・中学校・高等学校生を対象とする企業見学会の実施

行政の取り組み

- ・ 県や経済団体等と連携した日滝原産業団地への企業誘致
- ・ 新産業団地の研究
- ・ 空き工場等工業系用途地域の未利用地の有効活用
- ・ 産業コーディネータ・アドバイス事業による産学官・産学・産産連携の推進
- ・ 提案公募型事業の導入支援
- ・ 企業動向の把握
- ・ 社会的課題解決型プロジェクトの導入支援
- ・ 産業人材育成事業の推進
- ・ 組織横断型プロジェクトの推進体制確立
- ・ 産学官連携拠点施設の検討（インキュベーション・共同研究・交流サロン等）
- ・ Uターン者へ祝い金の贈呈
- ・ 須坂市主催による企業ニーズに沿った産業人材育成のための各種講座の実施
- ・ 市内外の教育機関、ハローワークなどの関係機関との連携による実践的なスキルアップ訓練の実施
- ・ 須坂市就業支援センターの充実
- ・ 須坂市就業支援センターでの丁寧なカウンセリングと仕事ナビゲーションの実施
- ・ 須坂市就業支援センターでの休日就業相談の実施、充実
- ・ 国の緊急雇用創出事業活用による失業者を対象とした雇用の創出
- ・ 職業観の早期醸成のための企業見学会の実施、産業フェアへの参加（小・中・高生）

共創・協働の取り組み

農商工観連携等による事業推進

- ・ 「ゆめわーくサポートネットワーク」の取り組み
- ・ 「雇用の創出と促進」という市民、勤労者、企業、行政、教育機関など地域社会全体の課題に対して、関係者（市民、企業、高等学校、行政機関等から必要に応じ市長が参画を要請したサポーター若干名で構成する。）がネットワークを構築するとともに必要に応じて会し、「ふるさと須坂」のために共同で知恵を出し、「須坂市就業支援センター」への提言や情報交換、また、厳しい雇用情勢に対し、自ら、そして、共にできる

ことを探る。

4 「観光の活性化」に対する提言

(1) あるべき姿

蔵の町並みや、素晴らしい自然の観光資源、これらの観光施設を点から線、面へと連携することで、歴史ある「須坂らしさ」の観光をイメージとする。

主役は市民であり、活性化の柱は交流活動の充実にある。地域の伝統文化・お祭の再生など、地域行事を通じたコミュニティ活動で近所づきあいを少し広げ、地域の良さを知り、須坂の魅力を訪れる人に伝え、交流を深めることにより、滞在客を増やすことを連携して推進する。

(2) 現状

良い点

- ・ 素晴らしい自然・・・米子大瀑布、五味池破風高原、峰の原高原。
- ・ 須坂の味噌・・・みそすき丼。
- ・ 一大果樹産地・・・おいしい果物。
- ・ 産業遺産・・・蔵の町並み。
- ・ 情報発信・・・動物園（ハッチ効果）

悪い点

- ・ 箱ものから自然に力を入れてほしい
- ・ 宿泊施設が少なく、観光客に通過されている
- ・ 観光資源を生かし切れず、中途半端である。
- ・ 観光客受け入れが総合的に企画されていない。
- ・ 観光ポイントが散らばっていて、線的に結ばれていない。
- ・ 迷路であり、案内しづらい、観光案内板が不足。
- ・ 須坂の名産、銘品、土産品が少ない、無い。
- ・ 蔵の町並みといっても、統一感が無い（場所が限定、他都市との差別化）。
- ・ ハッチに頼りすぎ（ていた）。

課題・問題

- ・ 自然（山、森林）を利用した観光地の整備。
- ・ 観光行政が統一されていない。
- ・ 観光消費拡大策。
- ・ 田中本家、雛祭りでも市街地へ観光客の誘導を。
- ・ 観光ポイントめぐりの交通手段。
- ・ 「これぞ」という食べ物が無い、B級グルメ。
- ・ 土産品を売る「道の駅」的なものがあれば。
- ・ 蔵の町並みを生かした観光推進。
- ・ 市民ももっと須坂の良い所をPRできるように！
- ・ 歩いて楽しいまちづくり。

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 観光関係者以外のおもてなしが大事。
- ・ 市民ももっと須坂の良い所をPRできるように！
- ・ 須坂の魅力を訪れる人に伝え、交流を深める。

企業等の取り組み

- ・ 観光ポイントめぐりのバスの運行（迷路めぐりバス）。
- ・ 産業観光の検討と推進

各種団体の取り組み

- ・ 大笹街道等を利用した自然体験型の宿泊客の受け入れ。
- ・ 農業者も楽しみ、観光関係者も楽しみ、須坂のPRにつながる。
- ・ 体験型農業、オーナー制度、山の木、きのこ、みそづくり体験。
- ・ みそすき丼を須坂のB級グルメとする。

行政の取り組み

- ・ 観光地点の点と点の間に案内板の設置。
- ・ 臥竜山の活用、展望台、北信地区、アルプスを一望できる様に、夕日のきれいな山。
- ・ 観光物産センター（名物、特産、土産、一か所で買える所）。
- ・ 米子大瀑布へ歩けない方も行けるようにする。

共創・協働の取り組み

- ・ 一般市民より公募で特産品に付加価値をつけた銘品をつくる。
- ・ 観光のメインづくり（米子大瀑布）全国レベルの観光地。
- ・ 蔵のまちの歴史（まゆぐら、ぼたもち石など）をもっとアピールして周知させるべき、アピール方法見直し。
- ・ 蔵のオープンスペース化（共同化）地元住民が頻繁に使える施設化。
- ・ 須坂の伝統や歳時記なども含めた観光情報PR・情報の発信。

5 「農商工観連携」に対する提言

(1) あるべき姿

農業・商業・工業・観光の各産業が連携し、相乗効果を生み出すことにより産業全体が活性化し、地域振興が図られるまち。

(2) 現状

良い点

- ・ 市内の農産物＋企業の商品が湯っ蔵などで購入できる。
- ・ 地域資源が多い。（フルーツ、味噌、滝、桜、峰の高原）
- ・ みそすき丼が存在している。

悪い点

- ・ 人の集まる所にお店がない。
- ・ よっと蔵いが土、日しかやっていない。
- ・ ハッチの効果が活用されていない。
- ・ 伝統野菜が地元で手に入りにくい。
- ・ 市街地の蔵が商業に活かされてない。
- ・ 須坂市に結びつく農産物が少ない。
- ・ 農商工観連携の検討の場（戦略活性化会議）の存在を知らない。
- ・ 農産物の加工場が少ない。
- ・ 須坂の地場産品を販売する大きな施設がない。
- ・ 熱心に取り組んでも受け入れ体制、市民との連携が不十分。
- ・ 市外に広めようとしてもまず市民に知られていない。
- ・ もっと住民のニーズと理解の上に立った連携をすべき。

課題・問題

- ・ インターチェンジ付近に直売所が欲しい。
- ・ ネット販売の充実
- ・ 道の駅の設置
- ・ 販路の拡大。
- ・ ブランド化の推進。
- ・ 遊休農地を都市住民に貸与し、管理施設として別荘的な建物を提供。
- ・ 連携による特許、発明、新製品の開発をめざす。
- ・ 農業特産品を加工し、観光みやげで販売する。
- ・ 須坂スイーツの商品化。
- ・ ギャル米等、話題性につながることを検討したらどうか。
- ・ 果物のセミドライを使った商品の開発と販路の開拓。
- ・ 農業体験ツアーの実施。
- ・ グレーパーでの取り組み連携を図る。（観光農園で体験したらどうか）。
- ・ みそ蔵や酒蔵を活用した産業観光。

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 他に誇れる作物、商品、製品を作る。
- ・ 他の産業と連携できないか研究をする。

企業等の取り組み

- ・ 付加価値をつける中で、農商工観連携の橋渡しをする。
- ・ 研究開発をすすめ、個人では対応が難しい部分をカバーする。

各種団体の取り組み

- ・ 情報を共有する等の連携を強化し、協力体制を築く。
- ・ 団体間での研究を深める。

行政の取り組み

- ・ 参考となる情報の発信や農商工観連携につながる施策の展開。
- ・ 各産業間との連絡調整

共創・協働の取り組み

- ・ 産業全体の振興につながるよう研究を深める。

【産業分科会の様子】





iv. まちづくり分科会

まちづくり分科会提言

「まちづくり」のあるべき姿

先達から受け継いだ自然や景観を守り、緑豊かなまち、CO₂削減による環境負荷の少ないまち。住んでいる人が愛着を持ち、だれもが安心して住み続けられ、離れて暮らしていた子どもたちも戻ってきて一緒に住みたいと思うまちづくりを進めます。

また、そこに住んでいる人が、住みやすく、住み続けたいまちであり、市外のひとにも住みたくなるようなまちづくりを目指し市民が自ら行動して、誇りの持てるようにします。

「まちづくり」の柱・キーワード

- ◇ 土地利用のあり方
- ◇ 景観育成
- ◇ 道路・交通（快適安全な道について）
- ◇ 公園のあり方
- ◇ 快適環境

1 「土地利用のあり方」に対する提言

(1) あるべき姿

「市街地に人が住み、遊休荒廃農地を解消し、森林が元気となる土地利用」

市街地では、空地、空き家が減り、若い人が住み、高齢者が歩いて買い物等ができる町、農村部では後継者対策による農業経営活性化と、遊休荒廃農地の利活用による環境整備が図られ、山間部では森林が元気になる整備が行われ、化石エネルギーの代替えが図れる土地利用となっている。

(2) 現状

良い点

- ・ コンパクトシティで良い
- ・ 交通の便が良い
- ・ 河川敷が公園に利用されている

悪い点

- ・ 市街地に空地・空家がある
- ・ 利用できない土地がある
- ・ 空地が駐車場となってしまう
- ・ 若者が集まる場所がない（ボーリング場・ゲームセンター・カラオケハウス）
- ・ 遊休荒廃農地が多い、増大している
- ・ 農業振興地域の整備に関する法律、都市計画法が時代にあっていない

課題・問題

- ・ 空屋・空店舗の活用方法、空地対策
- ・ 人口減少及び、人口増への取り組み
- ・ 農地の有効利用 市街化調整区域の規制の在り方、農業振興地域の見直し
- ・ 遊休荒廃農地対策 荒廃農地の利用、有効活用方法
- ・ 都市計画の見直し 区域区分、用途地域など

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 特徴のある店舗の誘致
- ・ 各家庭に菜園をもつ、ゆとりある町の整備
- ・ 遊休荒廃農地の利用、都会の人との交流
- ・ 農地（荒廃）バンクを作り貸出す
- ・ 荒廃農地解消再生産が出来、農業で生活出来る = 農産物価格にする

企業等の取り組み

- ・ 空いた店を活用して、すき間をなくす工夫

各種団体の取り組み

- ・ 商店街の活性化

行政の取り組み

- ・ 空地を利用した公園整備
- ・ 空地の税金を高くするなど、流動化を図る
- ・ 店舗開設への援助
- ・ 都市計画法、農業振興地域などの土地関連の法規制の検討
- ・ 高さ制限（商業地域）の検討
- ・ 生活本位の街づくりができるような都市計画の見直し
- ・ 市街化調整区域も宅地化が促進できる、土地利用の見直し
- ・ 法規制のPR及び公表

共創・協働の取り組み

- ・ 市街地の空地の利活用の促進
- ・ （期限付賃貸住宅、CO₂削減のため太陽パネルの設置など）
- ・ 空家の利活用の促進（須坂の商品の販売など）
- ・ インター周辺を商業流通拠点に
- ・ カヤ葺き屋根を復活させるために遊休地でカヤの栽培
- ・ リタイヤした人への農業指導、農業学校を作る
- ・ 鳥獣対策の強化
- ・ 森林探検隊を組織して、市内の森や山を探検調査する

2 「景観育成」に対する提言

(1) あるべき姿

「須坂らしさ、特徴を活かした景観が残されている。」

蔵の町並み、水辺環境、坂など須坂の特徴を活かした景観を残しつつ、電柱、街灯、看板、花壇など身近にある景観も、須坂らしさを考えた景観となっている。

(2) 現状

良い点

- ・ 芝宮八幡神社等、わりと大きな神社があり良い
- ・ 神社の大樹が趣きがあって良い
- ・ 道路横に花壇があり、花が咲き美しい
- ・ 臥竜公園の桜の下で楽しめる
- ・ 坂の町が活かされ、歩いて楽しい
- ・ 坂田浄水場の歴史ある建物が良い（歴史遺産として保存したい）
- ・ 郊外で生垣等、景観として見れる所がある。
- ・ 良い水辺がある
- ・ 道路の横に大きな桜の木があり（望岳台・野辺）美観が良い。

- ・ 五味池破風高原の景観が良い
- ・ 市内から見る北信五岳がすばらしい
- ・ 河川敷の桃畑の風景が良い
- ・ 扇状地がわかり易い地形である

悪い点

- ・ 河川に草が多く茂り、美観を損なう
- ・ 臥竜公園は良いが、池の水が汚すぎる
- ・ 土蔵造りの町並みの中で土蔵造りの建物と建物が連坦していない
- ・ 百々川の水の色が茶色で好きになれない
- ・ 市内を流れる水が汚い
- ・ 街路樹が小さく緑が少ない
- ・ 幹線道路沿いの看板が乱立していて見苦しい
- ・ 電柱が標識でごちゃごちゃしている
- ・ とても良い景観があっても、見る位置からは電柱が邪魔になる。
- ・ 本来商店が建つべき所に住宅が建ち周囲をブロック塀で囲んでおり、町並みの連続性を阻害している。

課題・問題

- ・ 魚が住める川の整備
- ・ 町中の水路を整備し、水を流したい
- ・ 美しい町並みをゆっくり歩ける通りにしたい
- ・ 水路とぼたもち石を下まで見せる整備
- ・ 看板等を外して壁を出す（閉店となった市街地の蔵づくり家屋）
- ・ 電線類の地中化や裏側配線などの無電柱化
- ・ 蔵の町のアピール
- ・ 景観の良いところをマップなどを作成し、もっとPRして欲しい
- ・ 蔵造りの建物にお金を注ぎこんでいる

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 河川の中の除草、伐採を行う
- ・ 街路樹の管理を行う
- ・ 市民がビューポイントを共有している
- ・ 蔵造りの建物が連続していない 蔵造りの建物の維持

企業等の取り組み

- ・ 町の主要道路の電柱の色彩などを工夫する
- ・ 道路沿いの看板を集合看板にする
- ・ 景観に配慮した電柱に工夫する

各種団体の取り組み

- ・ 蔵造りの建物、歴史的遺産を後世に伝えていく = 町中の景観保持
- ・ 景観マップを作成してPR

- ・ 景観、自然を感じる感性を育てる人づくり
- ・ 道路横の花壇及び花木の手入れ
- ・ 自然と人工物の調和を図り、地域の人たちに景観育成への自覚を促す
- ・ 皆がきれいだなと思う花（壇）づくりを進めていく
- ・ 市民生活に根づいた景観育成を図る

行政の取り組み

- ・ 臥竜山からの見晴らしを良くする
- ・ 須坂のサンセットポイントを記したパンフレットの作成
- ・ 広くなって見通しが良くなった駅前通りを市街地全体に波及させる
- ・ 須坂長野東IC（玄関口）に須坂を象徴するものを設置する
- ・ 道路、歩道のベンチを須坂に関連したデザインに統一する
- ・ 景観・環境問題で先進的なドイツ等に市の職員を派遣して、市の為に学んでほしい
- ・ プレイロット（プレイロットとは比較的狭い遊び場のこと）の整備

共創・協働の取り組み

- ・ 市内を流れる川を魚と水生生物が生きられるきれいな川にしていく
- ・ 須坂の坂を利用した水を流し水車の復活を行い、環境都市化を図る
- ・ 須坂の自然（扇状地）が生かされるまちづくりを進める
- ・ 生活出来る町・生活した町をアピールした蔵づくりの町並み
- ・ 景観が売りとして観光客を呼び込みを行う
- ・ 須坂の景観をもっと広めるPRを行う
- ・ 観光のみでなく住んでいる市民のための自然景色を守っていく
- ・ 須坂市としてのカラーを考える
- ・ 五味池破風高原の景観をもっと広める
- ・ 坂田共生の森など、ビューポイントとなる山や林の整備を行う

3 「道路・交通（快適安全な道について）」に対する提言

(1) あるべき姿

「地域の活力の向上と、安全・安心の確保、生活環境に配慮した、心癒され潤いのある道づくりが行われている。」

少子高齢社会に対応し、ユニバーサルデザインを取り入れた歩道の設置と、無電柱化等により美しい景観の保全に配慮し、道路環境の改善や公共交通との連携・充実、観光客にわかりやすい案内板が設置され、交通の円滑化がされた道路整備が行なわれている。

(2) 現状

良い点

- ・ 歩道が整備され町が明るくなった。
- ・ 通学路の整備が進んできた。
- ・ 銀座通りに歩行者スペースができて良い。

- ・ 駅から市街地への道案内が見やすくなった。
- ・ 国道406号と峰の原地区、仁礼～峰の原高原間の整備がされ良い。
- ・ 景観に配慮された道路が多くなってきた。
- ・ 町の中の細い道が残って良い。
- ・ メセナ～屋部郵便局の道路の雰囲気が良い。
- ・ 須坂長野東ICを出て、中島～村山へ出る道路が広くて良い。
- ・ 町がきれいだと観光客から良いと言われる。

悪い点

- ・ 通学路で歩道のない道があり、歩道整備が不十分である
- ・ 歩道が狭く、段差があり歩きづらく、点字ブロック等が不統一
- ・ 観光地への道案内が不親切（不足）
- ・ 路肩の除雪が不十分。
- ・ 右折帯がない交差点が多い。
- ・ 事故多発の交差点の改良が進んでいない
- ・ 406号北横町～村山橋の交通渋滞がひどい
- ・ 通過交通は郊外を通してもらいたい。
- ・ スクールゾーンが明確になっていない。
- ・ 道路はむやみに広げないでもらいたい。
- ・ 街路樹に統一性がなく、整備がよくない

課題・問題

- ・ 変則交差点の改良。
- ・ 昔の都市計画道路は時代に合うように見直してもらいたい。
- ・ 自転車道の整備（エコロジ化に伴う脱モータリゼーション）
- ・ 歩道改善の優先順位付けを行う
- ・ 高山村並みの除雪をしてほしい。
- ・ 歩道が雪の山になってしまい歩けないところがある。
- ・ 拡張だけでなく小路も残してほしい。
- ・ 植樹帯の管理を地元住民にゆだねるシステム作り。
- ・ 主要道路の街路樹の種別を変える。

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 車のスピード制限。
- ・ 道路案内板でなく目じるしになるものを置く。（須坂由来のもの）
- ・ 雪かきの雪を道に出さない。

企業等の取り組み

- ・ 電柱を道路から離して民地へ移動させる。
- ・ 電車の踏切を改良し、もっと目立つようにする。
- ・ 市内運行バスの見直し。
- ・ 横断歩道の夜間灯を設置。

各種団体の取り組み

- ・ 歩道にベンチを設置
- ・ 八幡町東交差点の緑地帯の有効活用を図る。

行政の取り組み

- ・ スピードを出させないためにメロディー道路にする。
- ・ 町中の道路を走る車の速度を制限する。
- ・ 透水性舗装道路の整備。
- ・ 事故をなくすため十字路に点滅の信号を付ける。
- ・ 死角にはミラーを設置する。
- ・ 交差点の右折レーンを設置し、渋滞の解消をする。
- ・ 通過車両と市街地の歩行者も含め道と区別された道づくり。
- ・ (仮)千曲川大橋を建設して長野北部と結ぶ道路整備をする
- ・ 理想と思える様な実験道をつくる。(憩い、景観、歩いてみたい道路)
- ・ 道路整備計画の早期実現。
- ・ 歩道ブロックをもっと楽しいものに。
- ・ 歩車道ブロックの上にキャッツアイを設置。
- ・ 安心して歩ける歩道、観光に適した道の整備。
- ・ 高齢者が安心して歩ける道路整備(歩道整備、標識等)
- ・ 歩道が少ないためグリーンベルトを多く設置していただきたい。
- ・ 自転車が通れる道路の充実
- ・ 歩道、自転車道、車道がはっきり分かれている道路整備。
- ・ 市内に道路案内図を多く設置する。
- ・ 道路案内のため、色分けして目的地へ進める道にする
- ・ 案内表示は景観に合わせ、わかりやすくする。
- ・ 須坂長野東IC周辺に大きな立看板(ゴミ等の問題)

共創・協働の取り組み

- ・ 市街地の道路を一方通行として歩道を広くする
- ・ スクールゾーンの表示は標識だけでなく路面表示も考える。
- ・ 街路樹を日影になるような高さにする。
- ・ 須坂長野東ICに観光案内所を設置する。
- ・ 商店街に街路灯を設置しているが、他の照明方法を検討する。
- ・ 歩車道の高低差検討。
- ・ 市内夜間スピード規制30km/hにして騒音防止してもらいたい。
- ・ レンタサイクルを中古自転車(乗り捨車)を利用して、乗降場所を指定するなど利用しやすい工夫をする。

4 「公園のあり方」に対する提言

(1) あるべき姿

「公園施設の充実を図り、幅広い世代の人が憩える公園がある。」

身近に公園があり、一日過ごせる環境整備の充実を図った公園整備を行い、

子どもから高齢者までの幅広い世代が利用している公園が整備されている。

(2) 現状

良い点

【臥竜公園】

- ・ 公園に水辺があるのが良い
- ・ 水に映える名木桜、松が良い
- ・ 駐車場が整備された。

【その他の公園】

- ・ 公園まわりの歩道が整備されていて良い
- ・ 百々川緑地は広々として素晴らしい水辺の公園で大勢の人が来るようになった（マレットゴルフ効果）
- ・ まちの辻の花づくりが進んできている。
- ・ 各通りの花づくりに特徴があって良い

悪い点

【臥竜公園】

- ・ 水族館がもの足りない
- ・ 動物園の設備が貧弱（手づくりにも限度）
- ・ 遊具が少ない・・・動物園に入らなくても遊べる場所を
- ・ 竜ヶ池の土手の色が景観を壊している

【その他の公園】

- ・ 河川敷のマレットの人たちが子供たちを邪魔にする。
- ・ 公園が遠く、近くにない
- ・ 親子で遊べる公園がない
- ・ 市街地（駅周辺に）公園がない（時間をつぶす・待ち合わせ場所）
- ・ オープンガーデンのPRが少ない

課題・問題

【臥竜公園】

- ・ 竜ヶ池周辺の遊歩道にベンチがもう少しほしい
- ・ 臥竜公園の拡がりが欲しい
- ・ 博物館は移転したほうが良い
- ・ 松枯れがある、竜ヶ池の水が汚い
- ・ 駐車場は、県民運動場・野球場の大会、毎年桜の季節など混雑がひどい
- ・ 桜の時期は売店が少ない
- ・ 臥竜山の松、木の手入れ（桜のため）をしてほしい
- ・ お祭りの時の露店の場所の検討
- ・ 駐車場の通路を考慮して欲しい

【その他の公園】

- ・ 各地区にある公園では高齢化が進み草が伸び放題のところがある
- ・ 北部地域への都市公園の整備

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア**市民の取り組み**

- ・ 行事も良いが、自然の中でゆっくり静かに過ごせる空間も必要

企業等の取り組み

- ・ 動物園に常設の食堂、土産店の設置...滞在時間が延びる
- ・ 県民運動広場の近くに物産センターの設置

各種団体の取り組み**【臥竜公園】**

- ・ 臥竜山の遊歩道の整備
- ・ 年間を通し、花がいつもある様に池と調和する様に

【その他の公園】

- ・ 神社、寺等を公園として整備
- ・ 植物層を守る取り組みを行う
- ・ 井上の桜の山を里山公園として市全体で整備しPRを！

行政の取り組み**【臥竜公園】**

- ・ 案内標示・・・駐車場・トイレの位置など
- ・ 北側に駐車場を造り、臥竜山周辺の道路を整備して北側からのアクセスを良くする
- ・ 臥竜山の自然をもっと市民にアピールする必要がある
- ・ 臥竜山は整備するのではなく、自然を生かす（雑木が似合う）
- ・ テニスコート、駐車場を移設し、南側の施設を充実させる
- ・ 公園（臥竜公園など）に老人、障がい者用駐車場を整備
- ・ 駐車場の整備と駐車場から公園までのアクセス道路を楽しいものに
- ・ 淡水の水族館をもっと大々的に（ビオトープを含め）作ってほしい
- ・ 水族館は廃止し、他の用途に！ ジオラマ館等
- ・ 水族館に釣り堀りの施設を造る
- ・ 臥竜公園南側(百々川)の中に駐車場を造成
- ・ 臥竜公園管理事務所を臥竜公園に馴染んだデザインのものに建物を新築してグレードアップをする
- ・ 竜ヶ池の水を抜いて、子供たちに魚のつかみ取りを何年かに1度してもらいたい

【その他の公園】

- ・ 河川敷の中にスポーツの出来る施設整備を
- ・ 小さな公園の整備・・・利用からの見直し
- ・ 市街地に水辺で遊べる公園の整備
- ・ 北部地区にもある程度大きな公園（緑地）を整備
- ・ ポケットパークは計画的に実施（残地で造るものではない）
- ・ 街中に小公園を多くつくる
- ・ 鮎川、百々川に親水公園を充実させる

共創・協働の取り組み

【臥竜公園】

- ・ 花見時期の臥竜公園～遠藤酒造～田中本家のように周辺と連携した賑わいを通年で作る
- ・ 春のお花見シーズン以外の時の行事を企画する
- ・ (新しいものがない、菊花展もマンネリ化)
- ・ 公園内で自然体験による学習会の開催
- ・ 公園の管理運営(ポケットパークや空地利用、除草や植樹)
- ・ 公園でのイベントの開催

【その他の公園】

- ・ 昆虫採取が自由にできる公園
- ・ ロータリーを活用した交通や公園づくり
- ・ 街中の空地・空き駐車場を緑地化し、公園化する(トイレ付)
- ・ 須坂病院上の公園に水辺があったり木陰があったりすればよい
- ・ ビオトープをつくり、自然との触れ合いの場を設ける
- ・ ポケットパークに蔵水(泉水)、水の音(せせらぎ)、草花、小石の風景を整備

5 「快適環境」に対する提言

(1) あるべき姿

「水洗化により環境保全が図られ、安全な水が安定して供給されている。」

市民生活に密接する水道が、安心して使えるよう安全な水が安定して供給され、おいしい水が安価で使える。さらには持続的に水量・水質確保ができるよう水源地の保全が図られている。

また、河川等の環境保全を図るため、下水道整備により水洗化が図られている。

(2) 現状

良い点

【上水道】

- ・ 水道水がうまい
- ・ 水道料金が安い
- ・ 断水がない
- ・ 『蔵水』がおいしい

【下水道】

- ・ 環境が良くなった

悪い点

【上水道】

- ・ 朝一番の水がまずい
- ・ PHの低い水の水質改善

【下水道】

- ・ 水洗化されていない所の側溝が汚い

課題・問題

【上水道】

- ・ 計画的なビジョンの策定（安全・安定・安価）
- ・ 災害時に強い水道に
- ・ 緩速ろ過方式の浄水場にしてほしい
- ・ 蔵水のPRを

【下水道】

- ・ 水洗化の促進
- ・ 維持管理

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

【下水道】

- ・ 河川・水路に汚水を流さない
- ・ 水洗化の促進

企業等の取り組み

【上水道】

- ・ 水源地近隣での陸砂利採取をやめる
- ・ 水に付加価値を付けて販売する

行政の取り組み

【上水道】

- ・ 災害に強い施設整備をする
- ・ 水に付加価値を付けて販売する

【下水道】

- ・ 災害に強い施設整備をする
- ・ 下水汚泥の有効利用を考える
- ・ 水洗化促進の強化

【まちづくり分科会の様子】





v. 子育て・教育分科会

子育て・教育分科会提言

「子育て・教育」のあるべき姿

いま、家庭と地域の教育力が問われています。家庭も地域も、自信を持って子育てする力をつけるとともに、お互いが尊重し、ともに支えあう地域づくり、仲間づくりが求められています。

そのためには、家庭も地域も学校も企業も行政も一体となって、お互いに連携し、それぞれの持てる力を発揮することが必要です。

須坂に育つすべての子どもたちがいつまでもふるさとを愛し、「須坂に生まれてよかった」と実感できる、「一人ひとりの子どもがひかり輝くまち」を目指します。

「子育て・教育」の柱・キーワード

- ◇ 家庭と地域の教育力向上
- ◇ 子育ての楽しいまちづくり
- ◇ みんなが楽しく通える学校づくり（学校教育の充実）

1 「家庭と地域の教育力向上」に対する提言

(1) あるべき姿

親が子をしっかりと日々見つめ大切にする家庭づくり。一人ひとりが尊重し合える地域づくり、仲間づくり。

(2) 現状

良い点

- ・ 育成委員会が行っている、良い点はほめて育てる「善行賞」
- ・ 子どもが参加する行事が活発
- ・ 農業小学校

悪い点

- ・ 中・高生のあいさつが少ない
- ・ 地域の行事に積極的に参加しない家庭・親が増えてきている
- ・ 近所の子なのに叱れない
- ・ 父親の存在感が薄くなってきた
- ・ 親が問題事を、問題と気づいていないことがある
- ・ 親離れ、子離れができていない
- ・ 家の手伝いをしない
- ・ ゲームセンターで、親が夢中になっている
- ・ 朝食を家族としっかりとっていない
- ・ 食育活動が、日々の活動ではなくイベント化している
- ・ 家庭でのしつけ・教育、子どもを叱れない、思春期を理解できないなど親の教育力不足
- ・ 父親の参加が少なく、祖父母・地域にも助けを求められず、母親一人で子育てをしている

課題・問題

- ・ 地域活動が、漫然と行事をこなすだけになり、子育て・健全育成という視点が薄い
- ・ 地域の良さに魅力を感じられるような子育て
- ・ 親子のコミュニケーションを深める
- ・ 子育てに苦慮している人は多い
- ・ 親同士の交流がもう少し欲しい

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 「早寝早起き朝ごはん」を実行する
- ・ 子どもに家族の一員としての役割を持たせる
- ・ 家族で一緒にご飯を食べよう
- ・ 子育てを世代間で助け合う
- ・ 家庭の日をより充実させる

- ・ 週に1日は家族だんらんの日をつくる
- ・ 週に1時間は家族で仕事をする
- ・ 携帯・パソコン・インターネットから距離を置こう

企業等の取り組み

- ・ 子育て支援への協力体制をつくる
- ・ 企業見学、職業体験への協力をとおして職業観を育てる

各種団体の取り組み

- ・ 父親を対象としたPTA研修・講座の開催
- ・ 世代、家族を超えてみんなで子育てをする

行政の取り組み

- ・ 前向きな子どもを育てられるセミナーを開催する
- ・ マタニティーセミナー（母親学級、妊婦教室）で、両親に家庭の教育力についてのセミナー実施
- ・ 野外活動ができる設備の充実、指導者を育成する
- ・ 「親学セミナー」を開催する
- ・ 若いお母さんの子育て教室を開催する

共創・協働の取り組み

- ・ 親のしつけ教室を開催する
- ・ 3世代交流型のサポートイベントを開催する
- ・ 子育て支援者に対する研修を開催する
- ・ 親へのサポート体制を充実する

2 「子育ての楽しいまちづくり」に対する提言

(1) あるべき姿

一人ひとりの子どもが夢と希望に向かって活動し、かかわり合うまちづくり。
あいさつ・ありがとうの行き交うまちづくり。

(2) 現状

良い点

- ・ 子育てサークル・子育てサポート団体がある
- ・ 児童センター・クラブが全小学校単位にある
- ・ 地域公民館で遊びの広場を開催している
- ・ 見守り隊の活動
- ・ 障がい児の早期発見
- ・ 保育園と小学校の交流

悪い点

- ・ 安全に遊べる場所が少ない

- ・ 公園に遊具不足
- ・ 相談にのったり、子どもを預かってくれる人が少ない
- ・ 病中・病後児保育がない
- ・ 0歳児の入所枠が少ない
- ・ 縦割りで連携がとれていない
- ・ 子育てに関する情報のPR不足
- ・ 地域の子どもを、地域の人が知らない

課題・問題

- ・ 子育て支援団体相互のネットワーク
- ・ 相談体制の整備
- ・ 子育て支援センターの充実
- ・ 長時間就労で親子の交流不足
- ・ スポーツクラブに入らないとスポーツができない

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 隣近所の付き合いを深める
- ・ 自主的に地域のボランティア活動に参加する
- ・ 地域で子どもたちを見守る「見守り隊」を充実する

企業等の取り組み

- ・ 子どものための休みを取れるようにする

各種団体の取り組み

- ・ 世代を超えた交流の場を設置する（子どもとお年寄り、異年齢児）
- ・ 子育て中の親の交流の場をつくる
- ・ 世代間交流の場をつくる

行政の取り組み

- ・ 地域と学校の結びつきを強くする
- ・ 電話で子育て相談を実施する
- ・ 安全が確保された自由な場を設置する
- ・ 利用しやすい子育て施設を整備する
- ・ 子ども提案を受けた地域づくり
- ・ 自主運営できるサロン（サークル）を支援する

共創・協働の取り組み

- ・ 地域活動への子どもの参加を促す
- ・ 子どもが自由に活動できる場を整備する
- ・ 「子育てクーポン」（子育て家庭優待カード）を発行する
- ・ 子育て相談システムを構築する（インターネット・携帯電話を活用した子育て情報の提供）
- ・ 図書館にだれでも立ち寄れるサロンを設ける

- ・ 子育てのためのサロンを開設する

3 「みんなが楽しく通える学校づくり（学校教育の充実）」に対する提言

(1) あるべき姿

みんながそろって楽しく学校に通えるまちを目指します。感性豊かな、今を元気に生きる子どもたちを育みます。

(2) 現状

良い点

- ・ 教員補助が充実（障がい児対応など複数担任制）
- ・ 中学へのスクールカウンセラー配置
- ・ 読み聞かせボランティアが活動している
- ・ 学校近くにあいさつ道路がある
- ・ 学級単位でのカッタカタ祭参加
- ・ 親父の会やPTA行事での交流

悪い点

- ・ PTA関連の仕事が多すぎて教師本来の仕事に支障をきたしている
- ・ 障がい児教育の拠り所がない
- ・ 学校と家庭のつながりが不十分（学校 vs 親になってしまう）
- ・ 栄養教員がない
- ・ 学校行事に父親がもっと参加しよう

課題・問題

- ・ 不登校児童・生徒がいる（子どもは息抜きを求めている？周りも理解を。カウンセラーの配置を）
- ・ 保健室が満杯
- ・ 学校行事へ地域全家庭の参加
- ・ 正しい日本語教育に力を入れる

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 地域の人たちが各学校のサポーターになる
- ・ 元不登校児童・生徒が現不登校児童・生徒を支援する場をつくる
- ・ 地域全体で学校をよく見る、かかわる
- ・ 地域の学校に通えない子どもの状況を理解し、交流する

企業等の取り組み

- ・ 企業見学、職業体験への協力をとおして職業観を育てる
- ・ 子育て応援制度をつくる
- ・ 子どもが将来入りたくなる企業になる

各種団体の取り組み

- ・ 育成会などが地域文化活動に子どもたちを巻き込む
- ・ 課外活動が行える団体の充実

行政の取り組み

- ・ 道徳教育を向上させる
- ・ その子に合った学力を向上させる
- ・ 不登校や障がいについて勉強する機会をつくる
- ・ 加配教員、補助教員を充実する
- ・ 学校で問題・課題となっていることの情報公開
- ・ 地域に開かれた学校をつくる
- ・ 学校のバリアフリーを進める
- ・ 楽しい生きた学習ができる学校づくり
- ・ 登下校時、誰にでもはっきりあいさつできる子を育てる
- ・ 食育を充実する
- ・ 障がいを持つ子どもたちの社会的自立を支援する

共創・協働の取り組み

- ・ 学校家庭地域の連携強化
- ・ 悩みを気軽に相談できる場をつくる
- ・ 学校の中・外にいろいろな居場所をつくる
- ・ 親と先生が同じ方向で問題解決

【子育て・教育分科会の様子】



vi. 行政経営分科会

行政経営分科会提言

「行政経営」のあるべき姿

須坂市の将来ビジョンを、市民・地域・企業・団体・行政など様々な人々が参画して描き、その実現に向けて共に実践する「共創・協働による行政経営」を目指します。

そのためには、

第一に、急速に進む少子高齢社会の時代にあっても、安定した財源を確保し、合わせて業務の効率化などにより支出を抑制した、健全で持続的な財政運営が必要です。

第二に、近隣の市町村と、共通する行政課題に協力して取り組む広域行政にも、目を向け吟味する必要があります。それぞれの市町村が持つ独自性を保ちながら「資源」の効率的・効果的な活用を図ります。

第三に、地方分権により得られる権限と財源は、須坂市の実情に合わせた、独自の施策の展開に充てることが大切です。

第四に、行政運営のチェックの場として、議会の責任は重大です。議会が、市民などの意見を十分に反映した活発な議論を行うことは、市民・地域・企業・団体・行政が、目指す方向を一つにして市政に取り組んでいることの証です。

須坂市を取り巻く環境が、めまぐるしく変化する中で、行政の役割も変わってきました。将来を見据えた施策を、計画的かつ継続的に実施していくためには、「共創・協働による行政経営」が、これからのあるべき姿と考えます。

「行政経営」の柱・キーワード

- ◇ 目指す行政の役割
- ◇ 健全で持続的な財政運営
- ◇ 広域行政の可能性
- ◇ 地方分権と市民生活
- ◇ 市民参加と市議会の関係

1 「目指す行政の役割」に対する提言

(1) あるべき姿

市民・地域・企業・団体・行政が共創・協働して、効率的で効果的、かつ持続的にまちづくりを展開します。

そのためには、社会基盤の整備、安全・安心のあり方など、須坂市の将来について市民・地域・企業・団体・行政が共に目指す方向を話し合い、現状の改善及び目標の実現に向け、共創・協働してまちづくりを行う必要があります。

従って、行政は、市民アンケートや市民会議、各種調査などによって幅広い意見や情報を集め、その情報を繋ぎながら広く適切に提供して、まちづくりの「かなめ」となることが大切です。

(2) 現状

良い点

- ・ 積極的な民間活力の導入、コスト削減
- ・ 良好な自然環境
- ・ 保健センターを中心とした熱心な健康づくり体制
- ・ 中核病院と一般医院が役割を分担して担う医療体制

悪い点

- ・ 隣組回覧を読む人が少ない
- ・ インターネット環境の無い人が得られない情報がある
- ・ 知りたい情報が公表されていない
- ・ 民間活力の導入でコストを切り詰めると、企業経営が先細り
- ・ 職員全員が力を結集していない
- ・ 基本的な法令を知らない職員がいるなど、勉強不足
- ・ 職員の仕事に対する積極性が不足

課題・問題

- ・ 防災の強化
- ・ 工夫を凝らした情報発信
- ・ 市内経済の活性化
- ・ 公共施設の適正化
- ・ コストと市民サービスとのバランス

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 社会基盤の整備全般に関して意見を出す
- ・ 経費の見直しを市民の目線で行なう
- ・ 地域公民館の館長の募集等、行政に参加する
- ・ 地域ボランティアに積極的に参加する
- ・ 市の予算を使って独自の事業を企画する

- ・ 市民みんなで、ふるさと納税に取り組む

企業等の取り組み

- ・ 可能な限り公共サービスに参入する
- ・ 市の職員の長期研修を受け入れる（行政 民間の人事交流）

各種団体の取り組み

- ・ 民生委員や保健補導員の活動が十分できるような体制をつくり、意識改革する

行政の取り組み

- ・ 幹部職員への登用に、試験制度を導入する
- ・ 民間のやり方を学習する為に職員の民間企業への長期研修を行なう 行政 民間の人事交流
- ・ 職員の能力を見極め適材を適所に配置する人事をし、職員が企画を立案・実行できるようになるまでの一定期間は同一職場に勤務させる
- ・ 地域公民館の館長を市民から募集する
- ・ 業務を「行政でやる」「民間に委託する」「民間にまかせる」の3つに分ける
- ・ 職員のフレックス勤務やワークシェアリングを進めて人件費を削減する
- ・ 公共施設は、利用率をみながら要/不要を判断し、補強、改・新築、統合をする
- ・ 予算の0.1%程度を市民が独自に使用できる予算を創設する
- ・ 社会基盤の整備全般に民間の意見を十分取り入れる
- ・ 市民が必要とする情報をデータベース化する
- ・ 一般メディアを通じて情報を発信する（例えば、須坂新聞等、インターネット）
- ・ 更なるボランティアネットワークを構築する
- ・ 各種ネットワークづくりのかなめになる

共創・協働の取り組み

- ・ 地域づくりに、生涯学習活動を活かして取り組む
- ・ 意見をすい上げるしくみをつくる
- ・ 市民委員会を常設する（委員会は各部会に分ける）

2 「健全で持続的な財政運営」に対する提言

(1) あるべき姿

収支バランスのとれた財政運営を基本とし、更に収入増を図るよう努めます。また、財政状況を常に公表するとともに、厳しい監視体制の下で、適正に執行します。

そのために行政は、企業誘致や地場産業の活性化や人口増対策を進めて、税収増と市民生活の安定を図り、収入や支出の増減、支出の優先度などを分かり

やすい指標にして公表します。

また、支出の内容を厳しく監視する体制を作って、税金の無駄遣いがあれば、これを厳しく正します。

合わせて、市民も財政の状況や税金の無駄遣いをチェックして、必要があれば正すことが出来るようにします。

(2) 現状

良い点

- ・ 箱物行政からの転換
- ・ 経営の民間移譲
- ・ 補助金の見直し
- ・ 借金残高の減少
- ・ 実質公債費比率等の改善

悪い点

- ・ 市税や給食費などの未収金が増加しているが、滞納額の情報が市民に伝えられない
- ・ 財政情報の公開が不足している
- ・ 財政支出の優先順位が市民に理解されていない
- ・ 老朽化した施設の今後の計画が不明
- ・ 人件費の削減が十分ではない
- ・ 仕事に必要な人員が把握されていない

課題・問題

- ・ 若年層の人口増対策
- ・ 財政力の改善、意識改革が必要
- ・ 老朽化した施設の今後の計画が不明
- ・ 利用されていない土地が多い
- ・ 団体への助成に差があるなど、公平公正な予算執行がされていない

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 予算の編成に意見を出す
- ・ 公共施設の維持に必要な経費を負担する
- ・ 滞納の現状に関心を寄せる

企業等の取り組み

- ・ 雇用を増やす
- ・ 公営施設の管理運営に参入する

各種団体の取り組み

- ・ 公営施設の管理運営に参入する

行政の取り組み

- ・ 財政の目標を具体的な数字で提示し、それを公開する
- ・ 10～15年後の高齢化社会を織り込んで長期計画を作る
- ・ 施策（予算項目）を市民に見えるやり方で仕分け、予算編成に市民の代表を入れる
- ・ 予算（施策）の優先順位を明確化する
- ・ 経常収支比率を下げる（80%以下を目標に）
- ・ 公債費比率を極力下げる（10%以下を目標に）
- ・ バランスシートを公開するなど、市民に財政情報を細かく提供する
- ・ 観光の目玉を作って、全国へ発信する
- ・ 工場団地を増やして人口を増やす
- ・ 子づくり世代の人口を増加させるため、保育サポートを充実する
- ・ 市有資産を適正に売却する
- ・ 公共施設の電気使用料を利用者に負担していただく（午前、午後、夜とわけて）
- ・ 滞納整理は計画をたててしっかり行なう。また、滞納について市報などでもっと訴える
- ・ 職員の人件費圧縮を図り、比率削減計画を明示する
- ・ 定型業務を合理化するため、IT化を進める
- ・ 職員の退職金を民間レベルまで下げる

共創・協働の取り組み

- ・ 資材だけを市が負担する、道普請事業のような取り組みを増やす
- ・ 公共施設の掃除等に利用者や利用団体が協力する
- ・ 街頭の花づくりなどに、地域やグループで協力する

3 「広域行政の可能性」に対する提言

(1) あるべき姿

周辺の市町村と協力して、共通の行政課題に取り組んでいきます。

一つの自治体では解決が難しい課題であっても、周辺の市町村と協力することによって解決できるものもあることから、行政は、それぞれの市町村が得意とする分野や、特有の資源を活かしながら、スケールメリットによる効率化や、経済波及効果を目指します。

ただし、取り組む事業内容は、研究を重ねて、慎重に判断することが必要です。

(2) 現状

良い点

- ・ 広域行政により市民負担が減る
- ・ 単独で処理できない課題（環境、上下水道、観光など）に取り組める
- ・ 観光など、サービスに幅が広がる
- ・ 類似施設の見直しが進む

- ・ 徴収率（税金）の向上が見込める

悪い点

- ・ 大きな都市が主導権を持ってしまいがち
- ・ 貧相な公共交通
- ・ サービス低下も考えられる
- ・ 須坂 IC 前に土産店などの情報発信源が無い

課題・問題

- ・ 広域での雇用開拓に取り組む協議が必要
- ・ セクショナリズムを無くすための人材交流
- ・ 長い目で見て考える必要がある
- ・ 広域化によるメリット、デメリットの洗い出し
- ・ 権限の移譲
- ・ 広域化を（早急に）進めるべき課題
医者（不足）の広域対策、消防業務、ゴミ処理、公共交通（バス）、
主要道路網

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ エコ対策 NOカーデー（1日 / 1W）などの、広域の取り組みに参加する
- ・ ゴミ処理はできるだけ近く、自分のゴミは自分で処理する意識を持つ

企業等の取り組み

- ・ エコ対策 NOカーデー（1日 / 1W）などの、広域の取り組みに参加する
- ・ バスの路線と運行を広域化する

各種団体の取り組み

- ・ 観光事業は広域であれば効果が上がるので、河東線沿線観光を進める。
小布施、高山、須坂観光ツアーを行う
- ・ グリーンツーリズムを広域でPRする（都市住民へ）
- ・ 須坂の菊、小布施のフローラル、中野のバラを連携する
- ・ 観光協会や体育協会など、広域で出来る組織を合併する
- ・ もったいない運動を広域的に実施し、不用品を市民に安く提供する

行政の取り組み

- ・ 何が広域行政になじむのか、事務処理状況を徹底的に検証する
- ・ 経済中心主義の政策から、広域的な精神風土づくりへ転換する
- ・ 消防・防災の広域連合を構築する（長野・須高地区）
- ・ 広域で公営住宅や空き家情報を提供する
- ・ パブリシティ（新聞記事やTV報道によるPR）を広域で行なう
- ・ 監査委員や教育委員など、専門知識の必要な委員を須高地区で事務局を

持つ

- ・ 監査委員会事務局や教育委員を広域化する
- ・ 環境に関する各種協議会、委員会等を広域化する
- ・ エコ対策 NOカーデー（1日/1W） 広域で一斉に行なう
- ・ 美術館・博物館など、市町村ごとの資源を集約する
- ・ 各種観光イベントを広域化して、集客規模を拡大する
- ・ 須坂・小布施・高山の観光のPRを一体で行う

共創・協働の取り組み

- ・ 観光資料、ガイドブック、PR等（地図、ハガキ、切手作成を含めて）の広域化を進めて、点在する観光スポットを線で結び、小布施へ来る観光客を須坂へ呼び込む

4 「地方分権と市民生活」に対する提言

(1) あるべき姿

地方分権によって示された権限を十分見極め、その権限を、特色あるまちづくり、地域づくりに生かしていきます。

そのために行政は、地方分権によって得られる権限と責任、費用対効果等を十分に検証して見極め、須坂市の将来を見据えて導入を判断する必要があります。

また、自分達のまちや地域の将来に責任を持てる「自律した行政」や「自律した市民」を育てることも大切です。

(2) 現状

良い点

- ・ 住民意見を反映しやすい
- ・ 市の特色を出しやすい
- ・ 決定までの時間が短縮

悪い点

- ・ 隣の市と同じサービスが受けられるか疑問
- ・ 行政の効率化が区の負担増につながる
- ・ 受け手にノウハウが無い
- ・ 財源を伴わない可能性がある

課題・問題

- ・ 地方分権による市職員の仕事量の増加対策
- ・ 住民自治協議会（長野市）の設置 地域課題の探求と具体的な行動
- ・ 地方分権の人的・予算的措置の解決
- ・ 同じ道なのに管理する主体によって窓口が違ってしまう。国県道についても身近な課題は市へ、基本的な管理は国または県が良い
- ・ どんな権限が市に移されるのか、メリットは何かなど、情報が足りない

- ・ パスポートの交付は長野まで行かなくてはならない
- ・ 細かいようなもの（問題の起きないもの）まで許可制になっている
- ・ ニーズに合った保育が受けられない
- ・ 自分の農地に自分の家が建てられない

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 権限について行政と議論をする
- ・ 中学生から、まちづくりや地域づくりに参加して、自律した市民になるための訓練をする
- ・ 自分のまちは自分達で作るといふ、自律した個人が集まって行動する

企業等の取り組み

- ・ 分権によるメリットを活用する

各種団体の取り組み

- ・ 各区長会ブロックで積極的に事業を展開し、市から予算投入をうける
- ・ 自治会で事務員を雇用すると役員が助かる。小さい自治会は数町で雇う

行政の取り組み

- ・ 自律のプランを作成する
- ・ 皆で話し合うため、情報を公開する
- ・ 各区長会ブロックでの積極的な事業展開に対し予算を投入する
- ・ 高校生や中学生が、まちづくりや地域づくりに参加するために、投票権の年齢を引き下げる
- ・ 分権に関する市民の要望をまとめる協議会を設置する
- ・ どういう事項について権限が移されれば市民にメリットがあるか検証する
- ・ 小規模都市と大都市との間に差が出ないこと
- ・ 財源と権限を国より移す
- ・ 職員が分権メリットのアイデアを示す
- ・ 1つ1つの権限について市民と議論をしていく
- ・ 地方に何ができるのかを明確にする

共創・協働の取り組み

（分権の具体的な内容が見えたところで研究する）

5 「市民参加と市議会の関係」に対する提言

(1) あるべき姿

市民は、常日頃、議員との意見交換に心がけ、様々な意見を寄せます。議会には「市民視点による行政運営のチェック」という、重要な役割を果たすと共に、将来の須坂市を見据え、市民の意見を十分に反映して、幅広い活発な議論を行います。

そのため市民は、議員の活動内容をチェックするだけでなく、議員との対話に積極的に加わり、自らの提案や課題について話し合います。

また、議員は、様々な市民と意見交換することで、その優先度・重要度を判断し、調査研究を加えて議会に臨みます。

(2) 現状

良い点

- ・ 全戸配布の市議会報告は議会活動が良くわかる
- ・ S T V放映など情報公開がされている

悪い点

- ・ すでに結論が出ており、これ以上の質問は不要と思える事項について、同じ視点の質問を何度も繰り返している
- ・ 決まりきった質問。決まりきった答弁
- ・ 行政のチェックは適正になされているのか不明
- ・ 勤労者(サラリーマン)の代表が少ない
- ・ 議員報酬は現在の活動内容に比して高過ぎる
- ・ 市民と議員との交流の場がほとんどない(議員はどのように市民意見を吸収しているのか)
- ・ 議員の推薦母体が区などに依るところが多く、利益依存を考える選挙民の意識改革が必要

課題・問題

- ・ 議員の質の向上
- ・ 議員が市全域又は居住する地域の諸課題について、定例的に意見を吸い上げる努力が必要
- ・ 議員の公約がどのように実現されているのか見えない。各会派ごとに公表してほしい
- ・ 議員の会派の人数が少数すぎて、主張の基盤が不安定に見える。人数を多くする努力が議員にほしい
- ・ 市民参加の会議が増加すれば、議会の存在が薄れてくる

(3) 実現に向けた取り組みやアイデア

市民の取り組み

- ・ 議員との懇談会に参加する
- ・ 様々な立場の市民が議員に立候補する
- ・ 議員をチェックできる市民になる
- ・ 女性の市議会議員を増やす

企業等の取り組み

- ・ 従業員の議員活動を支援する

各種団体の取り組み

- ・ 議員との意見交換の場を設ける

議会の取り組み

- ・ 議員は、市民が今「何を」「どのように」「どうしたい」と考えているのかを集約し、その判断を的確に行政に反映させる事が第一の役割。市民が抱える問題を、現場に出向き、ていねいに聴く
- ・ 議員と市民との懇談会を開催する
- ・ 議員の日常の政務活動がわかりにくい。議員活動を報告する規約の制定や、議会事務局で何らかの調査・報告ができるシステムを作る
- ・ 「市議会報 すざか」の継続発行。出来るだけ分りやすく、また字体を大きくする
- ・ 議員が出身団体や地域の要望伝達だけでなく、政策の優先順位を議論する議会にする
- ・ 土・日または夜に議会を開催するなど、普通のサラリーマンでも出てこられる議員制度にする
- ・ 議員活動のマンネリ化防止の為に、任期制や定年制を検討し、若い人の意見が反映できるようにする
- ・ 議員の意識を改革し、資質を向上する
- ・ 「ボランティア議員」と「スーパー議員」のどちらが良いのかを討議し、併せて定数と報酬についても検討する。報酬については報酬審議会を開催する
- ・ 市議会の、チェック機関としての役割を強化する
- ・ 議員提案による条例づくりを推進する

共創・協働の取り組み

- ・ 市民の声を聞く場、方策を工夫する
- ・ 議員と市民の対話集会を定期的で開催し、市民の声を集約し反映させる

【行政経営分科会の様子】



資料編



I. 設置要領

1 1 7 (いいな)人会議設置要領

(目的及び設置)

第1条 平成23年度からスタートする「第五次須坂市総合計画」(以下「計画」という。)の策定に当たり、市民との共創によるまちづくりを推進する視点から計画策定過程において市民の参画を図り、計画内容に市民の意見を反映することを目的とし「117人会議」を設置する。

(所掌事務)

第2条 117人会議は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 計画に対する市長への提言
- (2) 計画素案となる提言書の作成及び市長への提出
- (3) 前2号に掲げるもののほか、広範な市民意見の集約に関し、市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 117人会議は、次に掲げる条件を満たした者(以下「委員」という。)により組織する。

- (1) 公募により応募された市民
- (2) 庁内策定委員会から推薦された関係団体及び個人
- (3) 庁内策定委員会分科会の関係部局の職員

2 公募により応募された市民及び庁内策定委員会から推薦された関係団体及び個人は以下の者であること。

- (1) 15歳以上であること(中学生を除く。)
- (2) 市内に在住し、在勤し、若しくは在学していること、又は市内に主な活動拠点を置き、市内で市民活動をしていること。
- (3) 本市のまちづくりに自ら積極的に取り組む意欲があること。
- (4) 月2回程度の平日の夜間、土曜日及び日曜日に開催する会議に出席できること。

3 委員の任期は、計画に対する提言書を市長への提出する日(平成21年12月を目途)までとする。

（謝礼）

第4条 委員への謝礼及び費用弁償は、無償とする。

（分科会）

第5条 第2条に規定する所掌事務を効率的かつ専門的に議論を行うため、別表により117人会議に分科会を置き、分掌させる。

2 分科会の会長及び副会長を各1人置き、会長及び副会長は分科会に属する委員の互選により、これを定める。

3 委員は、いずれか1つの分科会に属さなければならない。

4 分科会間の調整は、117人会議において円滑な連携により調整を図る。

（事務局）

第6条 事務局は、総務部政策推進課に置き、庶務及び117人会議全体の運営にあたる。分科会の庶務及び運営については別表に掲げる課が行う。

（その他）

第7条 この要領に定めるもののほか、117人会議の運営に関し必要な事項は、代表が117人会議に諮って定める。

II. 実施経過

第1回全体会

日 時	平成21年8月26日(水) 午後7時～9時
場 所	消防署3階 大会議室
議 題	117人会議開始にあたっての説明 117人会議分科会の構成と各分科会のメンバー紹介 など

(1) 健康・地域医療分科会

議題テーマ：「福祉のまちづくり」、「障がい者福祉の推進」、「生活困窮者への支援」、
「保健・健康・地域医療」、「高齢者への支援・介護」

	日時	場所	実施内容
第2回	9月18日(金)19時～	保健センター リハビリルーム	第2ステージ(1) 意見収集 テーマ 「福祉のまちづくり・障がい者福祉の推進・生活困窮者への支援」 「保健・健康・地域医療、高齢者への支援・介護」
第3回	10月6日(火)19時～	消防署3階 大会議室	第2ステージ(2) 集約 テーマ 「福祉のまちづくり・障がい者福祉の推進・生活困窮者への支援」 「保健・健康・地域医療、高齢者への支援・介護」
第4回	10月20日(火)19時～	本庁舎3階 305会議室	第3ステージ(1) 意見収集 テーマ 「福祉のまちづくり・障がい者福祉の推進・生活困窮者への支援」 「保健・健康・地域医療、高齢者への支援・介護」
第5回	11月5日(木)19時～	保健センター リハビリルーム	第3ステージ(2) 意見収集 テーマ 「福祉のまちづくり・障がい者福祉の推進・生活困窮者への支援」 「保健・健康・地域医療、高齢者への支援・介護」
第6回	11月26日(木)19時～	保健センター リハビリルーム	第4ステージ(1) 提言内容協議 テーマ 「福祉のまちづくり・障がい者福祉の推進・生活困窮者への支援」 「保健・健康・地域医療、高齢者への支援・介護」

	日時	場所	実施内容
第7回	12月17日(木) 19時～	保健センター リハビリルーム	第4ステージ(2) 提言内容とりまとめ テーマ 「福祉のまちづくり・障がい者福祉の推進・生活困窮者への支援」 「保健・健康・地域医療、高齢者への支援・介護」

(2) 共創分科会

議題テーマ：「快適環境、環境保全」、「市民参画」、「文化・芸術」、「生涯学習」、「交通安全、防犯、消費者保護、地域防災」

	日時	場所	実施内容
第2回	9月15日(火) 19時～	消防署 3階 大会議室	議題テーマの内容説明 部会分け部会長選出 部会構成 ・環境部会 ・市民参画、文化・芸術、生涯学習部会 ・安心、安全部会
第3回	9月29日(火) 19時～	消防署 3階 大会議室	第2ステージ(1) 意見収集・集約 テーマ ・環境部会-「快適環境、環境保全」 ・市民参画、文化・芸術、生涯学習部会「市民参画、文化・芸術、生涯学習」 ・安心、安全部会-「交通安全、防犯、消費者保護、地域防災」
第4回	10月15日 (木)19時～	消防署 3階 大会議室	第2ステージ(2) 意見収集・集約 テーマ同上
第5回	10月27日 (火)19時～	消防署 3階 大会議室	第2ステージ(3) 集約 テーマ同上
第6回	11月11日 (水)19時～	消防署 3階 大会議室	第3ステージ(1) 意見収集・集約 テーマ同上
第7回	11月25日 (水)19時～	消防署 3階 大会議室	第3ステージ(2) 意見収集・集約 テーマ同上
第8回	12月11日 (金)19時～	消防署 3階 大会議室	第3ステージ(3)集約 第4ステージ(1) 提言内容協議 テーマ同上
第9回	1月20日(水) 19時～	消防署 3階 大会議室	第4ステージ(2) 提言内容集約 部会発表

(3) 産業分科会

議題テーマ：「農業の活性化」、「商業の活性化」、「工業の活性化」、「観光の活性化」、「農商工観連携」

	日時	場所	実施内容
第2回	9月28日(月) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第2ステージ(1)意見収集・集約 テーマ 「農業の活性化」, 「商業の活性化」
第3回	10月16日 (金)19時～	中央公民館	第2ステージ(2)意見収集・集約 テーマ 「工業の活性化」, 「観光の活性化」
第4回	10月19日 (月)19時～	本庁舎3階 305会議室	第2ステージ(3)意見収集・集約 テーマ 「農商工観連携」
第5回	11月2日(月) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第3ステージ(1)意見収集・集約 テーマ 「農業の活性化」, 「商業の活性化」
第6回	11月9日(月) 18時～	本庁舎3階 305会議室	第3ステージ(2)意見収集・集約 テーマ 「工業の活性化」, 「観光の活性化」
第7回	11月18日 (水)19時～	中央公民館 西館会議室	第3ステージ(3)意見収集・集約 テーマ 「農商工観連携」
第8回	1月18日(月) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第4ステージ提言内容とりまとめ

(4) まちづくり分科会

議題テーマ：「快適環境(上下水道)」, 「景観育成」, 「土地利用のあり方」, 「道路・交通(快適安全な道について)」, 「公園のあり方」

	日時	場所	実施内容
第2回	9月11日(金) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第2ステージ(1)意見収集・集約 テーマ 「景観形成」, 「土地利用のあり方」
第3回	9月25日(金) 19時～	消防署3階大会 議室	第2ステージ(2)意見収集 テーマ 「快適環境(上下水道)」, 「公園のあり方」, 「道路・交通」
第4回	10月16日(金) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第3ステージ(1)意見収集 テーマ 「景観形成」, 「快適環境(上下水道)」

	日時	場所	実施内容
第5回	10月30日(金) 18時30分～	シルキーホール	第3ステージ(2)意見収集 テーマ 「公園のあり方」、「道路・交通」
第6回	11月12日(木) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第3ステージ(3)意見収集・集約 テーマ 「快適環境(上下水道)」、「公園のあり方」、「道路・交通」
第7回	11月19日(木) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第3ステージ(4)集約
第8回	12月18日(金) 19時～	本庁舎3階 302・303会議室	第4ステージ 提言内容とりまとめ

(5) 子育て・教育分科会

議題テーマ：「子育て支援」、「家庭と地域の教育力向上を図るために」、「地域の子どもは地域で支援し守り育てるために」

	日時	場所	実施内容
第2回	9月18日(金) 19時～	旧上高井郡役所2階 多目的ホール	第2ステージ(1)意見収集・集約 テーマ 「子育て支援」 「家庭と地域の教育力向上を図るために」
第3回	10月16日 (金)19時～	保健センター リハビリルーム	第2ステージ(2)意見収集・集約 テーマ「地域の子どもは地域で支援し守り育てるために」 第3ステージ(1)意見収集 テーマ「家庭と地域の教育力向上を図るために」
第4回	10月26日 (月)19時～	本庁舎3階 305会議室	第3ステージ(2)意見収集・集約 テーマ 「地域の子どもは地域で支援し守り育てるために」、「家庭と地域の教育力向上を図るために」
第5回	11月9日(月) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第4ステージ(1)提言内容協議
第6回	11月25日 (水)19時～	旧上高井郡役所2階 多目的ホール	第4ステージ(1)提言内容とりまとめ

(6) 行政経営分科会

テーマ：「目指す行政の役割」、「健全で持続的な財政運営」、「広域行政の可能性」、「地方分権と市民生活」、「市民参加と市議会の関係」

	日時	場所	実施内容
第2回	9月16日(水) 19時～	シルキービル3階 第2ホール	第2ステージ(1)意見収集・集約 テーマ 「目指す行政の役割」 「健全で持続的な財政運営」
第3回	10月5日(月) 19時～	本庁舎3階 305会議室	第2ステージ(2)意見収集・集約 テーマ 「広域行政の可能性」、「地方分権と市民生活」、「市民参加と市議会との関係」
第4回	10月23日(金) 19時～	本庁舎3階 302、303会議室	第3ステージ(1)意見収集・集約 テーマ 「目指す行政の役割」 「健全で持続的な財政運営」
第5回	11月6日(金) 19時～	中央公民館 視聴覚室	第3ステージ(2)意見収集・集約 テーマ 「広域行政の可能性」、「地方分権と市民生活」、「市民参加と市議会との関係」
第6回	11月19日(木) 19時～	本庁舎3階 302、303会議室	第4ステージ(1)提言内容意見収集
第7回	11月27日(金) 19時～	本庁舎3階 302、303会議室	第4ステージ(2)提言内容意見収集
第8回	12月18日(金) 19時～	シルキービル3階 第2ホール	第4ステージ(3)提言とりまとめ

III. 分科会別まとめシート

i. 健康・地域医療分科会

第2ステージ(須坂市の現状を知る、課題や問題の抽出)まとめシート

テーマ：「保健・健康・地域医療」「高齢者への支援・介護」

良い点	悪い点
<p>【保健・健康づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキングする人が増えてきている。 ・ 健康づくりに理解のある企業が多い。 ・ 水がおいしい。 <p>【保健補導員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健補導員制度が整っていることで、日常的に市民の会話の中に、健康維持・食生活のことが話題になっている。 ・ 保健補導員制度の健康づくりが浸透 ・ 食改の活動がすばらしい。 ・ 健康増進事業、保健師がよくやっていると思う。 ・ 介護予防事業 補導員さんよくやってもらっている。 <p>【高齢者への支援・地域の支え合い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の一人暮らしに対し、思いやりが感じられる。 ・ 地域のつながり、住民の支え合いがある。(2) ・ 民生委員さんが活躍している。 <p>【高齢者への支援・ボランティア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の方の家の周りの雪かきを率先してやる人達がいる。 <p>【高齢者への支援・食】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者への配食サービス <p>【介護サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービスの充実はありがたい。 	<p>【保健・健康づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間ドックの受診補助が低い。 ・ 市民健診案内がわかりづらい。 ・ 乳児健診が午後のため、子供が寝てしまう。 <p>【保健補導員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健補導員も疲弊している。 <p>【地域医療(須坂病院・救急医療)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 婦人科はあっても産科がない。 ・ 産婦人科の医師が来たらそれで解決なのか。 ・ 須坂病院だけにお産を頼らざるを得ない。安心して産めない。 ・ 救急医療、今のままだとつぶれてしまう。充実してほしい。 ・ 休日・救急医療(須坂病院)医師少なく待たされる。 ・ 高齢者の診察に不便。駐車場も待合室も車椅子では狭い。 <p>【医療制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国保税・介護保険料が高い。(2) <p>【高齢者への支援・交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほほえみバスを止めるのはどうか。 ・ 通所介護サービスの送迎車の効率が悪い。 ・ 国道に歩道がない。道が狭い。レンガ状になっているところにシルバーカーがつかかる。 <p>【介護サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入所施設の不足 ・ 介護従事者の不足 ・ 介護保険の上限を超えた上乘せサービスがあってもよい。(特に認知症)

課題・問題**【保健・健康づくり】**

- ・ 若い方は健診を受けているのか。
- ・ 特定健診、社会保険の扶養の方が受けやすいようになればよい。
- ・ 歯の検診があればありがたい。(8020 運動)

【地域医療(須坂病院・救急医療)】

- ・ 須坂病院の医師を今より2人増員
- ・ 里帰り出産も安心してできるような産科医療
- ・ 須坂病院は元国立上山田病院に学んでほしい。
- ・ 須坂病院独法化について3市町村のコンセンサスはあるのか。
- ・ 救急車を使った時、救急以外の場合は費用負担(5,000円位)をしていただく。
- ・ 市議員さんに現場を知ってもらうために、年20日位、須坂病院やひだまりに行ってもらいたい。

【高齢者への支援・地域の支え合い】

- ・ 高齢者になっても安心して暮らせる社会
- ・ 行政と地域で一体となって行っていく姿勢が必要

【高齢者への支援・認知症】

- ・ 認知症になっても安心して地域で暮らせる社会
- ・ 認知症の方に発信機をつける。電話でなく、身体から離れないGPSはないのか。(腕輪など)

【高齢者への支援・ボランティア】

- ・ 定年退職者の人を有効活用したらどうか。
- ・ シルバー人材センターの委託内容(事務・介護(福祉派遣法との関係))
- ・ 介護保険で助けられない部分をボランティアで何とかできないか。

【高齢者への支援・食】

- ・ 高齢者世帯の食の確保

【高齢者への支援・交通】

- ・ 高齢者の交通手段
- ・ 安曇野市の公共共通システムを参考にしたらどうか。
- ・ 高齢者一人一人の行動パターンを把握して交通システムを考えてはどうか。

【介護サービス】

- ・ 介護調査員の温度差
- ・ 制度サービス外の地域の支え合いの不足をどうするか。ふれあいのカバーできる人数？老人会の減少傾向

その他意見

- ・ 味噌がうまい。
- ・ 老人福祉センターの有効活用
- ・ 子育て支援の充実。公私の保育園整備と共に高めあう取り組み
- ・ 老人会がつぶれたこと(会長の引き受け者がいない)
- ・ 近くに商店がなく、町の中心に転居したいと悩む高齢者
- ・ 3世代同居の世帯の増加、支援

テーマ： 「福祉のまちづくり」「障がい者福祉の推進」「生活困窮者への支援」

<p>良い点</p> <p>【福祉のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種々のボランティア活動があり、活発に行われていて良い。 ・地域の見守りが行われている。 ・助け合い推進事業があるのが良い（社協に） ・民生委員さんが熱心。 ・福祉の町として、須坂は先進地と思う。 <p>【障がい者福祉】</p> <p>サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オムツ券やタクシー券は、大変助かります。 <p>施設・ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者支援施設の整備が充実している。 ・施設のサービス内容が改善されている。 ・市営住宅に障がい者住宅があるのは良いこと。 <p>【生活困窮者】</p> <p>サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯率が低い。 ・ホームレスがない。 <p>【福祉制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の生活実態にあったサービス量が受けられている。 	<p>悪い点</p> <p>【障がい者福祉】</p> <p>サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉事業が少ない <p>施設・ハード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に対し、道路が狭く悪すぎる。障がい者への理解・理念 ・障がいの程度が様々で、健常者と見分けが付かない人もいる。手帳の更新は行われているのか。 ・難聴の人への配慮が地域に欠けている。 ・障がい者に対して本当に考えている市民であるのか。 <p>【生活困窮者】</p> <p>制度の適正さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれが生活困窮者が分からない。 ・本当にお金に困っている人に在宅福祉サービスが行われているのか。 <p>【福祉制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物のための移動手段の支援がない。 ・福祉に対する給付金が多すぎないか。 ・福祉有償運送事業者に格差がある。 <p>【施設整備】</p> <p>施設の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設がバラバラ。 <p>道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須坂の道は入ってこれないように作ってある。（2車線から1車線に狭くなる）
<p>課題・問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オムツ券やタクシー券が、年度切り替え時に1ヶ月空くのが困る（4月に使えない） ・障がい者住宅を拡大してほしい。（ユニバーサルデザインで） ・障がい者にとって住みよい町に。そのための官民の協力を。 ・生活困窮者を見つけ出す方法を。（窓口を設けるなど） ・低所得であっても地域で生きられるには。 ・歩道の整備 	

その他意見

- ・ 失業者を減らすためにワークシェアリングを。
- ・ 緊急通報システムが必要な人は、65歳以上に限らないので、希望者に設置できないか。
- ・ 窓口一本化でなんでも相談できないか。
- ・ 学校施設の有効利用を
- ・ 福祉会館とシルバー人材センターを単独施設に。

第3ステージ(あるべき姿とその実現に向けた取り組み内容について)まとめシート
 議題テーマ： 「保健・健康・地域医療」

理想像、あるべき姿、理念など**【健康に過ごせるまち】**

- ・ 孤独死や自殺者のいない町 須坂
- ・ 高齢になってもバランスの良い食事がいつでも取れている。
- ・ 健診を率先して受診する市民の町
- ・ 健康で安心して暮らせるまち(市)
- ・ 暴飲・暴食をしないためにストレスの少ない社会(仕事の分ち合い、休暇の奨励)

【医療の充実】

- ・ 医療を受ける側にも一定の常識を持つべき(応分の負担、相手も人)
- ・ 救急車に乗ったら市外に出ない。
- ・ 病気になっても金の心配をすることなく診療を受けられる。
- ・ 病気になっても安心して医療にかかれる須坂
- ・ 須坂看護学校との協力関係をつくる。
- ・ 医療福祉のフィールドワークの場所として市内の事業との協力をする。
- ・ 高齢者と子どもは医療費がタダの町
- ・ 医療費がタダの市
- ・ 国保制度の県統一(安くなるか?)
- ・ 福祉と医療、介護、子育てだけに特化した市になる。(人口が増える)

アイデアや手段、方策、実施事業など

【健康に過ごせるまち】

(ア) 市民の取り組み

- ・乾布まさつでふれあうまちづくり

(イ) 行政の取り組み

- ・健診終了カードを出し、その後の医療費など格安・免除などの良さを与える。
- ・健診を受けたら市税が安くなる。
- ・健診の受診期間を通年化する。(医療機関)
- ・老人福祉センター、地域公民館に介護予防運動用のマシンを置く。
- ・健康づくり(自身でするもの)に連携してフィードバック出来るシステムづくり
- ・須坂市民全員が必ず1日30分は歩かなければいけない条例制定(強制予防医療)

(ウ) 共創・協働の取り組み

- ・ゆっくり噛んで食べる市民的運動を起こす。
- ・食事も運動もゆっくりスローライフのまち 須坂
- ・健康づくりのため、毎日曜、須坂市のどこかでウォーキングが開催されている町(町ごと順番もよし)
- ・簡単にできる健康体操の普及(タオル体操など)

【医療の充実】

(ア) 行政の取り組み

- ・病院を誘致し、北信の医療中核市になる。
- ・地域ごとに健康管理などするセンター設置(身近な場所)
- ・複雑な医療制度ではなくすることで、負担感の軽減を図る。
- ・1%支援制度 市民団体に対して市民活動に援助する。(しっかり計画、しっかり活動、市民に有益か?)
- ・1%支援制度 これを基に市民団体の中から助成する団体を選ぶ(複数可)
- ・市政 周年の年は、医療費、全市民無料(事前にPRして)
- ・年間、保険証未使用者にお祝いをさしあげる。

(イ) 共創・協働の取り組み

- ・予防に力を入れる。(入院・薬を減らす!)
- ・須坂病院を地域に根ざした佐久総合病院のようにしたい。

その他意見

- ・国民年金だけでは介護サービスが心もとない。
- ・町内会の行事などに、役員だけでなく育成会(子ども達)も積極的に参加する。

議題テーマ： 「高齢者への支援・介護」

理想像、あるべき姿、理念など**【高齢者の暮らしとお金】**

- ・ 高齢者がどんどんお金を使う。
- ・ 高齢者の一人暮らしを支えるしくみをより考える。
- ・ 各町ごとに高齢者が毎日訪ねて集えるサロン（公会堂）がある市
- ・ 趣味や生きがい活動をしている人が大勢いる。

【地域で暮らす高齢者】

- ・ 認知症の人が安心して徘徊できる。
- ・ 認知症になっても、自分らしく生きられる社会
- ・ 介護従事者の不足がないように定年退職者を活用。
- ・ ひとり暮らしになっても話せる仲間が大勢いる。
- ・ 高齢者にやさしい、ゆっくりとした社会、スローライフのまちづくり
- ・ 3世代同居世帯が増え、子どもや高齢者が生き生きと暮らせる社会

【高齢者が安心できるまち】

- ・ 高齢者や障がい者が元気に出歩ける町 須坂
- ・ 町全体をユニバーサルデザインで！
- ・ 困った時に相談できる場所、人が近くにある。
- ・ 困った時に支え合いができる地域
- ・ 車を気にせず、安心して歩ける場所が多くある。
- ・ バスに乗って生活ができる。
- ・ 車がなくても生活できる。（バスなど便利）
- ・ 安心して暮らせる町として、各部門で総合的で一体となって進めていく
- ・ 笑顔のあふれる街
- ・ 落ち着いた街
- ・ 思いやりのある街

アイデアや手段、方策、実施事業など**【高齢者の暮らしとお金】****(ア)企業の取り組み**

- ・ 高齢者のみの企業を立ち上げる。

(イ)行政の取り組み

- ・ 高齢者と同居する世帯を優遇するような制度
- ・ 一定年齢になったら全市民は老人会に入会義務化条例を制定

(ウ)共創・協働の取り組み

- ・ 高齢者の「老後安心基金」にお金を積立てさせ、それを財源に子育て支援に使う。

【地域で暮らす高齢者】**(ア)企業の取り組み**

- ・ 高齢者の人材活用

(イ)共創・協働の取り組み

- ・ 高齢単身者が協力し合って食事等をつくり、楽しめる通所施設

【高齢者が安心できるまち】

<p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 隣組組織の活性化（地域での見守り） <p>(イ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 須坂病院へ市役所の機能を一部使えるようにする。・ ボランティアをした人にポイントをあげる。（市内の施設を使う時に使える）・ 地域通貨（ポイント制）・ バス停までの移動困難者の支援システムを作る。 <p>(ウ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ バス停にベンチを作る。
<p><u>その他意見</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 老人会のしがらみが原因で入る人が減少（現状の悪い点）・ 老後を子供だけに頼れない。

議題テーマ： 「障がい者福祉の推進」「生活困窮者への支援」「福祉のまちづくり」

<p><u>理想像、あるべき姿、理念など</u></p> <p>【障がい者】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 社会参加をしている障がい者がたくさんいるまち・ 障がい者への理解を深める・ 障がい者が普通に地域住民と交流を持つ。住民は障がい者を理解し、障がい者や家族も、積極的に関わりを持つ・ 隣近所の障がい者に対する理解・ 障がい者が地域で普通に暮らせるように・ 障がい者も、自らできる事は、精一杯やろうと生き生きした姿で暮らせる市・ 障がい者に思いやりのもてる町（人）となってほしい・ 親が亡くなった後でも、障がい者が安心して生きていける社会を・ 障がい者が、生活に困らないだけの収入を得られる就労環境の確保を
<p><u>アイデアや手段、方策、実施事業など</u></p> <p>【障がい者】</p> <p>(ア) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 障がい者の雇用の確保 <p>(イ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 障がい者グループの充実 <p>(ウ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 障がい者が働いている企業の法人税等の優遇・ 逆に障がい者を雇用していないと重税を課す <p>(エ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 障がい者が就労できる場の充実・開拓、それに対する市の支援

議題テーマ： 「障がい者福祉の推進」「生活困窮者への支援」「福祉のまちづくり」

理想像、あるべき姿、理念など

【生活困窮者】

- ・生活に困っている人がいないまち
- ・自己中心的ではなく、お互い様で協力し合えるまち
- ・生活困窮者にとって生活が安心して送れる町
- ・生活困窮者になっても、気軽に相談する場、解決していこうと親身になってともに考えていこうとする係、のある市

アイデアや手段、方策、実施事業など

【生活困窮者】

- (ア) 市民の取り組み
 - ・生活困窮者にお米を配布する（農業者から、遊休農地を利用して）
- (イ) 行政の取り組み
 - ・ケースワーカーの増員

議題テーマ： 「障がい者福祉の推進」「生活困窮者への支援」「福祉のまちづくり」

理想像、あるべき姿、理念など

【ボランティア】

- ・誰もが何らかのボランティア活動に気軽に参加する市
- ・ボランティアの活発な町
- ・当事者団体、自治会、ボランティアグループがつながりあっている。

アイデアや手段、方策、実施事業など

【ボランティア】

- (ア) 共創・協働の取り組み
 - ・ボランティアをしたらとても良かったと思える様なポイント制
市の施設（版画美術館など）の無料使用券など
 - ・ボランティア活動をしたら、自分が支援を受ける立場のときにサービスが無償で使えるポイント制。
 - ・市民1人必ず半年ボランティアに従事制度

議題テーマ： 「障がい者福祉の推進」「生活困窮者への支援」「福祉のまちづくり」

理想像、あるべき姿、理念など

【助け合い】

- ・須坂市独自の、困った人を助けるシステム
- ・お金をかけない、助け合いのシステム
- ・「助けて！」を自由に言える町
- ・お金だけでなく、現物での支給も
- ・感謝の言葉があふれるまち

アイデアや手段、方策、実施事業など

【助け合い】

(ア)行政の取り組み

- ・御用聞き中心の市役所業務にする

(イ) 共創・協働の取り組み

- ・助け合いの家(店)を制度でつくり、困ったときの相談や手助けができる町づくりをする。
- ・助け合いポイント制度、地域通貨と連携も

議題テーマ： 「障がい者福祉の推進」「生活困窮者への支援」「福祉のまちづくり」

理想像、あるべき姿、理念など

【環境整備】

- ・福祉施設が1カ所にまとまっており、足を踏み入れたら、そこでだいたい事足りるような環境のある市
- ・無料市民バスが市内をくまなく運行し、市内での移動がフリーにいつでもできる

アイデアや手段、方策、実施事業など

【環境整備】

(ア)各種団体の取り組み

- ・全公会堂のバリアフリー化

(イ) 行政の取り組み

- ・車イスで行き違いができるよう、歩道を広くする
- ・市内全域、歩道のフラット化
- ・施設職員の待遇改善を

議題テーマ： 「障がい者福祉の推進」「生活困窮者への支援」「福祉のまちづくり」

理想像、あるべき姿、理念など

アイデアや手段、方策、実施事業など

【その他】

(ア) 市民の取り組み

- ・女性のパワーを利用する

(イ) 各種団体の取り組み

- ・保健補導員と連動したシステム（民生児童委員と関連）
- ・民生児童委員の名誉職規定の廃止
- ・民生児童委員を女性にする

(ウ) 行政の取り組み

- ・生活相談、訪問員制度の創設
- ・福祉サービスには、受益者負担という考えは取り入れないことが大事
- ・施設入所などの書式を簡単にしてほしい
- ・オムツ券、タクシー券が年度切り替え時の3月に4月分までまとめて出す

(エ) 共創・協働の取り組み

- ・独居老人の財産を担保にして面倒を見る

ii. 共創分科会

第2ステージ(須坂市の現状を知る、課題や問題の抽出)まとめシート

テーマ：「CO₂削減」、「ゴミ減量、環境型社会を目指して」

<p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道の水がうまい。 ・ 町や道路にごみが落ちていない。 ・ エコサポートの取り組みはすばらしい。 ・ ごみステーションを町の当番で管理している。 ・ ごみ収集がきれいになった。 ・ 仁礼線、東中学校サルビアがすばらしい。 ・ 百々川河川敷、散歩ウオーキングには最適。 ・ マレットゴルフ人口の活用、健康にはとても良い。 ・ 河川敷は整備されていてとてもよい。 ・ 花いっぱい町が美しくなった。 	<p>悪い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみ処理機、太陽光発電の補助金が高と比べて少ない。 ・ 全地域をごみステーションにする(集積施設を設置する)。 ・ 河川、側溝に水が流れていない。 ・ マレット人口の労力の在り方。 ・ 不法投棄が増えている。 ・ 観光について1個所にまとめる。 ・ ごみ収集について、カラスの害。 ・ ごみの出し方が悪い、他の町の人がおいていく。 ・ 生ごみのたい肥化(ダンボール)機材の上限をなくしてほしい
<p>課題・問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験センターを存続して欲しい。 ・ エコサポートの軒数を増やして欲しい。 ・ 市内の工場がCO₂削減にどう取り組んでいるか知りたい。 ・ 百々川の水を利用して水力発電が出来ないでしょうか。 ・ 粗大ごみの収集、年2回位にしてほしい。 ・ 河川の水が良くなってきた。 ・ ホタルの里づくり。 	

テーマ：「市民参画テーマ：だれもが参画できるまちづくり」「文化芸術テーマ：地域文化・文化財の活用と保存・継承」「生涯学習テーマ：学習の成果を地域のまちづくりにどう生かすか、スポーツを気軽に楽しむ」

<p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権問題について、粘り強く広く取り組まれている。 ・ 臥竜公園の緑地がすばらしい。 ・ 生涯学習が活発に行われている。 ・ 公民館の利用が多い、利用者団体も多い。 ・ 地域公民館活動が活発で充実してい 	<p>悪い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化分野で、地域公民館の地域への貢献が不十分。 ・ 男女共同参画の推進体制が不十分(条例等制定になど)。 ・ 若者の地域公民館活動が少ない。 ・ 50、60代の活動に偏っている。 ・ 学習を個人から全体に広げていけな
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域(町)の活動に人が集まってくる。 ・ 老人の参加が多い。 ・ 高齢者の学習者が多い。 ・ 意識を持って学ぶ方は様々なところに参加している。 ・ スポーツに幅広く参加されている(マレットゴルフ場が充実) ・ 地域の文化財の紹介に努力している。 ・ 学習の機会が多い。 ・ 世代間交流の場がある(運動会や史跡めぐり)。 ・ 文化財を大切にしている。 ・ 地域文化への参加がある。 ・ 音楽活動(バッハの会など)。 ・ 岩波講座が開催されている。 	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶ人が固定化し、広がらない。 ・ 生涯学習推進員の力不足もあると思うが、推進員会が十分に生かされていない。 ・ 人権学習の参加者が他の学習会に比べて少ない。 ・ 委員など公募しても応募者が少ない。 ・ 意見が表に出ない(裏側では意見があるが)。 ・ 総論賛成・各論反対が多く進まない。 ・ どのように参画してよいのか分かっていない。参加の方法がわからない。 ・ 区長や分館長の仕事が多く、新しいことに挑戦できない。 ・ 学習する人の足を引っ張る人がいる。
<p>課題・問題、その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民参画 条例や人材バンクの設置。 ・ 20～30代の方が参加できる会議への工夫。 ・ 大笹街道と仁礼宿の整備活用。(仁礼地区だけでなく市全体で活用) ・ 総合体育館の建設。 ・ 海外の姉妹都市を増やし交流を広げたい。 ・ 百々川に小さな水力発電施設を設ける。 ・ 学習の仲間が増えていかない。 ・ 発表の場をより広く求めたい。仲間を増やしたい。 ・ 文化の薫る田園都市の提唱。 ・ 小串鉦山や米子鉦山を子どもたちの遠足場所にし、市民の宝としていく。 ・ 学習発表の場を、他の団体と連携してやりたい。 ・ 文化施設の自転車置き場に電灯をつけてほしい。 ・ 学習の成果をどのように地域に活かしたらよいか、わからない。 ・ 団塊の世代の地域活動参加意識を高めるのにはどうしたらよいか。 ・ 子育て学習を多くし、子どもたちの社会性を高めてほしい ・ 学ぶことは、教えてもらうことではない、子どもたちの自分でやること創造性を高めたい。 	

テーマ：「交通安全」

<p><u>良い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通指導員制度の充実。 ・ 地域の安協組織が充実している。 	<p><u>悪い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の道が覚えられない。 ・ 市内の地理不明。 ・ 高速道の側道。 ・ 長野電鉄の電車事故いたましい。 ・ 長野方面へ向かう自転車と車の接触事故。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p><u>課題・問題、その他意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活道路に通過車両が入ってくる。 ・ 交差点における交通事故 60%、交差点の改良必要。 ・ 高齢者の運転指導。 ・ シートベルト着用率の低下。 ・ 変形交差点が多く改良必要。 ・ 国道車線が狭く、朝夕の渋滞日常化。 ・ 歩道が狭い。

テーマ：「防犯」

<p><u>良い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロール、帽子の配布、声がかげやすい。 ・ 地域見守り隊が、各地区にあり、皆良くやっている。 	<p><u>悪い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街がさびしくなった。
<p><u>課題・問題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗、空き家が多くなってきた。 ・ 地域の組織が少なくなり、人と人との地域的つながりが薄くなっている。 	
<p><u>その他意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防犯で町の人が紙を入れていくがマンネリ気味。 	

テーマ：「消費者保護を考える」

<p><u>課題・問題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り込め詐欺や悪徳商法による被害。
<p><u>その他意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お年寄りが、急の訪問者と対応するため、相手の思いのまま契約させられる。

テーマ：「地域の防災を考える」

<p><u>良い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山あり水ありで環境は良い。 ・ 気象情報、行方不明者捜索に防災無線が有効。 ・ 新地域見守り安心ネットワークの全町作成。 ・ 56 災害を教訓に前向きに取り組んでおり、現時点良い体制になっている。 	<p><u>悪い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災マップが配布されない。(転入時) ・ 風雨の強い時、防災無線のスピーカー聞こえにくい、消防車等で広報を。
<p><u>課題・問題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災組織が各区にあるが十分に機能するか不安。 ・ 市・県などに頼りすぎ、各個人又は家庭の自立。 ・ 千曲川の水害対策。 	

- ・ 消防団の入団者減少。

第3ステージ(あるべき姿とその実現に向けた取り組み内容について)まとめシート

議題テーマ： 「自然環境」

理想像、あるべき姿、理念など

- ・ 須坂市の美しい自然環境とそのたまものであるおいしい水を守るため、里山や田園などの造り育てる自然とともに、市民みんなで守り、次の世代に引き継ぎます。

アイデアや手段、方策、実施事業など

(ア) 市民の取り組み

- ・ 市民みんなで管理する
- ・ 空地に、ひまわり、コスモスを育てる
- ・ NPO法人などを設立せる
- ・ 人工的な自然環境については、花いっぱい運動が自主的な市民活動になる

(イ) 共創・協働の取り組み

- ・ 美しい須坂の自然をそのまま次の世代に渡したい
- ・ 自然保全型の土木工事を行う(市民・行政)
- ・ 子供たちに自然環境の良さを理解してもらうため、講演会や体験会で環境意識を高める(市民・行政)
- ・ 自然環境保全地区を指定する(市民・行政)
- ・ 有害鳥獣が増えている

議題テーマ： 「市民参画(男女共同・人権)」

理想像、あるべき姿、理念など

- ・ 市民が主体となって、市民の意見を取り入れながら、自由で柔軟な活動。

アイデアや手段、方策、実施事業など

(ア) 市民の取り組み

- ・ 各々が人権感覚を高く持つ
- ・ 学習の場で人権学習の参加者が少ない
- ・ どんなふうに参加していいかわからない

(イ) 企業の取り組み

- ・ 男女共同参画推進体制が不十分

(ウ) 行政の取り組み

- ・ 人権同和問題学習会の義務化(形式的になりがち)
- ・ 男女共同参画推進体制が不十分
- ・ どんなふうに参加していいかわからない(広報を)

その他意見

- ・ 満足感を感じることでできる会
- ・ 出席者に出席の特典を与える。

議題テーマ： 「生涯学習（生涯学習の活かし方・発表・発表の場）（市民のつどい）（学習の成果）（年代）（仲間づくり）（スポーツ）（交流の場）」

理想像、あるべき姿、理念など

- ・ 生涯学習で学んだことを地域の連帯に活かしていく活動の推進。
- ・ 情報を簡単に共有できる仕組み。（地域の連帯感を育む活動の推進）

アイデアや手段、方策、実施事業など

（ア）市民の取り組み

- ・ 個人の学習になっており、地域の人たちを高めていけるような努力が少ない
- ・ 学習をしている人の足を引っぱっている人もいる
- ・ 市民のつどいが市全体のものになっていない
- ・ 市生涯学習推進員が十分に活かされていない

（イ）各種団体の取り組み

- ・ 個人の学習になっており、地域の人たちを高めていけるような努力が少ない
- ・ 学習をしている人の足を引っぱっている人もいる
- ・ 学習する人が限定されていて拡大されていない

（ウ）行政の取り組み

- ・ 個人の学習になっており、地域の人たちを高めていけるような努力が少ない
- ・ 市民のつどいに対する地域館の意識が低い
- ・ 市民のつどいが市全体のものになっていない
- ・ 市生涯学習推進員が十分に活かされていない

議題テーマ： 文化・芸術（地域の文化）（歴史・市関・郷土愛）（施設・環境）

理想像、あるべき姿、理念など

- ・ 地域の伝統の伝統・文化を積極的に発表できる場を設け、誇りを持てる環境づくり。
- ・ 地域・伝統・文化の記録を残し、次代につながる歴史・地域文化を掘り起こして伝えていく。

アイデアや手段、方策、実施事業など

（ア）各種団体の取り組み

- ・ 地域文化の継承者がなかなかいない

（イ）行政の取り組み

- ・ 地域文化の継承者がなかなかいない
- ・ 文化施設に飲食できる（食堂）スペースがほしい
- ・ 文化施設が市内にバラバラ

議題テーマ： 公民館活動（活動・活動発表の場）（地域の活動・地域の役員）

理想像、あるべき姿、理念など

- ・ 公民館は、地域活動の核で、情報発信地と地域活動の支援を行う場であり、
- ・ 市民とともに公民館をつくりあげていく。

アイデアや手段、方策、実施事業など

(ア) 市民の取り組み

- ・ 分館の活動役員が1年交代であること。前年踏襲の活動になっている
- ・ 地域公民館の地域への貢献が不十分
- ・ 若者の学習者や地域活動者が少ない

(イ) 各種団体の取り組み

- ・ 分館の活動役員が1年交代であること。前年踏襲の活動になっている
- ・ 地域公民館の地域への貢献が不十分
- ・ 若者の学習者や地域活動者が少ない
- ・ 役員の人固定化
- ・ 公民分館活動のため役員は大変、負担を軽くしてコンパクトに運営できる体制を考えたい
- ・ 区長、分館長の仕事、会議が多い

(ウ) 行政の取り組み

- ・ 分館の活動役員が1年交代であること。前年踏襲の活動になっている
- ・ 地域公民館の地域への貢献が不十分
- ・ 若者の学習者や地域活動者が少ない
- ・ 公民分館活動のため役員は大変、負担を軽くしてコンパクトに運営できる体制を考えたい
- ・ 区長、分館長の仕事、会議が多い

その他意見

- ・ ボランティア団体による活動

議題テーマ：交通安全理想像、あるべき姿、理念など

【道路計画】

- ・ 踏切の統合を進める
- ・ 道路案内（標識）の充実、分かりやすくする）

【交通安全指導】

- ・ 交差点の右折ラインの充実
- ・ 交通取締の強化

アイデアや手段、方策、実施事業など

【道路計画】

(ア) 企業の取り組み

- ・ 観光バスの駐車場
- ・ ガソリンスタンドに地図を置いてもらう
- ・ 電車と道路の立体交差

(イ) 各種団体の取り組み

- ・ 観光バスの駐車場

(エ) 共創・協働の取り組み

- ・ ガソリンスタンドに地図を置いてもらう

【交通安全指導】

(ア) 市民の取り組み

- ・ シートベルト指導の強化
- ・ 4 高校生の自転車交通指導
- ・ 除雪車と歩道の除雪

<p>(ウ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線道路と生活道路のバランスをとって進める ・ 右折専用レーンの設置 ・ 観光バスの駐車場 ・ 危険箇所道路の拡幅 ・ 大きな案内図の設置 ・ 生活道路の進入禁止規制 ・ ガソリンスタンドに地図を置いてもらう ・ 立体交差点、バイパスの普及 ・ 電車と道路の立体交差 ・ 国道、県道など幹線道路の整備拡幅 	<p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シートベルト指導の強化 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シートベルト指導の強化 ・ 高校生の自転車交通指導 ・ 除雪車と歩道の除雪 <p>(エ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シートベルト指導の強化 ・ 高校生の自転車交通指導 ・ 除雪車と歩道の除雪 ・ 道路の融雪設備 <p>(オ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪車と歩道の除雪
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

議題テーマ：防犯

<p><u>理想像、あるべき姿、理念など</u></p>	
<p>【地域防犯対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯パトロールの強化 ・ 通学路の街灯の充実 ・ 市街地に防犯カメラの設置 	<p>【街の空洞化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型の直売所 ・ 町の活性化
<p><u>アイデアや手段、方策、実施事業など</u></p>	
<p>【地域防犯対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共創・協働の取り組み ・ 街灯の充実(ソーラや風力発電の利用) <p>【街の空洞】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会など組織の活性化 ・ 市内の住民が商店を利用する ・ お祭や即売でにぎわす <p>(イ) 企業の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お祭や即売でにぎわす ・ 空家の調査と斡旋事業 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会など組織の活性化 ・ お祭や即売でにぎわす ・ 高校生ショップを開く(園芸高校性による野菜売りなど) ・ 空家の調査と斡旋事業 <p>(エ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生ショップを開く(園芸高校性による野菜売りなど) ・ 空家の調査と斡旋事業

議題テーマ：消費者保護を考える

<p><u>理想像、あるべき姿、理念など</u></p>	
<p>【悪徳商法対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談しやすい近所付き合い ・ 隣組のコミュニケーションを活発にする ・ 隣近所の付き合いを密にする 	<p>【過疎地域における消費者対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食材の活用 ・ 地域の行事や公民館活動の充実 ・ 高齢者の集いを多くする
<p><u>アイデアや手段、方策、実施事業など</u></p>	

<p>【悪徳商法対策】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的な情報の共有 ・ 理美容室など人が集まる所で口コミで情報を流してもらう <p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理美容室など人が集まる所で口コミで情報を流してもらう <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的な情報の共有 <p>(エ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的な情報の共有 ・ 理美容室など人が集まる所で口コミで情報を流してもらう 	<p>【過疎地域における消費者対策】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアで買い物をしてもらう ・ 宅配サービスの利用 ・ 移動販売車で過疎地を回る <p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宅配サービスの利用 ・ 移動販売車で過疎地を回る <p>(ウ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアで買い物をしてもらう ・ 高齢者の意見を聞く
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

議題テーマ： 地域防災を考える

理想像、あるべき姿、理念など

【組織と施設】

- ・ 近所隣りの火災、防犯防災点検
- ・ 隣組のコミュニティーを活用して連絡網の充実
- ・ 女性団員を増やす
- ・ 一人暮らしの人への防火、防災世話役
- ・ 防火体制の条件で地下式消火栓を全て地上式消火栓に切り替えること
- ・ 消防署・団の施設の充実、救急車の増、署員も積載車の増加
- ・ 河川の増水対策、総合の組織、情報、交通、消防、避難他
- ・ 防災意識を高める

【災害対策】

- ・ 山の手入れをする。下草を刈り林の中を明るくする
- ・ ヘリコプターの活用
- ・ 避難所 学校の教室を利用する
- ・ 都市計画道路の整備と拡充

アイデアや手段、方策、実施事業など

【組織と施設】

- (ア) 市民の取り組み
- ・ 隣組の防災活動と連絡網
- (イ) 各種団体の取り組み
- ・ 地元の消防団に必ず入るという決まりを作る
 - ・ 隣組の防災活動と連絡網

- (ウ) 共創・協働の取り組み
- ・ 自主防災組織の活性化

【災害対策】

- (ア) 行政の取り組み
- ・ 地下浸透型の用水路を造る

その他意見

- ・ 住民も色々な体験をして、煙の恐怖など知っておく

iii. 産業分科会

第2ステージ(須坂市の現状を知る、課題や問題の抽出)まとめシート

テーマ：「農業の活性化」

<p>良い点</p> <p>【もうかる農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個性的な農作物がある <p>【地産地消】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農と商の連携(村山早生ゴボウと市内商店)の試み <p>【フル-ツ王国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質の高い農産物が多い ・ 果実出荷量が全国で高位置にある ・ 地元果物の新商品の開発が活発 ・ 果物が豊富でおいしい 	<p>悪い点</p> <p>【もうかる農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業だけで生活していくのが難しい ・ 農産物の価格が自分で決められない <p>【後継者問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従事者の高齢化と後継者の不足 ・ 未婚者が多い <p>【地産地消】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者と消費者の連携を図ることが難しい <p>【遊休地問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休農地が多い <p>【緑の財産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山が荒れている
<p>課題・問題</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【もうかる農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド力を強化することが大切 ・ 減農薬、オ-ガニックの対応 ・ 高付加価値農産物の育成 ・ 生食から加工品の開発が必要 <p>【地産地消】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者の顔が見える野菜等を買いたい <p>【遊休地問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作放棄地の利用 ・ 市民農園の拡大 ・ 穀物生産への補助 ・ 耕作放棄地に対する相談窓口の設置 <p>【後継者問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業大学の県外者向け生徒募集 </div> <div style="width: 48%;"> <p>【緑の財産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材木利用の促進 ・ 里山整備の促進 ・ 山林の里親制度活用の促進 ・ 森林浴の促進 <p>【観光農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファ-マ-ズマ-ケットの新設 ・ インタ-チェンジを利用した販売戦略の検討 <p>【新たな農業形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業への資本参入の推進と不安 ・ コルホ-ズ・ソフホ-ズ方式の導入 ・ 直売方式による販売、管理の検討 </div> </div>	
<p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家は古いしきたりにこだわる ・ 農家は人情が細やか ・ 自然が豊かである ・ 市街地の住宅化と消毒の改善 ・ 農業は天候に左右されやすい 	

テーマ：「商業の活性化」

<p><u>良い点</u></p> <p>【魅力ある商店街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街によっては美しく整備され、 ・ テーマがあるように見える ・ スローライフに適している ・ 接客が親切である ・ 美術館、博物館等で年間をとおしてイベントを行っている ・ 高校生による活性化の取り組み <p>【個性的で特徴ある商店】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個性的なそば店が多い ・ 個性的な店が増えてきた <p>【お客様のニーズへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂は安くサービスは、まあまあである <p>【みやげ品、郊外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路の土日 1,000 円効果による県外客の増加 ・ 郊外店が元気である 	<p><u>悪い点</u></p> <p>【魅力ある商店街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街に人が歩いていない <p>【個性的で特徴ある商店】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特徴ある店舗が少ない ・ 個性的な店が長く続かない <p>【お客様のニーズへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買いたい商品がない ・ 喫茶店が少ない ・ 市街地の商店が少ない ・ 価格が高い ・ 安心して歩いて買い物ができない ・ 楽しく買い物を出来る商店街がない <p>【みやげ品、郊外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 須坂市を代表する土産品が少ない ・ 一大観光土産店がない ・ インターを活用していない ・ インター近くに道の駅がほしい
<p><u>課題・問題</u></p> <p>【魅力ある商店街づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャッターを閉じている店、地区が多い ・ 駐車場が少ない ・ 観光資源、観光客の活用（蔵の町並や自然資源） ・ 街を説明しにくい ・ 通過点になってしまっている ・ 大型店スーパーが多すぎる 	
<p><u>その他意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画等の見直し（臥竜公園内の建築規制） 	

テーマ：「工業の活性化」

<p><u>良い点</u></p> <p>【技術力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術力のある企業が多い。(2) ・ 地場で育った中堅企業がある。 ・ 高度な技術力を持った小規模企業が多くある。 ・ 企業努力により製造品出荷額が増えている。 ・ 信大遠藤教授の出身地、ノーベル賞候 	<p><u>悪い点</u></p> <p>【技術力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完成品工業が少ない。(部品加工) ・ 市内に下請けに出す企業が少なく技術の波及効果が少ない。 ・ 近くにあっても何を作っているか知らない。 ・ 技術力向上の研修が少ない。 ・ 大学がない。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>補</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金属加工が伸びている。 <p>【企業連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フルーツスイーツ研究会設立と菓子店との連携 ・ 市内に農業試験場等あり大いに利用できる。 ・ イノベート須坂の「ぶどう作業補助具」は商品として売れるのでは。 ・ 新連携事業は良い。 <p>【企業誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業の集積が特化している。 ・ インター須坂工業団地の完売 <p>【雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就業支援センターが駅前にあるのは良い。 	<p>【企業連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業間ネットワークがない。 ・ 人材不足 <p>【企業誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日滝原産業団地の分譲率が悪い。 ・ 企業誘致に問題あるのでは(中央とのパイプ) ・ 市外へ工場が流出してしまう。 <p>【富士通撤退】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士通が崩壊した。 ・ 過去に富士通に頼りすぎた。 ・ 富士通に替わる企業がほしい。 ・ 富士通撤退の影響は大きい。 <p>【雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景気が悪く、若年者、中高年者とも就職難。 ・ 失業率、求人倍率の低下 ・ 就職を考えると市内企業を受けようと思わない。(特に大卒)
<p>課題・問題</p> <p>【技術力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市独特の製品の開発 ・ 須坂発の新製品、新技術の合同開発 ・ 高技術者の育成 ・ eシャレットの実用化 <p>【雇用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハローワーク、ゆめわーくの活用を ・ 若い人が興味を持つ企業がほしい。 ・ 若年者の地元定着、Uターンを受け入れる ・ 企業の育成 	<p>【企業連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他産業との連携を密に ・ 技術者間の交流 ・ 工業関係の経営者等交流が多い。 <p>【企業誘致】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業団地に支店、出張所が多く本社機能が望ましい。 ・ 企業市内への誘致 ・ 水を使う企業の誘致 ・ 長野市のベッドタウンへの方向性 ・ 流通を考えた施策を。
<p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業課の独立は良かった。 ・ 工業課の役割が市民の立場から見えてこない。 ・ 工業出荷額低下による税収減。 ・ 出張パソコン教室は良いが、すぐ定員になる。 	

テーマ：「観光の活性化」

<p>良い点</p> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地、緑が多くきれい ・ 大自然をおおいに利用 	<p>悪い点</p> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 箱物から、もっと自然に力を入れてほしい。 ・ 自然を中心とした観光スポットであるが、どうかすると通過される市になっている。小布施。
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>した観光。立ち向かっていく街はダメ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誇れる自然。蔵の町並みがあること ・ どう結びつけるか？ ・ 米子の滝シャトル化（サミット開催） ・ 素晴らしい自然がある。米子の滝、扇状地景観など。 ・ 米子をもっと前面に出してほしい。 ・ 道路の改良も。 <p>【観光施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 須坂には観光の宝が山程ある。 <p>【食べ物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 須坂のみそすき丼が有名になってきた。 ・ 須坂の味噌のPR効果、知られてきている。 <p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一大果樹産地を大いに観光に使ってほしい。 ・ おいしい果物がある。 <p>【蔵の町並み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵など製糸業の産業遺産がある。 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 須坂動物園がハッチ効果で有名になった。 ・ マスコミに須坂が多く登場している。 	<p>【観光施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他と見比べるな。須坂人としての自信をもて！ ・ みんな中途半端。 ・ 観光資源をいかしきっていない。 ・ 臥竜公園、桜の時期、露天商多すぎる。雑然としている。 ・ 市民が一体となったサービス精神で観光客を迎える。 ・ 観光の焦点がぼけている。 ・ 全市的な祭りを。 ・ 観光客の受け入れが総合的に企画されていない。 <p>【観光案内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地が点・点で線で結べない。 ・ 観光ポイントが散らばっている。 ・ 観光地はあるがお茶など休める場所が少ない。 ・ 道路迷う客が多い。 ・ 観光案内板が不足 ・ 市外の人に場所の説明が難しい。案内を多く。 ・ 宿泊施設が少ない為通過型になる。 <p>【食べ物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物屋の休日が同じ。 <p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 果物など特産品を利用した観光農園が不足。 <p>【土産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 銘品が無い。 ・ 道の駅などインターの活用不足。 ・ 須坂の名産が不明確、特にお土産。 <p>【蔵の町並み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵の町倉敷等と比べ差別化するものが無い。 ・ 蔵の町と言っても場所が限定されていて統一感が無い。 <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハッチに頼りすぎ。
<p><u>課題・問題</u></p> <p>【自然】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山、森林をもっと利用して！ ・ トレッキング ・ 森林を活かした観光（森林浴等） ・ 楽しめる場所の整備 <p>【観光施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地（統計）に須坂温泉があって湯っ蔵んどがない？ ・ 市境には良いものが多いのに。 ・ 観光行政が統一されていない。 	<p>【食べ物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B級グルメの店のリストができないか。店が承諾してくれるか。 ・ これぞという食べ物が無い。開発が必要。 <p>【土産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅的なところがあれば。 ・ 須坂名物お土産は？アピール。 <p>【蔵の町並み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵の町並みを生かした観光推進。 ・ 蔵の案内などを掲示してみても？

<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の消費拡大策を講じる。 【観光案内】 ・ ひとつひとつの企画(場所)は良いのに継続性が乏しい。 ・ 田中本家の周りに他の観光施設、集客施設ができて相乗効果が出ないか。 ・ ひなまつりで市街地へ誘導する方法。 ・ 小布施のまねでない須坂らしさの発展を、迷路等。 ・ 観光ポイントめぐりの交通手段を。 	<ul style="list-style-type: none"> 【まちづくり】 ・ 道路を利用したまちづくりを観光に。 ・ 市内の人ももっと須坂の良いところをPRできるよう学習して！！ ・ 観光コーディネーター育成して。 ・ 歩いて楽しいまちづくり。 ・ 以前まち中に川を復活させようという話が駄目になった。何かを犠牲にしなければ進んでいかない。
<p><u>その他意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公的パンフは全店を入れなければならない。 ・ 駅前がさびしい。活気が無い？ 	

テーマ：「農商工観連携」

<p><u>良い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 【新たなる売場の充実】 ・ 市内の農産物+企業の商品が湯っ蔵んどで購入できる 【農産物の特化】 ・ 地域資源が多い(フルツ、味噌、滝、動物園、桜、峰の原高原等) 【食を中心とした連携】 ・ みそすき丼の存在 	<p><u>悪い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 【新たなる売場の充実】 ・ 人の集まる所にお店がない ・ 寄っと蔵いが土、日しかやっていない ・ ハッチ効果が活用されていない ・ 伝統野菜が地元で手に入りにくい 【農産物の特化】 ・ 市街地の蔵が商業に活用しきれていない ・ 須坂市に結びつく農産物がない 【情報発信】 ・ 情報があまり伝わってこない ・ 須坂発の情報が少ない ・ 農商工観連携の検討の場(戦略活性化会議等)の存在を知らない 【付加価値を高める】 ・ 農産物の加工場がない 【食を中心とした連携】 ・ 須坂の地場産品を販売する大きな施設がない 【市民もまきこんだ連携】 ・ 熱心に取り組んでも受け入れ体制、市民との連携ができていない ・ 市外に広めようとしてもまず市内の人々に知られていない ・ もっと住民のニ・ズと理解の上に立った連携をすべき
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

課題・問題**【新たな売場の充実】**

- ・ インタ - チェンジ付近に直売所が欲しい
- ・ ネット販売の充実
- ・ 販路の拡大
- ・ 博物館を物産館にしたらどうか
- ・ 道の駅の設置

【農産物の特化】

- ・ ブランド化の推進
- ・ 遊休農地を都市住民に貸与し、管理施設として別荘的な建物（一戸建て）を提供
- ・ 連携による特許、発明、新製品の開発を目指す
- ・ 農地の管理を地域住民に委託する

【食を中心とした連携】

- ・ 農業特産品を加工し、観光みやげで販売する
- ・ みそクレ - プを商品化したらどうか
- ・ 須坂スイ - トの商品化
- ・ ギャル米等、話題性につながることを検討したらどうか
- ・ 果物のセミドライを使った商品の開発と販路の開拓
- ・ 企画外の農産物のインタ - ネット販売の検討

【産業観光の連携】

- ・ 農業体験観光ツアー - の実施
- ・ グレ - パ - での取り組み連係を図る（観光農園で体験してみてもは）
- ・ みそ蔵や酒蔵を活用した産業観光

その他意見**【情報などの連携】**

- ・ 農商工観での研究成果を持ち寄れる場を多くしたらどうか
- ・ 商工会議所、観光協会、商店連合会、JAとの情報交換を密に行う

【市民もまきこんだ連携】

- ・ より魅力を感じるような商品の開発をし、人が買いたくなるような連携が図れればいい

【連携組織の在り方】

- ・ コンベンション会議等、一歩進めた組織体制にすべき
- ・ 農商工観の連携を問う前提として、各部門の特色を構築するべきだ
- ・ あれもこれもでなく1つに集中し、全体で連携すべきだ。

【付加価値を高める】

- ・ 高校と連携して付加価値を高める
- ・ フル - ツと同時に野菜も研究会を作る
- ・ みその活用
- ・ ワイナリ - が欲しい
- ・ 加工食品は無添加のものが人気がある
- ・ イベントではなく継続性をもたせることが大切

【その他】

- ・ 定住人口の増加を目指す
- ・ 生産年齢層の増加促進を図る

第3ステージ(あるべき姿とその実現に向けた取り組み内容について)まとめシート
議題テーマ： 「農業の活性化」

理想像、あるべき姿、理念など**【ブランド化の推進】**

- ・ 高付加価値・高級ブランド品の開発。
- ・ 大型ファ - マ - ズストア - の建設。

【地産地消の推進】**【遊休農地対策】**

- ・ 後継者のいない農地の集約化
- 【施設・組織（技術者）の活用】
- ・ 県農業関係機関・JAの活用

<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全でおいしい農産物の提供。 【担い手の育成】 ・ 若者が楽しんでできる農業。 ・ 休日や労働時間短縮の取り組み強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 【都市と農村の交流】 ・ グリーンツリズムの推進 ・ 食の姉妹都市の締結 【森林の活用】 ・ 里山の有効活用
<p>アイデアや手段、方策、実施事業など</p> <p>【ブランド化の推進】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高品質な農産物の栽培に取り組む ・ ホムペジ、インターネットを活用した販売 <p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者と連携した栽培技術の研究 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高付加価値の農産物の栽培 <p>(エ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者の所得向上につながる情報提供や補助制度活用のおよびかけ <p>(オ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路拡大に向けた協力体制の構築 <p>【地産地消の推進】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元農産物の購入 ・ 直売所の開設 <p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民に好まれる農産物の研究 ・ マーケティング戦略の研究 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元農産物の継続的な栽培 <p>(エ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元農産物の消費拡大へ向けたPR <p>(オ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路拡大に向けた協力体制の構築 <p>【担い手の育成】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手の受け入れ体制の構築 <p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 兼業農家の就労の場の提供 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手を支える協力体制の構築 <p>(エ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手の受け入れ環境の整備及び各種情報提供 <p>(オ) 共創・協働の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休農地を活用した農作物の栽培 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休農地を活用した協力体制の構築 <p>(エ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休農地解消に向けた各種施策の展開 <p>(オ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、関係機関一丸となつての協力体制の構築 <p>【施設・組織（技術者）の活用】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培技術の研鑽を深める <p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最新技術の研究及び提供 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 匠の技を大切にす取り組み強化 <p>(エ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業関係機関との連携を強化し、農家への情報発信 <p>(オ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域、関係機関一丸となつての協力体制の構築 <p>【都市と農村の交流】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流の場の設定 <p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流をサポートするようなイベントの企画 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な交流のパターンの研究 <p>(エ) 行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市と農村の橋渡しをする情報発信や各種取り組みの提案 <p>(オ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に応じた都市と農村の交流のあり方を研究する <p>【森林の活用】</p> <p>(ア) 市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 里山の有効活用を図る <p>(イ) 企業の取り組み</p>

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手を地域で支える体制の構築 ・ 【遊休農地対策】 (ア) 市民の取り組み ・ 遊休農地を作らない工夫 (イ) 企業の取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元産の木材の活用 (ウ) 各種団体の取り組み ・ 情報の共有化を図り、森林のより有効な活用方法の研究 (エ) 行政の取り組み ・ 森林の重要性のPRや地元産木材活用に対する支援を行う (オ) 共創・協働の取り組み ・ 森林を活用した地域づくりの研究 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

議題テーマ：「商業の活性化」

理想像、あるべき姿、理念など

【商店街の再構築】

- ・ 歩いて楽しいまち
- ・ 点と点の商店を人が歩いて線になる
- ・ 安心して過ごせる街
- ・ 市内になるべく公共施設をつくる
- ・ クーポン券ポイントカード

【商店の意識改革】

- ・ お客様本位の店舗運営
- ・ 物、情報、おもてなしを売る商業に生まれ変わる
- ・ 行って気持ちのいい商店
- ・ お客様ニーズへの対応（駐車場が狭く入りにくい、入ると買わなければ帰れない空気になるなど）

【個性的な店、専門店】

- ・ 特色ある専門店の一カ所集中、
- ・ 若者が集まる商店街（ファッション中心店、ロックが聴ける店など）

【古い商店（商店街）の再生】

- ・ 魅力ある商店街づくり（ショッピングセンターの改善）
- ・ ショッピングセンターの活性化（再生）

【土産品、特産】

- ・ 須坂の観光土産を一同に買うことができる
- ・ インター周辺の商業施設に活気がある
- ・ みそすき丼

アイデアや手段、方策、実施事業など

(ア) 市民の取り組み

- ・ 【商店街の再構築】
- ・ 買いたい、歩きたいの商店街づくり
- ・ クーポン券やショップカードを発行する
- ・ 事業者の意識転換【商店の意識改革】
- ・ お客様が自分で造って楽しめる店（焼物、機織りなど）【個性的な店、専門店】

(イ) 企業の取り組み

【古い商店（商店街）の再生】

- ・ 須坂「青空」ショッピングセンター（建物を解体し市場のような商店街にする
- ・ 村山旧ジャスコの活用
- (ウ) 各種団体の取り組み
 - 【商店街の再構築】
 - ・ 活力ある楽しい商店街道
 - ・ 市内商店街相互の情報交換の場
 - 【土産品、特産】
 - ・ みそすき丼の弁当、店舗を増やす
- (エ) 行政の取り組み
 - 【商店街の再構築】
 - ・ 散策できる銀座通りのようなまちづくり
 - ・ 商業誘致
- (オ) 共創・協働の取り組み
 - 【商店街の再構築】
 - ・ 町の中一カ所だけでも特色があり、観光客がくる場所をつくる（川の利用）
 - ・ 蔵の町並み散策する人を増やし、活性化を図る。
 - ・ 蔵の活用、駐車場・空地の憩いの場づくり
 - ・ ポイントカードで商業、福祉、ボランティアなどが連携
 - 【商店の意識改革】
 - ・ 事業者の学習の機会、成功事例の研修視察
 - ・ 消費者との意見交換会の開催（トーク、しゃべりの場など）
 - 【個性的な店、専門店】
 - ・ 専門店を増やす方法
 - ・ 須坂ならではの個性的な店の連携
 - ・ フルーツスイーツコンテストの結果を活かした商品づくりとPR

その他意見

- ・ 専門的マニアックな店の市内への引き込み（補助金を出して）
- ・ 旧市街地にこだわりすぎない

議題テーマ： 「工業の活性化」

理想像、あるべき姿、理念など

- 【企業誘致】
- ・ 製糸業で栄えたノウハウを研究しそれを生かした工業誘致
- ・ 大企業の誘致による工業の活性化
- ・ 特産品が利用できる工場誘致
- ・ 大手製造業の誘致(富士通跡地)
- 【企業連携】
- ・ 市内及び市内周辺企業間の連携
- ・ 絹の町といわれた須坂、それに変わる須坂の特色ある企業の集約化
- 【製品開発】
- ・ 富士通撤退後、完成品につながる金属加工(金型ほか)が伸びている。
- ・ 大口の部品づくり対応ができる。
- 【技術力】

- ・ 技術者連携体制の確立
 - ・ 遠藤教授(カーボンナノチューブ)の技術を活用
 - ・ した企業の創出、工業の活性化
- 【雇用の創出】
- ・ 新卒者のUターン促進

アイデアや手段、方策、実施事業など

(ア)企業の取り組み

- ・ 市内企業が連携し技術や部品を組合せて一つの製品をつくる。【製品開発】
- ・ 企業合同によるプロジェクト
- ・ 市内にある各企業の技術を持って須坂発の新製品の開発【製品開発】
- ・ 自然素材の発掘とそれを利用した製品開発【製品開発】
- ・ 農業省力化と併せ、農業機械化製品の開発【製品開発】
- ・ 企業による製造過程見学ツアー実施(商工観の連携)

(イ)各種団体の取り組み

- ・ フルーツスイーツ受賞者作品の商品化【製品開発】

(ウ)行政の取り組み

- ・ インターネットの活用と誘致企業への特典をつける。【企業誘致】
- ・ 県や関係団体との連携、規制緩和【企業誘致】
- ・ 荒廃地等の利用につなげる。【企業誘致】
- ・ 工業用水の確保(水道料金の減額)【企業誘致】
- ・ 日滝原産業団地への誘致と利用方法の検討【企業誘致】
- ・ Uターン者に祝い金を差し上げる。【雇用の創出】
- ・ 企業共同出資の奨学金制度の創設【雇用の創出】
- ・ 転出する高校卒業者に対して「転出税」を課し、戻れば金利上乗せで返す。【雇用の創出】

(エ)共創・協働の取り組み

- ・ 企業、農家、市民がアイデアを出しフルーツや野菜を利用した加工工場の設立【企業連携】
- ・ フルーツスイーツ研究会の設立【企業連携】
- ・ 総合高校と企業、技術情報センターの連携による技術者の養成

その他意見

- ・ 富士通の跡地利用の問題
- ・ 大学、専門学校の充実
- ・ 求人倍率アップ

議題テーマ： 「観光の活性化」

理想像、あるべき姿、理念など

【観光のイメージ】

- ・ 他市のまねでないまちづくり、本当の須坂らしさ。
- ・ 将来像、歩きがテーマとしての開発。
- ・ 須高全域の連携した観光行政。
- ・ 須坂、小布施、高山の3市町村が一体となった観光客誘致(相互協力)

- ・ 高山村との合併と連携。
 - ・ 自然と蔵のまちを須坂の観光の中心として展開。
 - ・ 須坂の歴史を認識。物語化する。
 - ・ 何回も行ってみたいくなるようなサービスの提供。
- 【蔵の町並み】
- ・ 蔵のまち須坂を散策する観光を推進。
 - ・ 蔵のまちをゆっくりあるいて歩いて散策できるまちづくり。
- 【自然】
- ・ 臥竜公園のシンボル化。
 - ・ 春夏秋冬に咲き誇る植物公園。
 - ・ 動物園と遊園地の充実。
 - ・ 米子大瀑布の整備促進と日本の滝 100 選サミットの開催。
 - ・ 自然環境を守り道路交通の整備開発をする。豊丘ダム～群馬へロープウェイ。
- 【観光施設】
- ・ 大形観光施設（道の駅的）。
 - ・ 物産館を作った方が良い。
 - ・ 土産品の開発（農商工連携）。
 - ・ 市内の観光施設の集約ができないか（回るのに時間がかかりすぎる）。
 - ・ 観光の宝を点から線・面にしていく。
- 【農商工観連携】
- （農との連携）
- ・ クラインガルテン。
 - ・ グリーンツーリズム。
 - ・ 農と観光の果物、グルメツアー（季節ごとに）。

アイデアや手段、方策、実施事業など

- 【観光活性化のためには】
- (ア) 市民の取り組み
- ・ 観光関係者以外のおもてなしが大事。
- (イ) 企業の取り組み
- ・ 観光ポイントめぐりのバスの運行（迷路めぐりバス）。
- (ウ) 各種団体の取り組み
- ・ 大笹街道等を利用した自然体験型の宿泊客の受け入れ。
 - ・ 農業者も楽しみ、観光関係者も楽しみ、須坂のPRにつながる。
 - ・ 体験型農業、オーナー制度、山の木、きのこ、みそづくり体験。
 - ・ みそすき丼を須坂のB級グルメとする。
- (エ) 行政の取り組み
- ・ 観光地点の点と点の間に案内板の設置。
 - ・ 臥竜山の活用、展望台、北信地区、アルプスを一望できる様に、夕日のきれいな山。
 - ・ 観光物産センター（名物、特産、土産、一か所で買える所）。
 - ・ 米子大瀑布へ歩けない方も行けるようにする。
- (オ) 共創・協働の取り組み
- ・ 一般市民より公募で特産品に付加価値をつけた銘品をつくる。
 - ・ 観光のメインづくり（米子大瀑布）全国レベルの観光地。

- ・ 蔵のまちの歴史（まゆぐら、ぼたもち石など）をもっとアピールして周知させるべき、アピール方法見直し。
- ・ 蔵のオープンスペース化（共同化）、地元住民が頻繁に使える施設化。

その他意見

- ・ 桜、滝、蔵の動き、表現。
- ・ ハッチ効果の利用、食べ物分野（ハッチ定食、クラッチ定食）
- ・ 蔵のまちのアピールはやめて他に重点を置くべき、他の全国の蔵づくりのまちにかなわない。
- ・ 観光の須坂のポイントが何か？つかめない。
- ・ 行き止まりが多い。
- ・ あまり手を加えない観光（米子大瀑布、臥竜山、峰の原）
- ・ 臥竜山の桜、全山に植林（日本の桜 100 選サミット）
- ・ 観光案内の機能、観光案内所、コンビニ、GS。

議題テーマ：「農商工観連携」

理想像、あるべき姿、理念など

【食を中心とした連携】

- ・ 地元農産物を加工し、みやげ物として販売。
- ・ 農家、企業、商店が連携して商品開発及び販路の拡大。
- ・ 須坂スイートの商品化。

【産業観光の連携】

- ・ 農業体験、観光ツアーの実施。
- ・ みそ蔵、酒蔵を活用した産業観光。

【連携のあり方】

- ・ 既に連携できているものを推進する。
- ・ 各産業間の特色を構築。（コンセプトの明確化）
- ・ 関係者の情報交換の強化。

アイデアや手段、方策、実施事業など

【食を中心とした連携】

(ア) 市民の取り組み

- ・ 魅力ある食品の製造。

(イ) 企業の取り組み

- ・ より付加価値の高い食品の開発。

(ウ) 各種団体の取り組み

- ・ 多様な食品の開発。

(エ) 行政の取り組み

- ・ 各種情報提供やPRの推進。

(オ) 共創・協働の取り組み

- ・ 販売戦略の構築

【産業観光の連携】

(ア) 市民の取り組み

- ・ イベント等の企画。

(イ) 行政の取り組み

- ・ 補助制度の検討や情報発信。

(オ) 共創・協働の取り組み

- ・ 協力体制の構築。

【組織のあり方】

(ア) 市民の取り組み

- ・ 協力体制を築く意識の構築。

(イ) 企業の取り組み

- ・ 技術的な知識の提供。

(ウ) 各種団体の取り組み

- ・ それぞれの団体のもちあじを組み合わせる。

(エ) 行政の取り組み

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・ 受け入れ体制の整備 <p>(イ) 企業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 個人では難しい部分をカバー。 <p>(ウ) 各種団体の取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none">・ 各組織の調整役を担ったり、各種情報の提供。 <p>(オ) 共創・協働の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ コンセプトをはっきりさせ、協力体制を構築。 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

iv. まちづくり分科会

第2ステージ(須坂市の現状を知る、課題や問題の抽出)まとめシート

議題テーマ： 景観育成

<p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 五味池高原の景観が良い ・ 芝宮八幡神社等、わりと大きな神社があり良い ・ 市内から見る北信五岳がすばらしい ・ 河川敷の桃畑の風景が良い ・ 臥竜公園の桜の下で楽しめる ・ 神社の大樹が趣きがあってよい ・ 扇状地形がわかり易い ・ 須坂病院上の広場が広くて良い ・ 道路横に花壇があり、花が咲き美しい ・ 良い水辺を更に生かして ・ 坂の町を生かして歩いて楽しい 	<p>悪い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街路樹が小さく緑が少なすぎる ・ 河川に草が多く茂り、美観を損なう ・ 幹線道路沿いの看板が乱立して見苦しい ・ 臥竜公園は良いと思うが、池の水が汚すぎる ・ 土蔵造りの町並みと他の土蔵造りの町並みとの間に ・ 空白がある ・ 百々川の水の色が茶色で好きになれない ・ 市内を流れる水が汚い ・ 電柱が標識でごちゃごちゃしている ・ とても良い景観があっても、見る位置からは電柱が邪魔になる。移設等検討できないか
<p>課題・問題</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【蔵のまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閉店となった市街地の蔵づくり家屋は看板等はずして土壁を出す ・ 蔵の町のアピール（建物の導入等） ・ 須坂市の水田を利用してアート作り、稲を利用しての浮世絵作り ・ 町並みの美しい銀座通りを人がゆっくり歩けるように ・ 道路整備の際、ばたもち石は下まで出す ・ 景観の良いところをもっとPRして欲しい（マップ） ・ 電柱の地中化 ・ 住宅街が均一で面白みがない </div> <div style="width: 48%;"> <p>【水】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚が住める川にしたい ・ 魚が住める川を街中に ・ 街中の川に水を ・ 坂の中に水を流してほしい ・ ばたもち石の通りは、水路を整備して臥竜公園から魚を持って来て、泳がせる </div> </div>	

その他の意見

【道路】

- ・ 須坂市内の道路が狭いのは常に言われている
- ・ 主要道路の舗装の色を分けて欲しい（迷う人が少なくなる）
- ・ 駅前通りが広くなって良い
- ・ 市内（市街地）の歩道を広く
- ・ 市内の雪の凍結の件 融雪パイプの設置
- ・ 都市計画道路 買物できる道路 通過の車はバイパスを
- ・ 広い道路（歩道）ベンチを置いては如何？
- ・ 街路樹の手入れ 住民 or 行政？

【公園】

- ・ 大きな神社を利用して公園
- ・ 百々川の河川敷を充実させて
- ・ 緑地公園の利用方法（マレットのみでは）
- ・ 臥竜山の桜祭りの活性化を計りたい

【土地利用】

- ・ 道路が広がって駐車場になってしまった
- ・ 都市計画の見直し

【その他】

- ・ イベントの際、夜店・各個人的の出店を図る
- ・ 坂を利用してソーメン流し
- ・ 河川を利用して、釣り堀の施設作り
- ・ 郊外の農作物販売店が出来るように
- ・ 良い家・庭のマップなどを作る
- ・ 市内が一望できる展望台をつくる
- ・ 各家庭に家庭菜園を！

議題テーマ： 土地利用のあり方

<u>良い点</u>	<u>悪い点</u>
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンパクトシティが良い ・ 交通の便が良い ・ 地元野菜が購入できる ・ 河川敷が公園に利用されている(マレットゴルフ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地に空地・空屋がある ・ 利用できない土地がある ・ 空地が駐車場となってしまう ・ 荒廃農地が多い、増大している ・ 若者が集まる場所がない(ボーリング・ゲームセンター・カラオケ) ・ 農振、都計法が時代にあっていない

課題・問題

- ・ 空屋・空店舗の活用
- ・ 市街地の空地対策・・・赤線の払下げ、利用法
- ・ 人口減少による対策 市街地の利用

人口増への対策

【農地の有効利用】

- ・ 調整区域の規制あり、農振地域の見直し
- ・ 遊休荒廃農地対策 荒廃農地の市の買いとり
荒廃農地にしない
荒廃農地の畑の利用
農地の有効利用
- ・ 都市計画の見直し・・・用途

その他意見

- ・ 有害鳥獣対策・・・電気柵にかわる対策
・・・羊ややぎの貸出し
・・・こしょーなどの植栽
- ・ 傾斜地を利用した水力発電
- ・ 交差点は見通しの良い空間の確保

議題テーマ：快適環境【上下水道】良い点

【上水道】

- ・ 水道水がうまい
- ・ 水道料金が安い
- ・ 断水がない
- ・ 蔵水がおいしい
- ・ 坂田浄水場の歴史ある建物が良い(歴史遺産として保存を)

【下水道】

- ・ 環境が良くなった

悪い点

【上水道】

- ・ 朝一番の水がまずい
- ・ PHの低い水の水質改善

【下水道】

- ・ 水洗化されてない所の側溝が汚い

課題・問題

【上水道】

- ・ 計画的なビジョンの策定(安全・安定・安価)
- ・ 災害時に強い水道に
- ・ 緩速ろ過方式の浄水場にしてほしい
- ・ 蔵水のPRを

【下水道】

- ・ 水洗化の促進
- ・ 維持管理

議題テーマ： 道路・交通【快適安全な道について】

良い点	悪い点
<p>【歩道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備され町が明るくなった。 ・ 通学路の整備が進んできた。 ・ 銀座通りが歩道系となり良い。 <p>【案内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅から市街地への道案内が見やすくなった。 <p>【景観】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前通りを駅に向かって見ると、北信五岳が良く見えるようになった。 ・ 国道406号と峰の原地区、仁礼～峰の原高原間の整備がされ良い。 ・ 景観に配慮された道路が多くなってきた。 ・ 町の中の細い道が残って良い。 ・ 郊外で生垣等、景観として見れる所がある。 ・ メセナ～屋部郵便局の道路の雰囲気が良い。 <p>【インター周辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターを出て、中島～村山へ出る道路が広くて良い。 <p>【街路樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の横に大きな桜の木があり(望岳台・野辺)美観が良い。 	<p>【歩道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路で歩道のない道がある。 ・ 歩道が狭い。 ・ 点字ブロック 統一。 ・ 市街地の歩道の整備が不十分。 ・ 段差があり歩きづらくあぶない。 <p>【案内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米子不動や破風高原への道案内が不親切(不足) ・ 案内標識の設置。 <p>【除雪】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路肩の除雪が不十分。 <p>【交差点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 右折帯をつくってほしい。 ・ 事故多発の交差点の改良。 ・ 406号北横町～村山橋の交通渋滞。 ・ 変則交差点の改良。 <p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通過交通は郊外を通してもらいたい。 ・ スクールゾーンが明確になっていない。 ・ 道路はむやみに広げないでもらいたい。 ・ 昔の都市計画は時代に合うように見直してもらいたい。 ・ 米持橋を渡ってカーブの場所の見通しが悪い。 ・ 自転車道の整備(エコロジー化に伴う脱モータリゼーション) <p>【街路樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹のまわりの土の部分が少なすぎる。 ・ 視界をさえぎっている。 ・ 通りごとに異なっていて見苦しい。

課題・問題**【歩道】**

- ・ 歩道改善の優先順位は？

【除雪】

- ・ 高山村並みの除雪をしてほしい。
- ・ 歩道が雪の山になってしまい歩けないところがある。

【交差点】

- ・ インターを出て長野方面へ行く間の左折の有効活用。

【交通】

- ・ 野球場、県民運動場の道路が混雑し駐車場が少ない。
- ・ 拡張だけでなく小路も残してほしい。

【インター周辺】

- ・ 九反田の西側の道がインターを抜ける道となって非常に危ない感じがする、対策を。
- ・ インターを出て右折して狭くなっている箇所があり大変不便。
- ・ インターから屋島橋間について、北側地区の流入路線がほしい。

【街路樹】

- ・ 植樹帯の管理を地元住民にゆだねるシステム作り。
- ・ メイン道路のみ街路樹の種別を変えてはどうか。

その他意見

- ・ 農村部の道の街灯が少ない
- ・ 住宅地内の道路、スピード違反が多い。
- ・ 工事のあとの舗装の補修が悪い。

第3ステージ(あるべき姿とその実現に向けた取り組み内容について)まとめシート
 議題テーマ：「快適環境」

理想像、あるべき姿、理念など**【上水道】**

- ・ 安心して水が飲める
- ・ 蛇口をひねると安全な水が豊富に出てくることを意識しないでいられる
- ・ 「須坂の水はおいしいね」と言われるようにする
- ・ 水道料金が安い
- ・ 水源地の保全ができています

【下水道】

- ・ 下水道整備を早急にする
- ・ 公共水域の環境保全ができています

アイデアや手段、方策、実施事業など**【上水道】**

企業の取り組み

<ul style="list-style-type: none">・ 水道水を使った冷房・冷却機器の開発をする・ 水源地近隣での陸砂利採取をやめる・ 水に付加価値を付けて販売する <p>行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害に強い施設整備をする・ 水に付加価値を付けて販売する <p>【下水道】</p> <p>市民の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 河川・水路に汚水を流さない <p>行政の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none">・ 災害に強い施設整備をする・ 下水汚泥の有効利用を考える
<p><u>その他意見</u></p> <p>【上水道】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 水を利用した流しそめん大会を開催する・ 水のおいしい場所マップを作成する <p>【下水道】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 水がきれいになった水路に水車等を復活させる

議題テーマ： 「公園のあり方」

<p><u>理想像、あるべき姿、理念など</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 幅広い世代が利用でき、集う公園である・ 駐車場、トイレ、遊歩道が整備されている公園・ どこにでも公園があるまち
<p><u>アイデアや手段、方策、実施事業など</u></p> <p>【市民の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 行事も良いが、自然の中でゆっくり静かに過ごせる空間も必要・ 臥竜公園のもみじの案についてオーナー制で植える <p>【企業の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 動物園に常設の食堂、土産屋...滞在時間が延長する・ 運動広場の近くに物産センターを作ったらどうか？ <p>【各種団体の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 神社、寺等公園として整備・ 植物層を守る・ 井上の桜の山を里山公園として市全体で整備PRを！・ 臥竜山の遊歩道を新しいものにする・ 年間を通し、花がいつもある様に池と調和する様に・ 臥竜公園の雑木をもみじに変えてほしい <p>【行政の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 公園に案内標示・・・駐車場・トイレの位置など方向

- ・ 小さな公園の整備・・・利用からの見直し
- ・ 市街地の公園ということで、水路のある（池など）公園を
- ・ 北部地区にもある程度大きな公園（緑地）があったらよい
- ・ ポケットパークは計画的にしかも残地で造るものではない
- ・ 街中に小公園を多くつくる
- ・ 水辺で遊べる公園
- ・ 鮎川、百々川に親水公園を充実させる
- ・ 臥竜公園の北側駐車場を造り、臥竜山周辺の道路を整備して北側からのアクセスを！
- ・ 臥竜山の自然をもっと市民にアピールする必要がある
- ・ 臥竜山は整備するのではなく、自然を生かす（雑木が似合う）
- ・ 臥竜山山頂へのトンネルを作る
- ・ テニスコート、駐車場を移設し、南側の施設を充実させる
- ・ 公園（臥竜公園など）弱者用の車が欲しい...老人、障がい者用
- ・ 親水公園は廃止し、元のアヤメ池にする
- ・ 臥竜公園の駐車場の整備と駐車場から公園までのアクセス道路を楽しいものに
- ・ 淡水の水族館をもっと大々的に（ビオトープを含め）作ってほしい
- ・ 水族館は廃止し、他の用途に！ ジオラマ館等
- ・ 水族館に釣り堀りの施設を作ったらどうか
- ・ 公園に来ても駐車場が足りないので、南側(百々川)の中に駐車場を造成を
- ・ 河川敷の中をスポーツの出来る施設を整備してもらいたい
- ・ 公園内事務所を臥竜公園に馴染んだデザインのものに建物を新築してグレードアップを
- ・ 竜ヶ池の水を抜いて、子供たちに魚のつかみ取りを何年かに1度してもらいたい

【共創・協働の取り組み】

- ・ 昆虫採取が自由にできる公園
- ・ 坂をキーワードにレンタサイクルを
- ・ ローターを活用した交通や公園づくり
- ・ 街中の空地・空き駐車場は全て緑地化し、公園にしてしまう（トイレ付）
- ・ 須坂病院上の公園に水辺があったり木陰があったりすればよい
- ・ 高齢化が進み草が伸び放題
- ・ ビオトープをつくり、自然との触れ合いの場を設ける
- ・ ポケットパークにクラスイ(泉水)、水の音(せせらぎ)、草花、小石の風景
- ・ ポケットパークに水辺をつくって水遊びもできる。
- ・ 公園単独ではなく、周辺と連携した賑わいを作る
- ・ 花見時期の臥竜公園～遠藤酒造～田中本家のように（通年）
- ・ 臥竜山山頂へケーブルカーを通して集客する
- ・ 春のお花見シーズン以外の時の行事...新しいものがない、菊花展もマンネリ化

その他意見

- ・ 人が集まる公園にしてほしい...ハッチブーム、大型遊具の設置
- ・ 子供が主体の公園

- ・ サイクリングロードがあればいい
- ・ キャンプやバーベキューが出来る場所が欲しい
- ・ 創造性が発揮できる公園・・・養老天命反転地、造作が自由にできる
- ・ ポケットパークの椅子が石なので木にしてほしい
- ・ 憩いの場である・・・自然に囲まれて気軽に出かけられる
- ・ 市街地に広い公園がない・・・年寄りでも気軽に楽しめる場
- ・ どこにでも公園がある（憩いの場）
- ・ マレットの人たちが、子供たちを邪魔にする・・・利用者のマナーの問題
- ・ 鮎川ホテル・・・自然を維持する環境

議題テーマ： 「道路・交通（快適安全な道について）」

理想像、あるべき姿、理念など

・

アイデアや手段、方策、実施事業など

【市民の取り組み】

道路

- ・ 車のスピード制限。
- ・ 道路案内板でなく目じるしになるものを置く。（須坂由来のもの）

歩道

- ・ 雪かきの雪を道に出さない。

中間（その他）

- ・ 該当なし

【企業の取り組み】

道路

- ・ 電柱を道路から離して民地へ移動させる。
- ・ 電車の踏切をもっと目立つようにする。
- ・ 市内運行バスの見直し。
- ・ 道路に電柱がない。

歩道

- ・ 歩車道ブロックの上にキャッツアイを設置。
- ・ 横断歩道の夜間灯を設置。

中間（その他）

- ・ 踏切の改良をしてほしい。
- ・ 道路添の電柱をカラーに・・・。景観上、周囲の風景にマッチした色。
- ・ 景観のよいところに唯一、電柱・電線があるとの気になる話あり。
- ・ 主要な電柱をカラーにできないか。
- ・ 都市ガスの整備がされ

【各種団体の取り組み】

道路

- ・ 該当なし

歩道

- ・ 歩道にベンチ

中間（その他）

- ・ 八幡の交差点、マツヤの交差点、緑地帯があるけど意味がない。

【行政の取り組み】

道路

- ・ 交差点の右折ラインの設置を早くする。
- ・ スピードを出させないためにメロディー道路にする。
- ・ 道路案内に色分けして目的地へ進める道。
- ・ 四ツ角の道路に点滅の信号を付ければ事故がへると思う。
- ・ 町中の道路に、走る車の速度は出さないように。(スピード制限)
- ・ 高齢者が増えるにつれ道路の広さが求められる。
- ・ 古くからの団地道が狭く車が止まると人が通るのがやっとなのである。
- ・ 透水性道路の整備。
- ・ 死角の所はミラー設置をお願いしたい。
- ・ 相之島附近での千曲川橋建設で長野北部と結ぶ道路づくり。
- ・ 交通量の多い交差点は3車線化し、渋滞をなくす。
- ・ 通過車両に対応した道と市街地の歩行者も含め道と区別された道づくり。
- ・ インターから降りた時、県道との接続で渋滞が起きず、スムーズに市内へ入り込める。

歩道

- ・ 全市に老人の歩く道に対して整備が必要(標識等)
- ・ 歩道ブロックをもっと楽しいものに。
- ・ 安心して歩ける歩道、観光に適した道。
- ・ 高齢者が安心して歩ける道路。
- ・ 歩道が少ないためグリーンベルトを多く設置していただきたい。
- ・ 自転が通れる道を充実したら。
- ・ 歩道の凸凹をなくす。

中間(その他)

- ・ ゴミ投棄(側道)防止に防犯カメラ設置。
- ・ 理想と思える様な実験道をつくったら。
- ・ 案内表示は景観に合わせながら、わかりやすく。
- ・ 駅前の防犯のカメラの報告、目的地の矢印の表示。
- ・ 町がきれいだと観光客から良いと言われる。
- ・ 理想の道路を1か所造ってみる(憩い、景観、歩いてみたい)
- ・ 神社、お寺の話題が高まったが、その関係を略図に簡単なマップを作成してはいかが。
- ・ 歩道、自転車道、車道がはっきり分かれている道路。
- ・ 市内に道路案内図を多く設置する。
- ・ 道路整備計画の早期な実現。
- ・ インター周辺に大きな立看板(ゴミ等の問題)
- ・ 通学路、歩道が車道と分離されている。

【共創・協働の取り組み】

道路

- ・ 本来商店が建つべき所に住宅が建ち、周囲をブロック塀で囲んでいるのは、町並みの連続性を阻害している。
- ・ 交差点角地の申請建築について見直しては。
- ・ 市街地の道路を対面通行ではなく、上下通行を完全分離する(歩道の拡大)

etc が可能)
歩道
<ul style="list-style-type: none">・ スクールゾーンの表示は標識だけでなく路面表示も考える。・ 街路樹をかざりの高さでなく、陽陰になるような高さにする。・ 歩道に須坂らしいゴミ箱を。
中間(その他)
<ul style="list-style-type: none">・ 須坂 IC に観光案内所を設置する。・ 臥竜公園からのサンセット(ベストの場所指定してもっと PR してはどうか)・ 平設している水路と立体的に。・ 商店街に街路灯を設置しているが、他の照明方法を考えてらどうか(目ざわり)・ 歩車道の高低差検討。・ 市内夜間スピード規制 30 km/h にして騒音防止してもらいたい。・ 貸自転車を古自転車(乗り捨車)を利用して 置く場所を指定 始点と終点。2カ所 空地利用

議題テーマ： 「景観育成」

<u>理想像、あるべき姿、理念など</u>
<ul style="list-style-type: none">・ 水を生かした景観が形成されている・ 電柱・外灯が景観上支障がない・ ストリートファニチャーを上手く生かした景観となっている(ベンチ、街路樹、花壇、案内板)・ 看板が統一された景観となっている・ 坂を生かした景観となっている・ ビューポイントが大切にされている
<u>アイデアや手段、方策、実施事業など</u>
【市民の取り組み】
<ul style="list-style-type: none">・ 蔵の町・土蔵の脇に植栽をしてはいかが？・ 桃畑が維持されている・ 各家庭に菜園をもつ、ゆとりある町・ 河川の中の雑草の整備・ 百々川の名称を変えて「ももえ川」に変更したい・ 街路樹管理・ 市民がビューポイントを共有している・ 蔵造りの町並みが少ない、中途半端である
【企業の取り組み】
<ul style="list-style-type: none">・ 町の主要道路の電柱をカラー化(通り等)出来ないか・ 空いた店を活用して、すき間をなくす工夫(行政の手助けを、シャッターアート等)・ 銀座通り付近に 20 階位の集合ビルがほしい・ 道路沿いの看板を集合看板に出来ないか

【各種団体の取り組み】

- ・ 蔵造りの建物、歴史的遺産を後世に伝えていく = 町中の景観保持
- ・ 景観・自然を感じる感性を育てる人づくりが大事
- ・ 道路横・花壇及び果木がよく手入れされている
- ・ 景観マップを作成してPR
- ・ 自然と人工物の調和を図り、地域の人たちに自覚をうながします
- ・ 皆がきれいだなと思う花（壇）づくりを進めていく

【行政の取り組み】

- ・ 須坂IC（玄関口）に須坂を象徴するものを設置する
- ・ テーマパーク的な景観育成ではなく、市民生活に基づいた景観育成を図るべき
 - ・ = 蔵の町にこだわるべきではない
- ・ 臥竜山に展望台を設けてはどうか
- ・ 須坂の（行政）サンセットを北信五岳の良い場所など観光地図に落とししたパンフレット
- ・ があれば良い
- ・ 農振地域の地図を一般市民にPRして欲しい
- ・ 規制すべき地区とフリーの地区を限定的にして開発
- ・ 蔵造りの建物にお金を注ぎこんでいる
- ・ 駅前通りの（末広町）が広がって見通しが良くなった
- ・ 町内全体に生かしてほしい
- ・ ベンチを統一したものにしていく、須坂に関連してデザインを
- ・ 景観・環境問題で先進的なドイツ等に市の職員を派遣して、市の為に学んできてほしい
- ・ 道（歩道）にベンチを計画的にそれも須坂としての特長あるもの
- ・ プレイロット（プレイロットとは比較的狭い遊び場のこと）
- ・ ベンチも須坂らしいデザインを考えたらどうか

【共創・協働の取り組み】

- ・ 魚が住めるきれいな水の川があたりまえ（普通）という観点が大事である
- ・ 臥竜公園の桜がとてもきれいだ、水が汚すぎる
- ・ 須坂の自然が生かされるまちづくりをします（扇状地）
- ・ 東側の山岳地帯・西側の平坦部
- ・ 生活している町・生活できる町・生活したい町という事を一番に考える
- ・ 坂の地形を生かした水路を多く整備する（水車等配置）
- ・ 生活出来る町・生活した町をアピールした蔵づくりの町並み
- ・ 須坂市としてのカラーが欲しい
- ・ 景観が売りの観光客を呼び込みます
- ・ 坂の町を生かした、水を有効利用した環境保全都市
- ・ 市内に流れる川を魚と水生生物が生きられる川にしたい
- ・ 五味池高原の景観をもっと広めてほしい（ピーアール）
- ・ 観光のみでなく住んでいる市民にとって自然の景色を守ること
- ・ 健康に配慮した町「須坂」としてPR
- ・ 街中に小公園を設置（ちょっと休憩出来る）

議題テーマ： 「土地利用のあり方」

理想像、あるべき姿、理念など

【中心市街地の活性化策】

- ・ 中心市街地への若い人が住む町
- ・ 高齢者が歩いて買い物等に行けて生活出来る町
- ・ 市街地の空地や空家をなくす

【遊休荒廃農地の解消】

- ・ 荒廃農地を解消
- ・ 遊休農地の活用・農業環境のあり方
- ・ 里山の整備をし、山間地の森林を元気にする。(国土保全)

【その他の土地利用】

- ・ エネルギーの自給を目指した土地利用
- ・ 法律上の規制を緩める(厳しくする)・・・メリハリのついた開発を

アイデアや手段、方策、実施事業など

【ア市民の取り組み】

- ・ 特徴のある店舗の誘致
- ・ 荒廃農地の利用・都会の人との交流
- ・ 農地(荒廃)バンクを作り貸出します。
- ・ 荒廃農地解消再生産が出来、農業で生活出来る = 農産物価格にする
- ・ 各地区で面的整備から点的な意思決定をする

【各種団体の取り組み】

- ・ 商店街の活性化

【行政の取り組み】

- ・ 空地を利用した公園整備
- ・ 空地の税金を高くし、流動化を図る
- ・ 店舗開設への援助
- ・ 調整区域、農振地域をもっと厳しく
- ・ 荒廃農地の税金を高く、借りたら安く
- ・ 規制は強くしておく
- ・ 高さ制限(商業地域)をする。
- ・ 生活本位の街づくりができるように都市計画法を見直す
- ・ 玄関口が(電車から車)IC付近が変わったという

【共創・協働の取り組み】

- ・ 市街地の空地を安く借り上げて、期限付きの住宅をつくる。
- ・ 空き建物を借りて利用方法を募集
- ・ 空家を利用して須坂の商品の販売が出来るように
- ・ 市街地の空いている土地を安く利用できるようにしたい。
- ・ 街の中の裏に入ると、空地があるが調整して住宅地にしてはどうか
- ・ カヤ葺き屋根を復活させるために遊休地でカヤを栽培する
- ・ 農業学校を作る
- ・ リタイヤした人の農業指導
- ・ 鳥獣対策
- ・ 水車の復活
- ・ 空地に太陽パネルを設置する

- ・ 森林探検隊を組織して、市内の森や山を探検調査する
- ・ 須坂の坂を利用した水の流れを復活
- ・ インター周辺に商業流通拠点に
- ・ 土地の法規制の緩和 - 区域・地区の区分、PR公表して欲しい
- ・ 宅地化できるように時代に合った、土地利用の見直しを
- ・ 須坂市がどのような市であるべきかなのか、面的に方向性を決める。(市民・行政)

その他意見

- ・ 高齢化による担い手不足
- ・ もうからない農業 = 農地

v. 子育て・教育分科会

第2ステージ(須坂市の現状を知る、課題や問題の抽出)まとめシート

テーマ：子育て支援

<p><u>良い点</u></p> <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサークル・子育てサポート団体がある ・改善に対しての市民意識は高い ・球技大会を行っている <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブが全小学校単位にある ・障がい児の早期支援 ・保育園と小学校の交流 ・子ども課、学校教育課の連携 ・子育てセミナーとか良い企画が多い ・医療費3年生まで無料 ・学校の先生が熱心 	<p><u>悪い点</u></p> <p>【家庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食を家族としっかり取っていない ・中・高生にも家族の一員としての役割を。 ・子育てセミナーに参加できる人が少ない <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを預かってくれる人が少ない ・地域に子どもが少ない ・かかわれる子どもが減っている(球技大会) <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割りで、連携がとれていない。 ・病中・病後児保育 ・0歳児の入所枠が少ない ・遊べる施設・公園がない ・子育て支援のやりすぎ ・PR不足 ・食育活動がイベント化 ・食育に関する意識を高める ・栄養教員がいない 	
<p><u>課題・問題</u></p> <p>【家族】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のコミュニケーション ・親育ての強化 ・子育てに苦慮している人は多い <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親の交流がもう少し欲しい ・子育て支援団体相互のネットワーク ・現況についての理解が薄い ・地域ごとに手作り公園がほしい 		<p>【企業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業も子育てに協力を <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談体制 ・乳幼児健診のフォローアップの充実 ・産院と乳児検診の連携がとれていない ・保健室が満杯 ・子どもの望みが反映されていない。 ・子育て支援センターの充実
<p><u>その他意見</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感動体験をたくさんさせる。 ・花火は毎年できないのか。 		

テーマ：家庭と地域の教育力向上を図るために

<p>良い点</p> <p>【地域では】 子どもが参加する行事が多い 見守り隊が活躍 お年寄りと子どもの交流 地域活動が充実(お祭り、公民分館活動が活発) 親同士のコミュニケーション 地域の教育力向上への関心は高い</p> <p>【学校では】 褒めて育てる「善行賞」 教員補助が充実(中学へのスクールカウンセラー配置。障がい児対応など複数担任制) 読み聞かせボランティア</p> <p>【その他】 農業小学校 スポーツをしている子は挨拶が良い 地域の方が学校へ連絡</p>	<p>悪い点</p> <p>【家庭では】 親の教育力不足(家庭での躾、教育の欠如。父親が子どもを叱れない。思春期を受け止められる親が少ない) 母親一人の子育て(祖父母・地域の助けを求めるべき。父親の関わりが薄い。父親の育児教育) 親が(子どもを)行事に参加させない 直してほしい人が出てこない(学習会など) 子どもの意見を尊重するよう親の努力が必要</p> <p>子どものグループ、親のグループがはっきりしている</p> <p>【地域では】 地域の子どもを地域が知らない(地域の方に関心を持つ) 子どもを注意しない 地域の活動に参加しない家庭・親が増えている 地域パトロールがパトロールになっていない</p> <p>【学校では】 P T A 優先で教師本来の仕事ができていない 障がい児教育の拠り所がない</p> <p>【その他】 学校と家庭のつながりが不十分(学校 vs 親になってしまう) 子ども同士で遊ぶことが少ない(子どもが忙しすぎる。仲間作りができない子が増えている) 公園に遊具不足(管理を行政に任せすぎ) 公共施設の利用制限が多い 少子化の進行</p>
<p>課題・問題</p> <p>【家庭では】 子どもの話を素直に聞く あいさつは大人から 若いお母さんの躾教育 三世代交流の推進(祖父母の子育て) 早寝・早起き・朝ごはん</p> <p>【地域では】</p>	

地域ごとに子どもを交えて公園をつくる 近所付き合いが薄い

【学校では】

不登校(子どもは息抜きを求めている?周りも理解を。カウンセラーの配置を)
子育て支援・教育支援が子どものためになっているか

【その他】

共育 スポーツクラブに入らないとスポーツができない 携帯を持たせない
町があるが須坂はどうか? 結婚しても外に出してしまう 人と人とのコミュニケーションがない テレビの影響?

家庭では 地域では 学校では その他

第3ステージ(あるべき姿とその実現に向けた取り組み内容について)まとめシート

議題テーマ： 「家庭と地域の教育力向上を図るために」

理想像、あるべき姿、理念など

【地域の子育て環境の整備】

- ・ 安心して子どもを産み、育てられるまち
- ・ 一人ひとりが輝いている子どもばかりの町
- ・ 子どもが生き生きと活動する地域
- ・ 隣近所に子どもの声がにぎやかに響く地域
- ・ 年寄り、若者、子どもがたくさんいて活気あふれるまち
- ・ 地域の人相互につながりのあるまちづくり
- ・ 地域、隣近所の付き合いが広がり、深まり、年寄りが隣り近所の子どもたちの面倒を見ている。
- ・ あいさつのできるまち、ありがとうの言えるまち
- ・ 三世代の交流が盛んなまち
- ・ 親が孤立していないまち
- ・ 子育てを相談できる人が近くにいる
- ・ 子どもたちが須坂市に誇りと愛情を持っている
- ・ 父親も育休を取りやすい社会、余裕を持って子育てできる社会
- ・ お金がかからずたくましく育つまち
- ・ 保育園に保護者が入り、一緒に保育を楽しんでいる。
- ・ 地域に子育て中の親子が気楽に集いあえる公園がある。

アイデアや手段、方策、実施事業など

【地域の子育て環境の整備】

(ア) 市民の取り組み

- ・ 地域の人が児童クラブの先生になる。
- ・ 見守り隊の充実
- ・ 自分の子どもに限らず見守り注意し育てる
- ・ 学校行事への家庭の参加
- ・ 隣近所の付き合いを深める
- ・ 自発的にボランティア活動に参加
- ・ 上級生が下級生を指導する
- ・ 母親、父親同士のネットワーク

- ・ スポーツクラブのボランティアをする
- (イ) 企業の取り組み
 - ・ 子育てのために休みを取れるようにする
- (ウ) 各種団体の取り組み
 - ・ 子どもたちが市内を移動する方法を簡単に教える
 - ・ 年配者と子どもの交流できる場所
 - ・ 子育て中の親の交流の場
 - ・ 地域の多くの人に遊んでもらえる。
 - ・ 地域のお年寄りと親子の3世代交流
 - ・ 世代を超えての会食会を行う。
- (エ) 行政の取り組み
 - ・ 保育園の開放
 - ・ 全員が児童クラブを利用できるように
 - ・ 皆が放課後遊べる場所の整備
 - ・ 利用しやすい子育て施設の整備
 - ・ 広さや駐車場など現状に合った整備
 - ・ 安全が確保された自由な場の設置
 - ・ 児童クラブ遊具の充実
 - ・ 地域公民館を遊び場に
 - ・ 図書館や公園の充実
 - ・ 子育て支援の広報
 - ・ 子育て討論会の開催
 - ・ 子どもが自由に活動できる場がある
 - ・ 野外活動できる場を増やす
 - ・ 電話で子育て相談ができるようにする
 - ・ 創造の家を子どもが利用できるように
 - ・ 企業、若者向け子育て講座
 - ・ 地域と学校の結びつきを強くする
 - ・ 子どもの提案を受けた地域づくり
- (オ) 共創・協働の取り組み
 - ・ 子育て中の保護者が気軽に出入りできる。
 - ・ 行政で備品と場を整備し、地域で管理していく。
 - ・ 子育てクーポン券の発行
 - ・ 有名人を呼んで子育ての講演会
 - ・ 公会堂の開放
 - ・ 地域活動への子どもの参加
 - ・ 地域活動をリードする人材の育成
 - ・ インターネット、SNS、メールを活用し交流の場を知る
 - ・ 社会体育スポーツの充実と無料化
 - ・ 自由に遊べる場と環境の整備
 - ・ 子どもが自由に活動できる場の整備
 - ・ 24時間子育て相談
 - ・ だれでも気軽に立ち寄れるサロン
 - ・ おじいちゃんおばあちゃんの技を伝えるサロン

- ・ おじさん先生、おばさん先生
- ・ 子ども一人でも行けるサロン
- ・ 親が相談できるサロン
- ・ パパママサポートの充実
- ・ ガキ大将を育てる

その他意見

議題テーマ：「地域の子どもは地域で支援し守り育てる」

理想像、あるべき姿、理念など

【家庭と地域の教育力向上】

- ・ 子育てが楽しい（何人でも産める）
- ・ 子育て指針が共有されている
- ・ 親が子どもに当たり前のしつけができる
- ・ 自信を持って子育てする親がたくさんいる
- ・ 家庭（特に父親）の教育力が高い
- ・ 父親も家庭にいて、子育てをしている。
- ・ お父さんも家庭料理や家事全般ができる家庭
- ・ お父さんが早く帰ってくる日がある
- ・ 子どもたちが勤労の精神を持っている。
- ・ 父親が学校の先生を知っている
- ・ 三世同居の家庭が多いまち
- ・ 差別、区別のない学校、地域づくり、仲間づくり
- ・ 子どもの中に差別のない社会
- ・ 差別されていると感じない、自信のある子どもが育っている。
- ・ 大人も子どももいじめのないまち、いじめに負けない子どもたち
- ・ 活発な野外活動
- ・ 朝食をしっかりと摂っている。

アイデアや手段、方策、実施事業など

【家庭と地域の教育力向上】

(ア) 市民の取り組み

- ・ 子どもに家族の一員としての役割を持たせる。
- ・ 他人の常識は自分の非常識。いろんな人の考えを聞いて議論する
- ・ 先生と酒を一緒に飲む
- ・ 子育て孫育てに祖父母の参加
- ・ 週に1時間は家族で仕事をする
- ・ 自給自足のために農業を増やす

(イ) 企業の取り組み

- ・ 子育て支援への協力体制
- ・ 父親を早く帰す。
- ・ 家族で楽しめるレジャー施設
- ・ 職業体験のまちづくり
- ・ 残業ゼロの日運動

(ウ) 各種団体の取り組み

- ・ 父親を対象にしたPTA研修・講座を設ける。
- ・ 町別の懇談会を2回は開く。
- ・ おやじの会を増やす。
- ・ お父さんの料理教室
- ・ パパママサポートの充実
- ・ 世代、家族を越えみんなで子育て
- ・ 子どもの宿泊体験

(エ) 行政の取り組み

- ・ 親に「カツ」を入れるようなセミナー
- ・ お父さんのための家事セミナーの開催
- ・ お父さんの料理コンテストをして、料理自慢者を増やす。
- ・ 子育て家庭センター（相談、一時預かり機能も持つ）の設置
- ・ 「困ったら相談をしてもいいんだよ」という広報
- ・ マタニティセミナーの充実・・・両親でこういう子どもを育てて
- ・ 人生を前向きに教えられる子どもを育てられるセミナーの開催
- ・ 学校への出前セミナー
- ・ 生涯学習の中に子育てを位置づける
- ・ 子育て討論会の開催
- ・ 地域の方々の子育て（お年寄りの孫育て）セミナー
- ・ 野外活動ができる設備の充実、指導者の育成
- ・ 須坂市の子育て基本計画の作成（家庭のルール・地域のルール）

(オ) 共創・協働の取り組み

- ・ 小・中学校に10～20aの学校農園を作り、農業体験をさせる。
- ・ 親へのサポート体制の充実
- ・ 子育て支援者に対する研修
- ・ 親の再教育
- ・ 親のしつけ教室
- ・ 3世代交流型のサポートイベント
- ・ 世代間交流料理教室
- ・ おじいちゃんおばあちゃんと保育園児の交流会を盛んに
- ・ 子どもの心を知るアンケートの実施
- ・ 乳幼児期の母親支援
- ・ キッズニアの設置

その他意見

- ・ "念仏料理"を家庭から消す
- ・ 農業小学校、お店屋さん学校
- ・ 子ども手当は子どものために使う広報
- ・ 子どもを尊重する心

議題テーマ： 「みんなが楽しく通える学校づくり（学校教育の充実）」

理想像、あるべき姿、理念など

【学校教育の充実】

- ・ 小学校と中学校が交流している。
- ・ 不登校の子供たちをもつことを自由に語れる社会
- ・ みんなが楽しく学校に通える不登校ゼロ
- ・ 感性豊かな子どもを育てられる須崎市
- ・ 学力低下をなくす
- ・ 子どもに尊敬される教師がたくさんいる

アイデアや手段、方策、実施事業など

【学校教育の充実】

(ア) 市民の取り組み

- ・ 地域の人たちが、登録制にして各学校のサポーターになる。
- ・ 元不登校児が、現不登校児を支援する場を整備する。
- ・ 地域全体で学校をよく見る、かかわる
- ・ 地域の学校に通えない子とも交流
- ・ 学校に足を運び、教室をのぞく日常的活動
- ・ 教師を尊重する

(イ) 行政の取り組み

- ・ 指導者を増やす。
- ・ 親も子も不登校や障がいを理解する。
- ・ ADHD傾向の子どもが増加に対応して加配教員、補助教員の増
- ・ 学校のバリアフリー化
- ・ その子に合った学力の向上
- ・ 道徳教育の向上
- ・ 学校給食の自校式
- ・ 放課後の校内補習教室
- ・ 1対1で学習ができるように
- ・ ためしてガッテンのような教育ができる指導者の育成
- ・ 学校で問題になっていることの情報公開
- ・ 開かれた学校

(ウ) 共創・協働の取り組み

- ・ 文化祭、スポーツなどで小・中交流
- ・ ほっとサロン設置（交流の場、受け入れの場）
- ・ フリースクール設置
- ・ 学校の中、外にいろいろな居場所を作る。
- ・ 悩みを気軽に相談できる場を作る。
- ・ 子どもの不登校に悩んでいる親を助けるサポート
- ・ いじめられっ子から立ち直った人の話を聞く
- ・ 親と先生が同じ方向で問題解決
- ・ 学校、家庭、地域の連携強化

その他意見

- ・ 不登校児、障がい児を持つ親同士の交流に偏っている。皆で不登校児、障がい児を考える支援体制がない。
- ・ 登下校時、誰にでもはっきりあいさつできる子に
- ・ 楽しい生きた学習ができる

- ・ 年齢に応じた耐性を育てる
- ・ 食育の充実
- ・ 学校農園をつくって農業体験
- ・ 野外活動で交流
- ・ 学校間の交流が盛んに行われ須坂市民として自覚できる

vi. 行政経営分科会

第2ステージ(須坂市の現状を知る、課題や問題の抽出)まとめシート

テーマ：行政の役割って何

<p>良い点</p> <p>【安全安心の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健センターを中心とした熱心な健康づくり体制 ・ 中核病院と一般医院が役割を分担して担う医療体制 ・ 保育や教育の取り組み <p>【暮らしやすいまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な自然環境 ・ 上下水道、道路、交通等のインフラ整備はまずまず <p>【効率的な行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な民間活力の導入、コスト削減 ・ 学校給食センター調理部門の外部委託 <p>【良くなってきた市職員の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の市町村等と比較すれば良いと考えているが、資質向上の努力は必要 	<p>悪い点</p> <p>【共創が自治会の負担を増大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会の業務が増加 ・ 本来市が行うべき業務まで自治会が負担 <p>【届かない情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣組回覧は読む人が少ない ・ ホームページの更新が遅い ・ インターネットの環境が無い人が情報を得られない ・ 知りたい情報が公表されていない <p>【必要な施設が足りない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習施設が不十分 <p>【コスト削減のデメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間活力の導入でコストを切り詰めると、企業経営が先細り ・ 地元企業が公共事業に参入できない <p>【職員が能力を発揮していない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員全員が力を結集しているか疑問 ・ 基本的な法令を知らない職員がいるなど、勉強不足 ・ 仕事に対する積極性が不足 ・ 他の自治体から転勤してきた人の、市の窓口対応の評価は低い
<p>課題・問題</p> <p>【防災の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土石流や鉄砲水等への対策は危機管理上不可欠 <p>【工夫を凝らした情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市報の全戸配布は必要なのか疑問 ・ クレーム状況等、ホームページだけでなく市報でも公表すべき <p>【市全体の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口増への施策は必要 ・ 中小企業対策や制度資金の更なる拡充は必要 ・ 蔵のまちづくりは良いが、商業集積ができておらず、中心がどこだか不明 <p>【公共施設の適正化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市が運営する公共施設は多いのではないか <p>【コストと市民サービスとのバランス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民間活力の導入による公共サービスの質の低下が不安 	

その他意見**【まちの特徴を活かす】**

- ・ 市内のわかりにくい道を逆手にとって「迷子をつくる町」としてアピール

【職員の活躍の場をつくる】

- ・ 町の中にもっと職員が入ってきてほしい
- ・ 市民と行政の共創を推進するため、職員の担当自治会を決める、又は派遣する

テーマ：持続的な財政運営とは

<p>良い点</p> <p>【改革】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 箱物行政からの転換 ・ 経営の民間移譲 ・ 補助金の見直し <p>【財政力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 借金残高の減少 ・ 実質公債費比率等の改善 	<p>悪い点</p> <p>【滞納】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 滞納額の情報が市民に伝えられない ・ 未収金が増加している ・ 給食費等の支払をしない人が多い <p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政情報の公開が不足している ・ 財政支出の優先順位が市民に理解されていない ・ 老朽化した施設の今後の計画が不明 ・ 人口減の見込が市民に伝わっていない <p>【人件費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費の削減が不足している ・ 業務に必要な人員が把握されていない <p>【合併】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長野市との合併議論が不足していた <p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地利用が硬直化している <p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑化公園に対する事業が不足 ・ 団体への助成金に差がある ・ 環境問題に取り組んでいない ・ 70歳以上の交通費助成に所得制限等がされていない ・ 公平、公正な予算執行がされていない
<p>課題・問題</p> <p>【財政力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の負担増も、受益者負担の原則からしかたがない ・ 若年層の人口増対策が必要 ・ 財政力の改善、意識改革が必要 <p>【人件費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正規職員の減が人件費の減につながっているか <p>【事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公民館を地域の方に利用し、運営もしてもらいたい <p>【合併】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小布施、高山との合併を考えないと、財政規模から年々厳しくなる <p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用されていない土地が多い 	

テーマ：地方分権と市民生活

<p>良い点</p> <p>【分権のメリット】</p> <p>国県の権限を市に移すことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民意見が反映しやすくなる。 	<p>悪い点</p> <p>【分権のデメリット】</p> <p>国県の権限を市に移すことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣の市と同じサービスが受けられるか疑問
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の特色が出しやすい。 ・ 決定までの時間が短縮される。 <p>市の権限を地域に移すことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員の区役員等の積極参加が見込める。 ・ 住民自治協議会（長野市）の設置 地域課題の探求と具体的な行動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方分権による市職員の仕事量の増加対策が必要。 <p>市の権限を地域に移すことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区の事務員の給与は市の負担にしてもらいたい。 ・ 行政の効率化が区の負担増に <p>全ての分権について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財源と権限を伴わない分権になる可能性。 ・ 分権した場合の財政基盤は大丈夫か。
<p>課題・問題</p> <p>【分権を阻害する要因】</p> <p>国県の権限を市に移すことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方分権の人的・予算的措置の解決がなされていない。 <p>市の権限を地域に移すことについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政は法のプロ、住民ができることは何？ <p>全ての分権について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け手にノウハウが無い。 ・ 情報が足りない。 ・ 権限と義務、責任の割合に配慮 	
<p>その他意見</p> <p>【現状肯定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特に行政サービスの不足や不満は感じていない。（市に対する） ・ 法律によって平等に扱われている。 <p>【具体的な例】</p> <p>許可関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有害鳥獣駆除の権限が無い。 ・ 細かいようなもの（問題の起きないもの）まで許可制になっている。 ・ NPO法人の許可報告他は市町村で行うようにして欲しい。 ・ 許可手数料がかかる。 ・ 道路使用許可については地域の安協で十分だと思う。 ・ 食品衛生法の軽微な権限は市町村でも良いのではないか（町の祭りの軽食販売等） <p>サービス関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ道なのに管理する主体によって窓口が違ってしまう。 ・ ニーズに合った保育が受けられない。 ・ 保育園に入れない人がいる。 ・ 証明書に300円必要だが、市はタダで出来ないか。 ・ パスポートの交付は長野まで行かなくてはならない。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路交通法のうち自転車については各自治体の条例で定められないか。 ・ 駐在所（区域内の巡查）の顔写真が欲しい。 ・ 国県道についても身近な課題は市へ、基本的な管理は国または県が良いのではな 	

いか。

テーマ：市民参加と市議会との関係

良い点

【議会としての情報公開】

- ・ 全戸配布の市議会報告は議会活動が良くわかる。
- ・ S T V 放映など情報公開がされている。

【議員定数】

- ・ 議員定数が多すぎる。15 名ぐらいにすべきである。

【報酬のあり方】

- ・ 議員報酬は現在の活動内容に比して高過ぎる。

【市民との交流(要望)】

- ・ 市民と議員との交流の場がほとんどない。(議員はどのように市民意見を吸収しているのか)
- ・ 議員は市民の意見をどのように汲み取っているのか不明。
- ・ 活動の内容が見えない。
- ・ 議員の推薦母体が区などに依るところが多い。利益依存を考える選挙民の意識改革が必要。

悪い点

【議会としての情報公開】

- ・ 議事録の公開に時間がかかりすぎる。

【議会の運営のあり方】

- ・ すでに結論が出ており、これ以上の質問は不要と思える事項について、同じ視点の質問を何度も繰り返している。(無用な質問)
- ・ 理事者は 7 割以上の賛成で可決できるようにすべきである。

【議員としてのあり方(現状)】

- ・ 議員の知識が乏しい。
- ・ 議員の質の向上(勉強が足りない人もいる)。
- ・ 議員の行政視察報告会に見られるような活動では大不満。
- ・ 須坂の市議会議員の役割は判っているのだろうか。
- ・ 行政のチェックは適正になされているのか不明。
- ・ 市議会で決められる行政サービスがわかりにくい。

【議員としてのあり方(課題・問題)】

- ・ 提案議決と言う受身になっている。

課題・問題

【議会の運営のあり方】

- ・ 市議会の夜間・休日開催

【議員定数】

- ・ 女性の市議会議員の増員

【議員としてのあり方(現状)】

- ・ 市議会のチェック機関としての役割強化。

【議員としてのあり方(課題・問題)】

- ・ 決まりきった質問。決まりきった答弁
- ・ 議員が市全域又は居住する地域の諸課題について、定例的に意見を吸い上げる努力をしているだろうか。
- ・ 議員の公約がどのように実現されているのか見えない。(マニフェスト)各会派ごとに

<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員提案による条例づくりの推進 <p>【報酬のあり方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議員の日当制は反対。 ・ 報酬審議会の開催（基準が明確でない） ・ 議会のあり方 <ul style="list-style-type: none"> 勤労者(サラリーマン)の代表が少ない。 議員の数を増やす（報酬は日当制とする）。 議会のあり方を討議する。 <p>【市民との交流(要望)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議員の会派の人数が少数すぎて、主張の基盤が不安定に見える。人数を多くする努力が議員にほしい。
<p>その他意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のさまざまな個別の課題を議会、事務当局へ提出する従来の方法から、財政運営のあり方、行政の将来ビジョン地方分権の推進に変わってきた。 ・ 議員は市全域の代表つまり全国区である。議会質問の内容が自分の居住する地域の課題に偏りがちである。

テーマ：広域行政の可能性

<p><u>良い点</u></p> <p>【広域を考えるに当たっての視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域行政により負担減となるのはメリット ・ 単独で処理できない課題（環境、上下水道、観光など）を広域で取り組むのは良い ・ サービスに幅が広がる ・ 類似施設の見直し <p>【新たな広域の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 徴収率（税金）の向上が図られる ・ 消防業務、サマーランド、葬祭業務などの推進、更なる連携（介護など） ・ 広域のゴミ行政の一本化は良い ・ 観光について広域化はメリットが大 	<p><u>悪い点</u></p> <p>【広域を考えるに当たっての視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各市町村で中心市街地の取り組みは必要ない ・ 大きな都市が主導権を持ってしまいがち <p>【新たな広域の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域での雇用開拓に取り組む協議が必要 ・ セクショナリズムを無くすための人材交流 ・ 上水道の広域化を進める事による効率化 ・ 貧相な公共交通 ・ 須坂 IC 前に土産店などの情報発信源が無い
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

課題・問題**【広域を考えるに当たっての視点】**

- ・ 長い目で見て考える必要がある
- ・ 広域化によるメリット、デメリットの洗い出し
- ・ 財政状況を考えれば、小布施、高山との合併は議論すべき課題
- ・ 権限の移譲

【新たな広域の推進】

- ・ 広域化を（早急に）進めるべき課題 - 医者（不足）の広域対策、消防業務、ゴミ処理、公共交通（バス）、主要道路網
- ・ 観光事業は広域であれば効果が上がる
河東線沿線観光を進めるべき。小布施、高山、須坂観光ツアーを行う
観光資料、ガイドブック、PR等（地図、ハガキ、切手作成を含めて）の広域化を進めた方が良い（線で結ぶ）
点在する観光スポット。小布施へ来る観光客を須坂へ呼べないか
- ・ 産地販売所の拡大
- ・ ・農協は須高となったが不便になった。須高でも広すぎる

その他意見

- ・ 須坂は（小布施、高山と比較して）更なる観光拠点、市民の文化意識の向上（が必要）
- ・ 市営駐車場、町の中心に近い所設置
- ・ 各地の特産物ほか何でも市民交流の場を年一回設けたらどうか（高山、小布施、須坂、長野）
- ・ 小学校の通学区を解放し、広域（全市）学区にして、子どもが学校を選択できるようにする。特色ある学校づくりにもなる。
- ・ ・生涯学習は広域で実施すると効果が上がる

第3ステージ(あるべき姿とその実現に向けた取り組み内容について)まとめシート**議題テーマ： 「行政の役割」****現実に向けた取り組みやアイデア****【市民の取り組み】**

- ・ 社会基盤の整備全般に関して意見を出す
- ・ 経費の見直しを市民の目線で行なう
- ・ 地域公民館の館長の募集等の市の公募に応募する
- ・ 地域ボランティアに積極的に参加する
- ・ 市の予算を使って独自の事業を企画する

【企業の取り組み】

- ・ 社会基盤の整備全般に関して意見を出す
- ・ 可能な限り公共サービスに参入する
- ・ 市の職員の長期研修を受け入れる 行政 民間の人事交流

【各種団体の取り組み】

- ・ 社会基盤の整備全般に関して意見を出す

【行政の取り組み】

- ・ 市民に対し、何でも対応できる人材（課）を作り、応援対応をできるようにす

る（何でもやる課）

- ・ 職員の能力を見極め適材を適所に配置する人事をし、職員が企画を立案・実行できるようになるまでの一定期間は同一職場に勤務させる。配置がえが早すぎないこと
- ・ 採用後数年は民間企業（サービス業など）に派遣させることにより、応対研修を行なう。
- ・ トップと幹部職員の模範行動
- ・ 定型業務のIT化の推進
- ・ 専門職員の醸成、配転を減らす
- ・ 幹部職員への登用に伴う試験制度の導入
- ・ 職員が調査して提案するようにする。市民が提案することを待っていることではよくない
- ・ 民間のやり方を学習する為に職員の民間企業への長期研修を行なう 行政
民間の人事交流、積極的な民間活力の導入

[積極的な民間活力の導入]

- ・ 保育、給食、生涯学習など（実施事業）
- ・ 業務分析を行い、 定型的業務 創造的業務に分別する
- ・ 社会基盤の整備全般に民間の意見を十分取り入れる
- ・ 公害のない企業の誘致
- ・ 業務を仕分け、 行政でやるべきか 民間に委託するべきか 民間にまかせるか を行なう

[コスト削減]

- ・ 職員のフレックス勤務を導入して時間外を削減
- ・ 行政の経営資源（職員・財源）の最適配分をする（業務分析が前提）
- ・ 補助金や事業への落札手法の見直し
- ・ 行政評価の導入（計画、施業、手段 etc）
- ・ ワークシェアリングによる、実質的な人件費削減を図る

[公共施設の適正化]

- ・ 市中心部に偏らないで、地域バランスを配慮する
- ・ 利用率をみながら要/不要を判断し、補強、改・新築をする
- ・ 地域公民館の館長を市民から募集する
- ・ 統合できるものを統合
- ・ 公共施設（文化施設）の集合化（場所を含めて）と統合

[市民に情報が行き届いている]

- ・ 必要とされる情報のデータベース化
- ・ 市報の情報で十分だという市民が大勢いる（それも良い）
- ・ 一般メディアを通じて情報公開（例えば、須坂新聞等、インターネット）

[安心安全の提供]

- ・ 地域ボランティアの積極的な任用
- ・ 各種ネットワーク作りの要になる市
- ・ 民生委員や保険補導員の活動が十分できるような体制づくりと意識改革
- ・ 予算の0.1%程度を市民が独自に使用できる予算を創設
- ・ 更なるボランティアネットワークの構築

【共創・協働の取り組み】

- ・ 地域の町づくりは生涯学習で広めていく
- ・ 市民みんなでとりくむふるさと納税
- ・ 小規模区の兼任事務員の採用を考える
- ・ 意見をすい上げるしくみ
- ・ 市民委員会を常設する（委員会は各部会に分ける）
- ・ 市民が愛町の精神を育む意識改革を推進する。
- ・ 市の職員が各町に入って会議等に参加

議題テーマ： 「持続的な財政運営」

現実に向けた取り組みやアイデア

【市民の取り組み】

- ・ 予算の編成に意見を出す
- ・ 公共施設の維持に必要な経費を負担する
- ・ 滞納の現状に関心を寄せる
- ・ 滞納をしない
- ・ 地域公民館長の募集など、市の公募にに応募する

【企業の取り組み】

- ・ 雇用を増やす
- ・ 公営施設の管理運営に参入する

【各種団体の取り組み】

- ・ 公営施設の管理運営に参入する

【行政の取り組み】

- ・ 財政の目標を具体的な数字で提示し、それを公開する
- ・ 身の丈にあった行政運営をする
- ・ 必要なところへはちゃんとお金をかける（お金がかかっても）
- ・ 10～15年後の高齢化社会を織り込んで長期計画を作る
- ・ 税収が減っても、行政サービスの向上を図ることを目指す
- ・ 予算は0ベースにて立案し、予算編成に市民の代表を入れる
- ・ 予算（施策）の優先順位を明確化する
- ・ 施策（予算項目）の仕分けを実施する（市民に見えるやり方で）
- ・ 経常収支比率の目標値80%以下を守る財政予算とする
- ・ バランスシートの公開をし、市民に財政情報を細かく提供する
- ・ 議員の方々は財政に対する認識に欠けている
- ・ 公債比率を極力下げる事（予算の10%以下を目標に）
- ・ 決裁内容を細分化したものを情報公開する

[産業、観光の活性化]

- ・ 観光の目玉を作って、市民～全国へ発信する
- ・ 観光地に停留場を作り、市外の皆さんに観光してもらう
- ・ 首長や部課長が須坂市の広告塔になる努力を日常的におこなう

[人口を増加させる]

- ・ 工場団地が沢山出来ると人口も増える
- ・ 子づくり世代の人口増加させるため、保育サポートを充実する

[その他]

- ・ 市資産の適正な売却による財政力のUP
- ・ 公民館（地区館も）の電気使用量を利用者からとる（午前、午後、夜とわけて）
- ・ 職員（パート、臨時）の定年を過ぎて入ってきた人を2年の任期とし、若い人の仕事を増やしてあげる

[滞納の削減]

- ・ 滞納についてもっと市報で訴える
- ・ 滞納整理をしっかりと、計画をたてて行なう。職員が歩いて集める

[経費削減]

- ・ 職員の人件費圧縮を図り、比率削減計画を明示する
- ・ 市の施設運営を市民に委託することを前提に議論する

- ・ 係長制度を止め、課長が兼務する
- ・ 定型業務を合理化するため、IT化を進める
- ・ 地域公民館等の職員人件費の削減の為に人数を減らしているが、2人で1日くらいの勤務にする
- ・ 更なる人件費の削減（民間のコスト削減と同じ手法で）
- ・ 職員の退職金を民間レベルまで下げる
- ・ 事務の合理化を図り（マニュアル化）情報収集を積極的に実施する
- ・ 地域公民館の館長を民間人から採用する
- ・ 業務の合理化と機構改革を実施して人員削減を図る
- ・ 正規職員を減員しても、臨時職員を補充しないこととする
- ・ アウトソーシングは人を削減する事を前提とする（人員削減のないアウトソーシングはしない）

[合併と財政]

- ・ 合併について、大きければ大きいほど良いとは考えられない
- ・ 将来的な財政規模を考えたとき、広域行政 = 合併と考える

議題テーマ： 「広域行政の可能性」

現実に向けた取り組みやアイデア

【市民の取り組み】

- ・ エコ対策 NOカーデー（1日/1W）などの、広域の取り組みに参加する
- ・ ゴミ処理はできるだけ近く、自分のゴミは自分で処理する意識を持つ

【企業の取り組み】

- ・ エコ対策 NOカーデー（1日/1W）などの、広域の取り組みに参加する
- ・ バス路線、運行の広域化

【各種団体の取り組み】

- ・ 観光事業は広域であれば効果が上がるので、河東線沿線観光を進める。小布施、高山、須坂観光ツアーを行う
- ・ 観光資料、ガイドブック、PR等（地図、ハガキ、切手作成を含めて）の広域化を進めた方が良い（線で結ぶ）点在する観光スポット。小布施へ来る観光客を須坂へ呼び込む
- ・ 産地販売所の拡大
- ・ グリーンツーリズムの広域によるPR（都市住民への）
- ・ 須坂の菊、小布施のフローラル、中野のバラの連携
- ・ 広域で出来る組織の合併。観光協会、体育協会
- ・ もったいない運動を広域的に実施し、不用品を市民に安く提供

【行政の取り組み】

[広域化の考え方]

- ・ 観光に主眼がいきやすいが、要は経費、効率を考えた事務処理の改善である
- ・ 何が広域行政になじむか、事務処理状況の徹底的な検証
- ・ 経済中心主義の政策から、人の精神風土づくりへの転換（広域的に）

[防災]

- ・ 消防・防災の広域連合の構築（長野・須高地区）
- ・ 原発の広域情報（柏崎 100km 以内）

[広報]

- ・ 広域による公営住宅、空き家情報の提供
- ・ パブリシティ（新聞記事やTV報道による）PRを広域で行なう（市、企業）

[組織]

- ・ 監査委員や教育委員など、専門知識の必要な委員を須高地区で事務局を持つ
- ・ 人の精神風土づくりのために教育予算の拡大と特色のある学校づくりへの転換
- ・ 監査委員会事務局や教育委員の広域化

[環境]

- ・ 環境に関する各種協議会、委員会等の広域化
- ・ エコ対策 NOカーデー（1日/1W） 広域で一斉に行なう
- ・ ごみ環境について三市などで考えて、場所を決めたらどうか
- ・ 自然を活かす自治体同志の連携、野生動物対策など

[観光]

- ・ 入館・入園料のフリーパス
- ・ 美術館・博物館の広域化、町ごとの資源を集約
- ・ 各種観光のイベントを広域化して集客規模を大とする
- ・ 須坂・小布施・高山の観光のPRを一体で
- ・ 観光バスが止まって食事が出来、みやげ物を買う所を須坂市は考えてほしい

[交通]

- ・ くだもの街道や河東線など沿線（道）で事業や取り組みを連携して行なう

議題テーマ： 「地方分権と市民生活」

現実に向けた取り組みやアイデア

【市民の取り組み】

- ・ 権限について行政と議論をする
- ・ 中学生から、まちづくりや地域づくりに参加する
- ・ 子どもの時から、自律した市民になるための訓練を受ける
- ・ 自分のまちは自分達で作るといいう、自律した個人が集まって行動していく

【各種団体の取り組み】

- ・ 各区長会ブロックでの積極的な事業展開と市当局による予算投入
- ・ 自治会で事務員を雇用すると役員が助かる。小さい自治会は数町で雇う

【行政の取り組み】

[市民の自律を支援]

- ・ 自律のプランを作成する
- ・ 皆で話し合うための情報を公開する
- ・ 各区長会ブロックでの積極的な事業展開と市当局による予算投入
- ・ 子どもたちに対する教育も、自律した市民になれるような内容にする
- ・ 参政権・住民投票権の年齢を引き下げ、範囲を拡大する
- ・ まちづくりに対する責任を中学生にも与える
- ・ 分権に関する市民の要望をまとめる（立案）協議会の設置
- ・ どういう事項について権限が移されれば市民にメリットがあるか検証する

[地方自治の条件]

- ・ 小規模都市と大都市との間に差が出ないこと
- ・ 財源と権限を国より移す

[権限の受け入れ体制]

- ・ 職員が分権メリットのアイデアを示す
- ・ 1つ1つの権限について市民と議論をしていく
- ・ 地方に何ができるのかを明確にする

[その他]

- ・ 地域公民館で市役所の手続（証明書の発行等）ができると、高齢化社会でも便利

議題テーマ： 「市民参加と市議会の関係」

現実に向けた取り組みやアイデア

【市民の取り組み】

- ・ 議員との懇談会に参加する
- ・ 議会事務局を市民が担う
- ・ 様々な立場の市民が議員に立候補する
- ・ 議員をチェックできる市民になる
- ・ 議会とコンベンションによる誘客活動をする

【企業の取り組み】

- ・ 従業員の議員活動を支援する

【議会の取り組み】

[議員活動の情報公開]

- ・ 「市議会報 すざか」の継続発行。出来るだけ分りやすく又字体を大きくする
- ・ 議員と市民との懇談会を開催する
- ・ 議員の日常の政務活動がわかりにくい。議会事務局で何らかの調査・報告ができるシステムを作る
- ・ 議員活動を報告する規約を制定する

[議会の運営のあり方]

- ・ 事務局の独立。市職員を一人にして、他は市民が4年の任期で担う
- ・ 議会予算の独立化
- ・ 理事者は7割以上の賛成で可決できるようにすべきである。
- ・ 市議会の夜間・休日開催
- ・ 議会のあり方を討議する。

[議員のあり方]

- ・ 議員が出身団体や地域の要望伝達だけでなく、政策の優先順位を議論する議会にする
- ・ 議員の資質向上には、広く参加できる事。土・日又は夜の議会開催
- ・ 普通のサラリーマンでも出てこられる議員制度にする
- ・ 議員活動のマナー化防止の為に、任期を制定する
- ・ 議員数を減らす
- ・ 議員の定年は70歳はどうか！若い人の意見を反映させる
- ・ 議員の資質の向上
- ・ 議員の意識改革
- ・ 議会の一般質問のやり方を改める
- ・ 議員のあり方

ボランティア議員とする方法 スーパー議員とする方法 どちらを決めるかの討議

- ・ 市議会のチェック機関としての役割強化。
- ・ 議員提案による条例づくりの推進

[議員定数]

- ・ 議員定数が多すぎる。15名ぐらいにすべきである。
- ・ 女性の市議会議員の増員
- ・ 議員の数を増やす（報酬は日当制とする）

[報酬のあり方]

- ・ 報酬審議会の開催（基準が明確でない）

[その他]

- ・ 市民と議会でコンベンションによる誘客活動をする

【共創・協働の取り組み】

- ・ 市民の声を聞く場、方策を工夫する
- ・ 議員と市民の対話集会を定期的を開催し、市民の声を集約し反映させる
- ・ 市民の問題点を、現場に出向き、その声をていねいに聴く
- ・ 議員は、市民が今何をどのようにどうしたいと考えているのかを集約し、その判断を的確に行政に反映させる事が第一の役割

IV. 委員名簿

健康・地域医療分科会

氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考
浅井 洋子	副会長	小松 正典		早川 トヨ子	
大峽 星夫		坂田 俊一		松木 久美子	
小布施 薫		角田 幸男		松本 善雄	
神屋 初枝		長岡 正人		山岸 守	会長
小林 昭三		中村 直江			
担当部署					
健康福祉部		高齢者福祉課			
福祉課		健康づくり課			

共創分科会

氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考
相原 健作		小林 孟夫		中村 典昭	
荒井 武夫		境 吉弘		丸山 孝徳	
板倉 三恵子		佐々木 啓佐義	会長	南澤 六三郎	
伊藤 里美		佐藤 憲政		山下 美知子	
大川 利雄		佐藤 政世		山岸 久子	副会長
太田 良江		清水 良昭	第2部会長	山崎 照夫	
加藤 節子		田中 義人		依田 浩明	第3部会長
北澤 文教	副会長	田中 敏勝		若林 紀久雄	
黒柳 克江	第1部会長	中島 茂晴			
越 正行		中村 貴彦			
担当部署					
市民共創部		人権同和政策課		消防本部	
市民課		男女共同参画課		警防課	
生活環境課		生涯学習スポーツ課		総務課	
清掃センター		中央公民館		予防課	
エコパーク推進課		総務課		消防署	

産業分科会

氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考
岡本 鉄太郎		清野 要一		藤本 善文	
金箱 貞夫		関野 文夫		水内 秀人	
小山 秀司		田中 秀和		村石 豊子	副会長
駒津 健一	会長	土屋 嘉忠		小林 晃	
阪牧 吉次		豊田 泰廣			
篠塚 久義		中島 直江			
担当部署					
産業振興部		商業観光課			
農林課		工業課			

まちづくり分科会

氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考
相原 保之		佐藤 進		水越 正和	
飯川 憲一		塩崎 貞夫	会長	宮澤 広志	副会長
大井 教雄		長谷川 潔		吉田 金七	
大峽 一重		花井 聡		渡辺 武	
小林 郁雄		樋口 義則			
担当部署					
まちづくり推進部		水道局		農業委員会事務局	
まちづくり課		営業課			
道路河川課		上下水道課			

子育て・教育分科会

氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考
青木 みどり		竹内 安治		牧 和枝	
青木 英子		内藤 格		持田 道子	
青木 良文		中島 将之	会長	師岡 京子	
勝山 智章		成田 統		横山 励子	
小林 由樹		浜岡 一美		吉田 孝一	副会長
齊藤 亜紀子		原山 恭子		渡辺 美保	
清水 秀一		藤澤 明美			

担当部署					
教育委員会事務局		子ども課			
学校教育課		人権同和教育課			

行政経営分科会

氏名	備考	氏名	備考	氏名	備考
岩崎 宏章	会長	鈴木 隆		宮下 浩	
岡田 良子	副会長	田子 昭治		山岸 頌正	
古平 政義		羽生田 久良子		山口 長志	
柴本 幸和		松井 汪		湯本 喜久雄	
陣内 英雄		翠川 司			
担当部署					
総務部		財政課		会計課	
総務課		税務課		選挙管理委員会事務局	
政策推進課		議会事務局			

全体

	委員数	担当部署数
健康・地域医療分科会	14	4
共創分科会	28	15
産業分科会	16	4
まちづくり分科会	14	7
子育て・教育分科会	20	4
行政経営分科会	14	8
合計	106	42

第五次須坂市総合計画・前期基本計画づくりに関する

117人会議提言書

平成21年2月1日発行

作成：須坂市 117人会議

編集・発行：須坂市総務部政策推進課

〒382-8511 長野県須坂市大字須坂 1528 番地の1

電 話 026-248-9017 (課専用)

026-245-1400 内線 3137

F A X 026-246-0750

e-mail seisakusuishin@city.suzaka.nagano.jp